令和４年度
第１回データヘルス推進事業リーダー育成研修
日時　令和４年５月９日（月）13：30～17：00
場所　市町村自治会館２階ホール及び Web 研修
講師　井上優子氏（沖縄県国民健康保険団体連合会医療費適正化顧問）
参加者　会場（11 名）Web（72 名）

【目的】

令和4年度 データヘルス推進事業リーダー育成研修実施要領

1 目 的

国は、医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るため、令和2年4月1日に高齢者の医療の確保に関する法律及び国民健康保険法を改正施行し「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を開始した。併せて保健事業実施指針改正において、市町村の役割重視として、「一体的な実施に努めること」と、「糖尿病性腎症等の合併症の発症、症状進展等の重症化予防の推進」及び「情報の授受にはKDBシステムを活用して行う」と明記された。

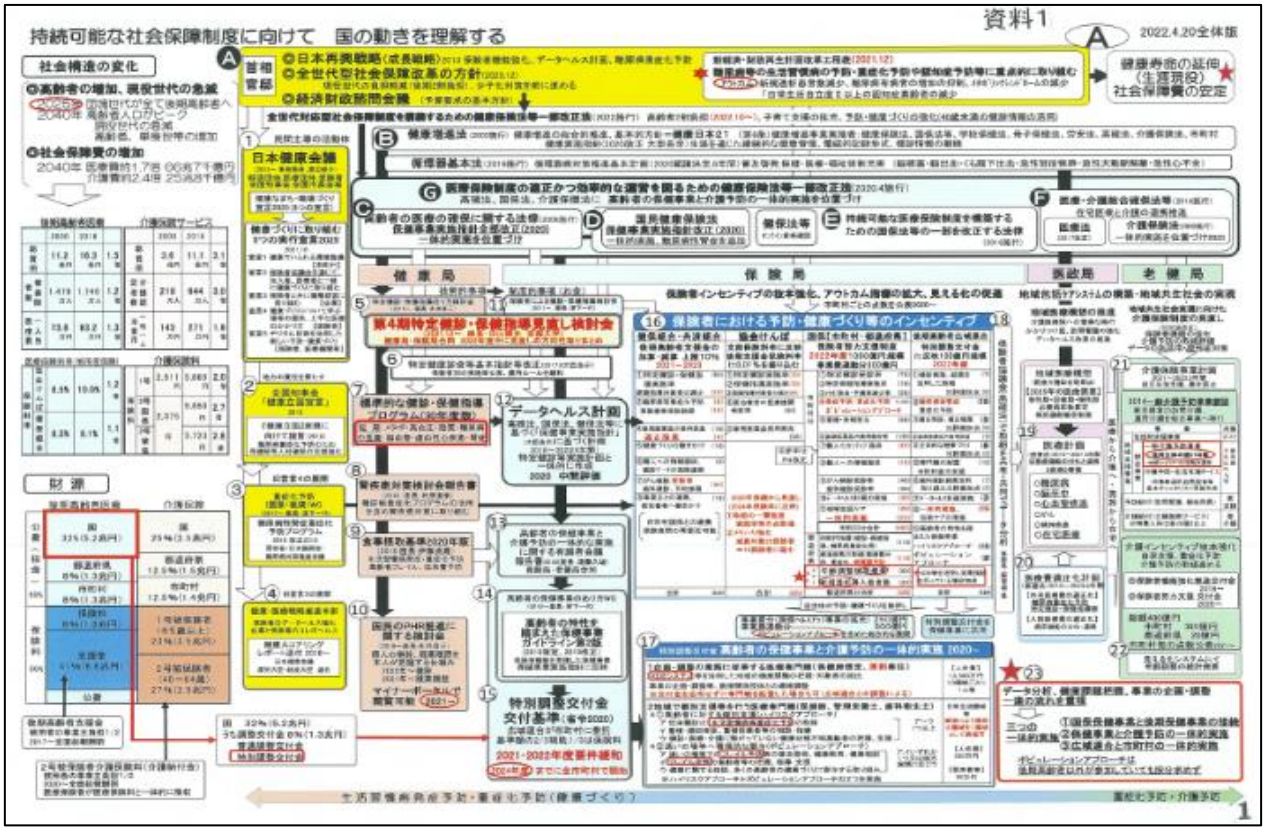
また、本県の年齢調整後一人あたり医療費は国民健康保険及び後期高齢者医療 12 位、介護給付費 1 位と高く、今後、高齢化が進展していく中で、益々、医療費財政の逼迫が予想され、健康保持・増進及び健康寿命の延伸を図りながら、重症化予防、医療費・介護費適正化を図っていくことが求められている。

そのため、市町村・保険者の管理的立場の保健師等が効果的な保健活動を組織的に展開するために求められる能力や果たすべき役割を理解し、地域住民の健康の保持・増進に貢献する資質の向上を図ることを目的に本研修を実施する。

今日の研修会の対象者は「リーダー」育成の研修に位置づけられている。リーダーと言っても役職が付いている、ついてないそれぞれだが、一つは実践している専門職の取りまとめや評価、そして効果を検証するという目的に、この研修会を組み立てている。この研修会の参加者は９割が公務員である。公務員の特徴も考えながら進めていく。

【資料 1】 1 ページ

「持続可能な社会保障制度に向けて　国の動きを理解する」



公務員法を思い出してほしい。「公務員は公共の利益のために勤務し」、「職務を遂行するにあたって、法令等に従い」という言葉がある。きちんと法律を理解し、公共の利益のためにということが、この構造図に当てはまる。一つは「社会保障の安定」。社会保障費といえば介護費用や医療費を思い出すが、これが公共の利益である。この目的の背景として「社会構造の変化」というところを確認する。2025 年団塊の世代が全て後期高齢者に入ってくることを何度も耳にしていると思う。少子高齢化という言葉もよく聞いていると思うが、もちろん社会保障費が増加することは予測されることで、後期高齢者の医療費と介護保険のサービスを 2000 年と 2018 年で比較してみると、総医療費で 1.5 倍、介護保険で 3.1 倍に増加している。これは国の値だが、リーダー的存在の専門職は自市町村の数字を言えるか？そうやって比較してきたか？

後期は 2000 年からの比較だが、特定健診保健指導が始まった 2008 年と比較してもいいと思う。

介護保険は、介護保険が導入された年の 2000 年からの比較でいいと思うが、自市町村で違いがあると思うので試しながらやってみてほしい。そして医療費、介護保険を賄うためには保険料を支払うが、協会けんぽや健保組合の医療保険料を見てほしい。沖縄は協会けんぽの加入の多い県である。2022 年度（令和 4 年度）の保険料率をご存じだろうか？市町村は考えてみたこともないと思うが、健康増進法の中で全ての住民のことを考えなければいけない立場の市町村は、一応知るべき数字だと思う。2022 年度（令和 4 年度）の保険料率 10.1%である。そして介護保険料だが、介護保険は 1 号 2 号とあるが一番大事な財源の仕組みを見てもらいたい。まず後期高齢者医療費の公費と保険料で賄っていくが、保険料は 8%（1.3 兆円）、支援金は 41%（6.8 兆円）。高齢者の医療を支えるために 74 歳以下の人たちが出すお金の率である。介護保険と比べてみたとき、1 号は 65 歳以上で 2 号は 40～64 歳の若い人で比率自体はそれほど変わらないが、支援金という率の大きさがすごい。これは保険料なので使えば使うほどお金大きくなっていく。今後若い人は減っていく。どうなるのか？と言うことである。そしてもう一つ特徴的な

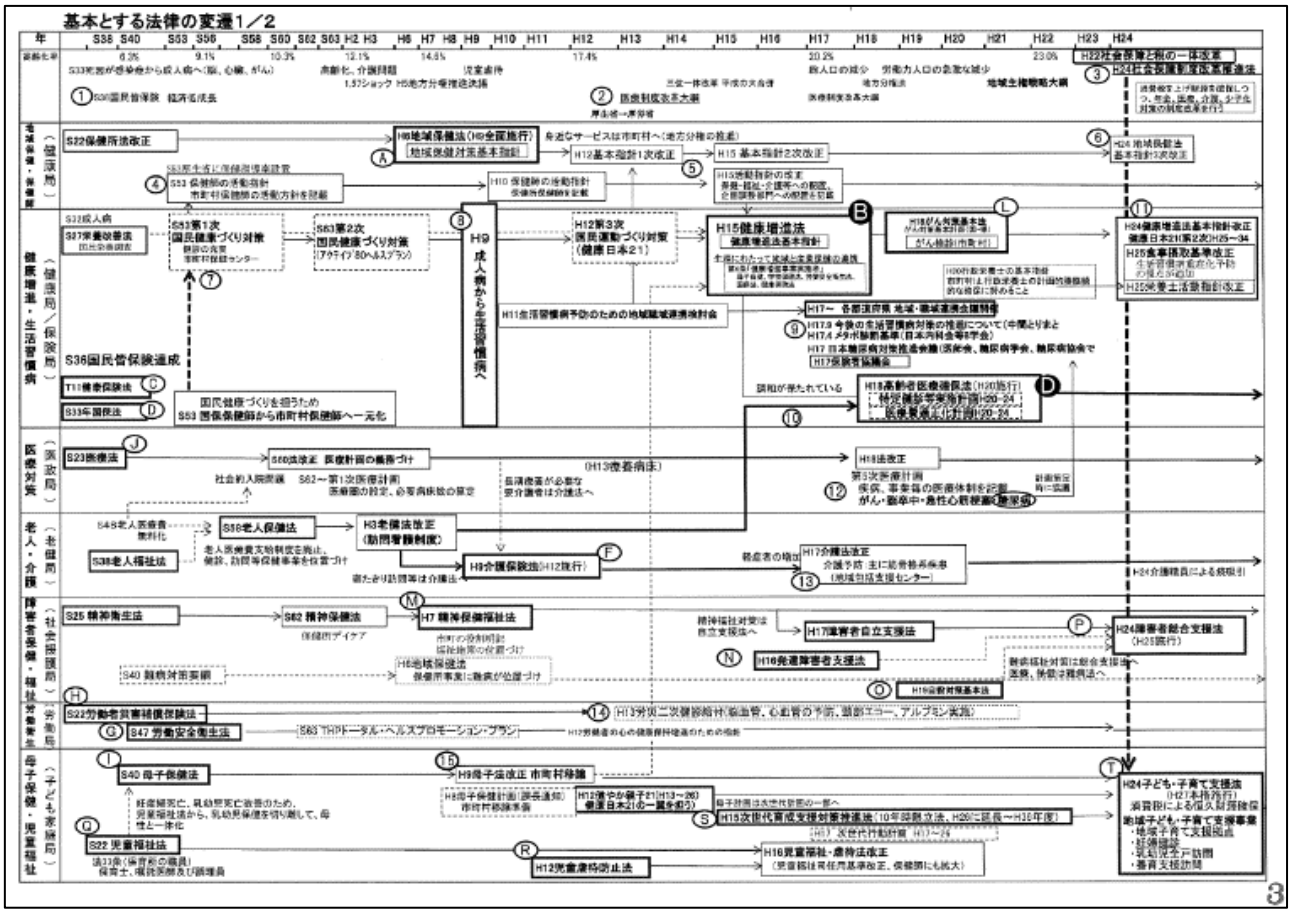
ものが、この支援金は被用者保険の事業主も半分負担している。だから健保組合が潰れていくということも事実起こっていて、そうするとその人達が協会けんぽに入ってくる。支援金は協会けんぽに移動しても払うわけだが、こういう仕組みがあるということ。日本は本当に社会保障費の素晴らしい国といわれているが、若い人は減って医療費は上がると国としても国民も困る事になる。その為にどういう風に法律を整えてきたか。その関連する法律が構造図Ｂ～Ｆである。

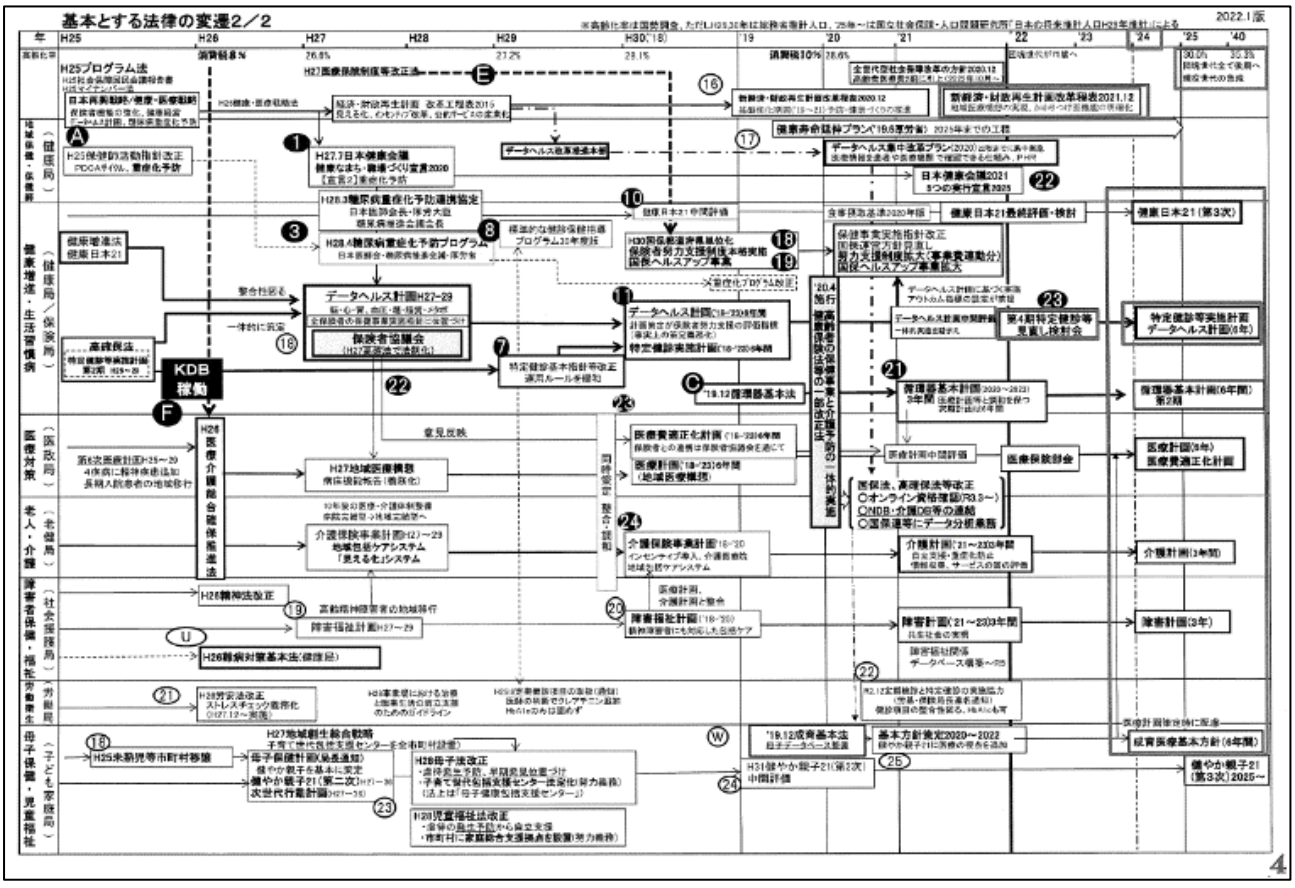
Ｂ健康増進法、そしてＣ高齢者の医療の確保に関する法律、Ｄ国保法、健保法、Ｅ持続可能な医療保険制度を構築するための国保法等の一部を改正する法律、そしてＦ医療介護総合確保法。皆さんに関連する法律に基づいて仕事をする。最低限どういう目的でということをきちんと押さえないといけない。そしてＢの下に「循環器基本法」がある。この循環器とは何か？皆さんの業務と関係してくるものである。これは国が計画を立てている。そして沖縄県も医療政策から、令和４年３月「沖縄県循環器対策推進計画書」が出され、その概要版がホームページに載っている。保健師は循環器と言えばどんな疾患が該当するか？をご存じかと思うが、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血・急性冠症候群・急性大動脈瘤・急性心不全。脳と心臓の循環器の疾患を予防しようという事がきちんと書かれている。
そして、この循環器基本法の中には、⑯保険者インセンティブの中の保険者は、予防のために啓発普及をしていく責務があると書いてある。だから皆さんは循環器法とも繋がっている。リーダーは、県がどういう計画を立てているのか確認したらいいと思う。きちんと目標数値もあるのでこの法律に基づいて行っていく。

Ａは首相官邸のところには国の方針が入っている。そして白抜き「新経済・財政再生計画改革工程表」実現するために国は工程表を作る。これは国全体としての考え方を示しているものである。そして国の評価は「アウトカム」という言葉で、新規透析患者数減少、糖尿病有病者の増加の抑制、メタボリックシンドロームの減少という項目をきちんと添えている。国の方針の下、法律があり、その次に保険者に対してお金を確保してくれている。これが⑯「保険者における予防・健康づくり等のインセンティブ」で、社会保障を安定させるために予防のためのお金を国は確保している。
このことを各自治体が意識しているかどうかである。予防のためにお金を出すということはすごい事である。⑯インセンティブの国保を見ると、保険者努力支援制度で 2022 年には 1000 億円というお金が投入されている事を覚えておいてほしい。国は準備している。

そしてもう一つ、⑯矢印下「自治体の予防健康づくりを後押し」するために国保ヘルスアップ事業費分が 250 億、事業費連動分 300 億という風に、努力支援制度にプラス、お金が投入されていることをリーダーの皆さんは知っていたか？民間企業から見るとすごいお金だと思う。きちんと準備されたお金を効率よく使っているかどうか？
では、予防に準備されたお金をどうやっていくのか？それが制度⑤「特定健診・保健指導の在り方検討会」。
特定健診・保健指導が一つの制度として出てきた。これが今、第４期見直し検討会が始まっている。実践は特定健診・保健指導で、国の考えていること。このようにお金が準備されているこれが未だ分からない人は、この構造図は鍛錬性のあるものをきちんと書いてあるので、勉強してほしい。

資料 1】 3～4 ページ 基本とする法律の変遷

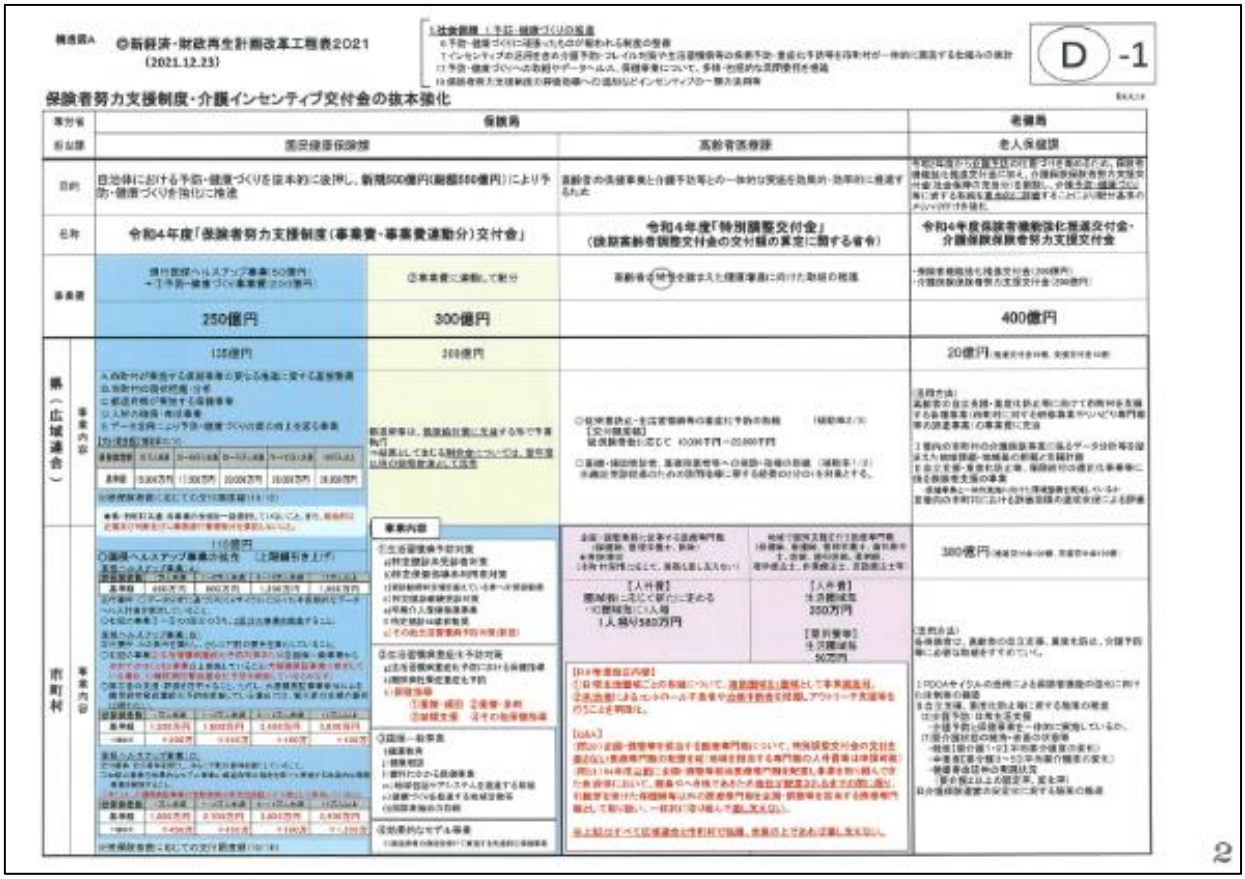




今日は新しい参加者が多いということも聞いているので、法律の変遷を確認する。縦軸は国のそれぞれの局が書かれている。今回は 3 段目の健康局と保健局の変遷を中心に話したい。まず、1 段目高齢化率と国の施策が書いているが、H13 の下②「医療制度改革大綱」、H17 年にも「医療制度改革大綱」とある。この H17 年がポイントになるが、国は健診保健指導を H18 年に始めたときに、健診保健指導プログラム 30 年度版を出した。リーダーは当然見ている。そこに書いてあることが、『医療制度改革は政府与党医療改革協議会で、H27 年度には H20 年度と比較して生活習慣病や予備群を 25%減少させることが、政策目標として掲げられ、中長期的な医療費の伸びの適正化を図ることとされた。この考え方を踏まえて、生活習慣病予防の徹底を図るため、H20 年の 4 月から高齢者の医療の確保に関する法律によって、保健所に対して内臓脂肪の蓄積に起因した生活習慣病に関する健康診査および特定健診の結果により健康のうちに努める必要があるものに対する保健指導の実施が義務付けられた』
この医療制度改革大綱の考え方が特定健診・特定保健指導の考え方になったと書かれている。
H20 年度 D 特定健診ところ、特定健診保健指導実施計画は H20 年から 24 年が第 1 期計画の年だった。そして 4 ページ目、第 2 期特定健診保健指導実施計画が H25 年～29 年。そして H26 年に F「KDB 稼働」。KDB は国保データベースシステムだが、これは健診と医療と介護が電子化されたもの。この KDB 国保データベースシステムが、データヘルス計画に繋がってきた。データで見るということ。これが H27 年から H29 年。ここでも特定健診保健指導の考え方を、介護までデータで見ていくとした。そして⓫「第 3 期の特定健診実施計画」から 6 年間計画になり、「第 2 データヘルス計画」も併せて 6 年間としている。そして R2 年「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」が出てきたが、R3 データヘルス計画の中間評価は、一体化を踏まえて行うとされた。
　リーダーは、自分の市町村の中間評価はどういう結果だったのか、ということも具体的に伝えたい。中間評価を踏まえ話すと黒丸㉓「第 4 期特定健康診査等見直し検討会」が開始した。そして来年はすべての計画策定の年になる。健康日本 21、第 4 期の特定健診実施計画、第 3 期データヘルス計画、第 2 期循環器基本計画、医療計画、医療費適正化計画、介護計画、障害計画と、全て一体的な考えである。だから来年は計画の年になるから、評価を踏まえて、きちんと自市町村のことをどうしていくか考えなければいけない。もう 1 点、評価のところに入る前に予防のために準備されたインセンティブについても少し説明をしたい。

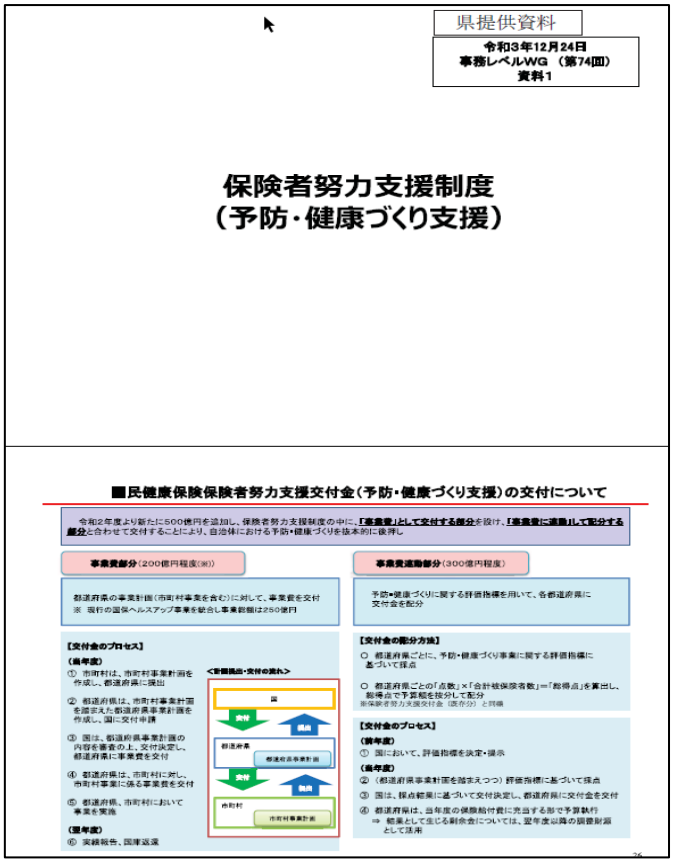
資料 1（2 ページ）

D-1 保険者努力支援制度・介護インセンティブ交付金抜本強化



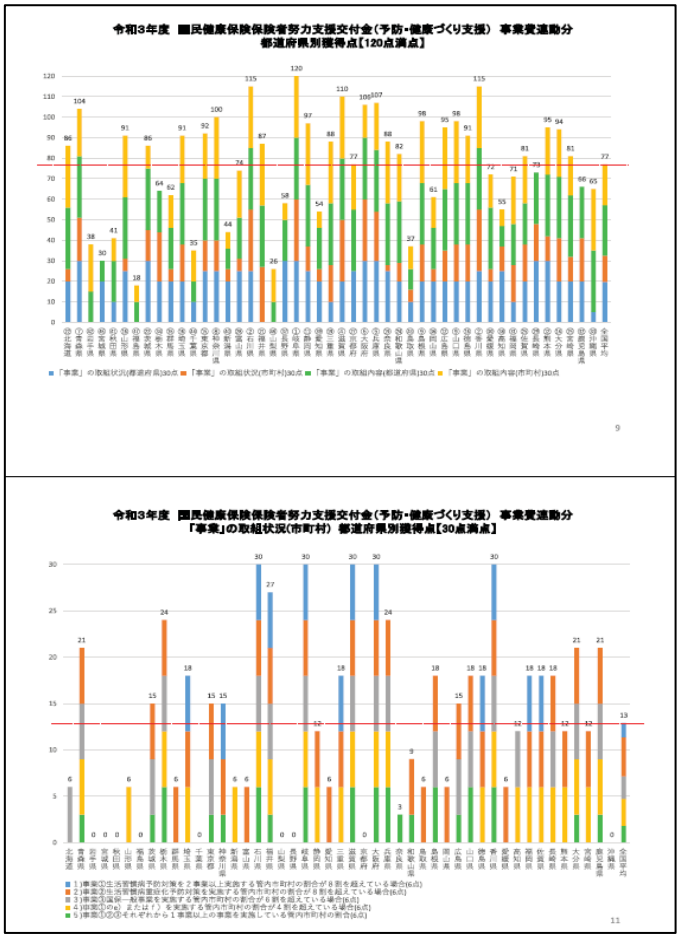
インセンティブの抜本強化の国民健康保険分予算を見る。縦軸に目的、名称があり、事業費とある。事業費は、県・市町村に対しての考え方が書かれている。見てほしいところは、名称「令和 4 年度保険者努力支援制度（事業費・事業費連動分）交付金」。ここに 250 億、300 億円とあるが、事業費に連動して配分する事が去年だされ、市町村はきちんと考えないといけない。リーダーに是非話さなければいけない所である。この事業費連動分の 300 億円の事業内容は、「都道府県は保険料給付に充当する。そして結果として余剰金については翌年度調整財源として活用する」と書いている。ここをもう少し具体的に考えてみるが、今回県が提示した資料で確認する。

【県提供資料】保険者努力支援制度（予防・健康づくり支援）



1 ページ

「令和 2 年度より新たに 500 億円を継ぎ足し、保険者努力支援制度の中に事業費として交付する部分を設け、事業費に連動して配分する部分と合わせて交付することにより、自治体における予防健康づくりを抜本的に後押し」。国はこれでもかと予算を付けている。そして事業費連動部分 300 億円は、「予防健康づくりに関する評価指標を用いて各都道府県に交付金を配分する」と書かれている。



2 ページ

R3 年度「都道府県が獲得した点数」120 点満点のところ、沖縄県は 65 点だった。満点を取れる県もある。「事業の取組状況（市町村）」について都道府県獲得点数 30 点満点のところ、沖縄県 0 点だった。0 点？どういうことなのか疑問に思ったはずだ。それとも県のものだから・・・と思ったか？私は色々考えた

令和４年度保険者努力支援交付金（事業費連動分）について

事業費連動分は、都道府県国保ヘルスアップ支援事業及び市町村国保ヘルスアップ事業に関する取組状況及び取組内容を採点し、点数に応じた交付金を都道府県へ交付するものです。市町村に直接は交付されませんが、県へ交付される額が増えると、後年度に市町村が県に納付する事業費納付金額の軽減につながります。
市町村としては、市町村の国保財政の安定化のため、できる限り事業費連動分の交付を受ける必要があると考えています。
各市町村におかれましては、保険料全体として点数が最大化できるよう以下に掲げる評価指標に御留意いただき、積極的な事業中止に御協力くださいますようお願いいたします。

（以下、令和４年４月１日保国発0401第５号から抜粋・加編）
１　「事業」の取組状況による評価　←　事業の実施数で評価
(1)　都道府県の取組状況による評価　省略
(2)　市町村の取組状況による評価

評価指標	配点	必要市町村数
1）　市町村国保ヘルスアップ事業（以下「市町村事業」という。）の①生活習慣病予防対策を２事業以上実施する管内市町村の割合が８割以上の場合	６点	33市町村以上
2）　市町村事業②生活習慣病等重症化予防対策を実施する管内市町村の割合が９割以上の場合	６点	37市町村以上
3）　市町村事業③国保一般事業を１事業以上実施する管内市町村の割合が４割以上の場合（これを満たした上で、２事業以上実施する管内市町村の割合が１割以上の場合は、さらに３点を加点）	５点（８点）	17市町村以上（５市町村以上）
4）　市町村事業①生活習慣病予防対策のａ）又はｂ）を実施する管内市町村の割合が５割以上の場合	６点	21市町村以上
5）　市町村事業①生活習慣病予防対策、②生活習慣病等重症化予防対策、③国保一般事業それぞれから１事業以上の事業を実施している管内市町村の割合が５割以上の場合（３割以上５割未満の場合は３点）	６点（３点）	21市町村以上（13市町村以上）

注１　２事業以上とは、別の小区分で事業を２つ以上実施することをいう。
また、離島における政策費のみの事業は、評価対象とみなさない。

a	a（政策費のみ）	b	
２事業	０事業	０事業	→ 加点対象とならない。
１事業	１事業	０事業	→ 加点対象とならない。
０事業	１事業	１事業	→ 加点対象とならない。
１事業	０事業	１事業	→ 加点対象

注２　割合を算出する際の母数は、管内市町村数となる（申請していない市町村も母数に含まれる。）。

２　「事業」の取組内容による評価　←　様式３別紙７事業費連動分採点シートで評価
(1)　都道府県の取組内容による評価

評価指標	配点	必要市町村数
1）　略	略	—
2）　略	略	—
3）　申請市町村の８割以上が②、市町村の取組内容による評価１）～３）を満たせるよう都道府県から支援を受けたと認識している場合（６割以上８割未満の場合は３点）	10点（５点）	申請市町村の８割以上（申請市町村の６割以上）

(2)　市町村の取組内容による評価

評価指標	配点	必要市町村数
1）　申請市町村の全てが、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせて総合的に事業を展開している場合	10点	申請市町村の全て
2）　申請市町村の全てが、性・年齢別等の視点に加え、地域ごとの分析を実施している場合	７点	申請市町村の全て
3）　申請市町村の全てが、事業の計画、実施、評価にわたり、第三者の支援・評価を受け、事業に反映している場合	７点	申請市町村の全て
4）　「新たな生活様式」の下での予防・健康づくり事業の展開 ア　申請市町村の９割以上が、健診の受診控えに関して、実情に応じた事業を実施している場合	５点	申請市町村の９割以上
4）　「新たな生活様式」の下での予防・健康づくり事業の展開 イ　申請市町村の９割以上が、外出自粛等による身体活動の低下や社会とのつながりの減少により起こりうる身体の機能低下の予防、健康維持の推進をふまえた事業を実施している場合	５点	申請市町村の９割以上

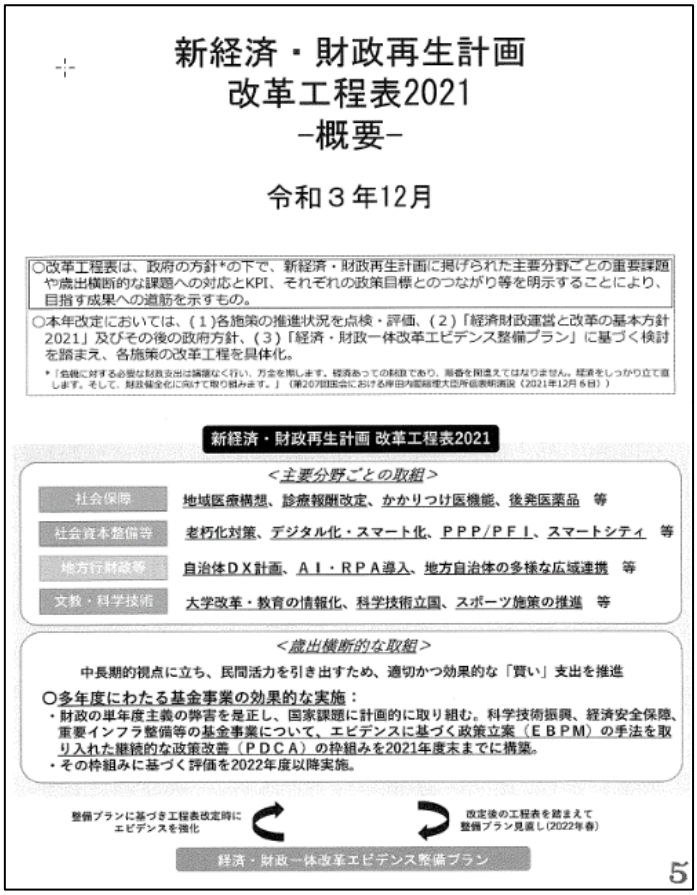
注１　１）の指標は、１つの事業でポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの両方の要素が含まれている場合も、異なる事業でポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの要素が含まれている場合でも加点対象となる。

５ページ

県はきちんと書いてある。「事業費連動分は都道府県ヘルスアップ支援事業及び市町村ヘルスアップ事業に関する取り組み状況及び取り組み内容を採点し、点数に応じた交付金を都道府県に交付するもの。市町村に直接は交付されないが、県へ交付される額が増えると翌年度に市町村が県に納付する事業費納付金額の軽減につながる」。だから市町村にとって納付金というのは、保険料である。市町村が県に納める保険料が安くなるイメージだと思うが、リーダーはそういうことは知っていたか？１つは公共の利益のためにとなると、保険料を安くできたら私たちの仕事は、全うしたということである。ではどういう風に評価をするか。

１事業の取り組み状況による評価

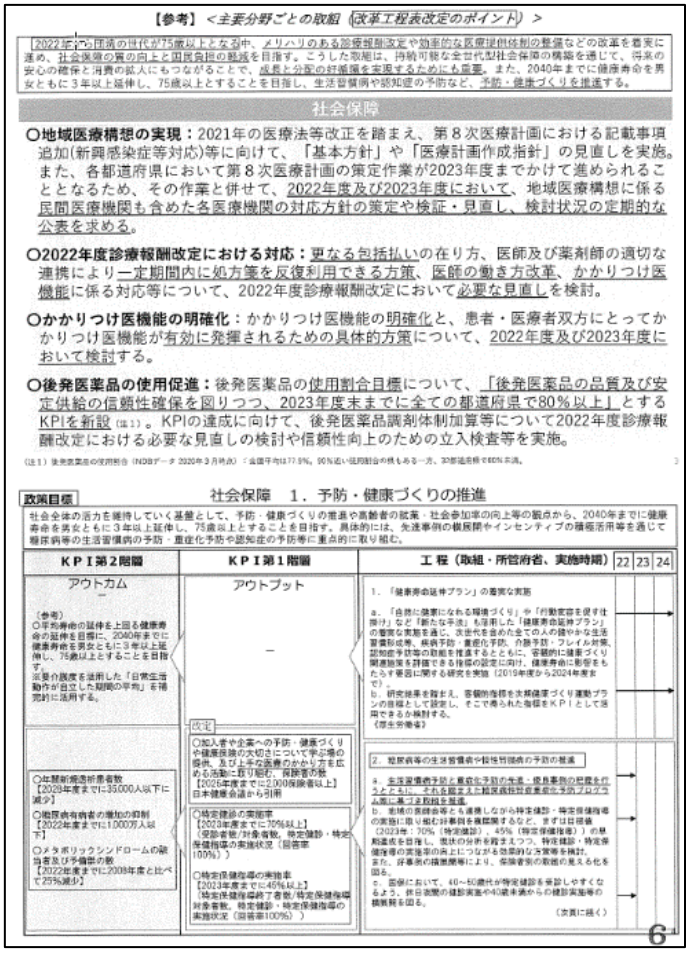
表の右端に配点と必要市町村数がある。1）の事業条件には 33 市町村以上必要である。事業を選択するときはそこも踏まえなければいけない。選択することで点数が取れると思った。自分の好き嫌い云々で選択してはいないか？公共の利益のためにと考えると、0 点は残念である。それぞれ市町村も考えなければいけない事項であると思う。内容をきちんと読めば理解ができるので、保健師のリーダーはきちんと確認をする必要がある。事務方には分からない部分がある。リーダーは事務的なことと専門的な部分を持っている職種。予防に多額のお金が入ってきたという風に考えてもらいたい。このヘルスアップ事業はすごいと思う。大事な財源なのでリーダーは今の自分たちの業務が医療費適正化の業務に繋がっているか、自分たちの事業に見直すということが重要ではないか。



【資料１】５ページ

新経済・財政再生計画改革工程表

新経済・財政再生計画はネットに毎年出てくる。R3 年 12 月のもの。私たちの関係がある予防のことも入っている。新経済・財政再生計画は年に１回出される。四角枠に各施策の進捗状況を点検・評価するものと書いている。皆さんも事業を行ったら点検し評価をするという習慣を付け、やりっぱなしではないといけないと思う。



【参考】＜主要分野ごとの取組（改革工程表改定のポイント）＞

2022年に、団塊の世代が75歳以上となる中、メリハリのある診療報酬改定や効率的な医療提供体制の整備などの改革を着実に進め、社会保障の質の向上と国民負担の抑制を目指す。こうした取組は、持続可能な全世代型社会保障の構築を通じて、将来の安心の確保と消費の拡大にもつながることで、成長と分配の好循環を実現するためにも重要。また、2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上とすることを目指し、生活習慣病や認知症の予防など、予防・健康づくりを推進する。

社会保障

○**地域医療構想の実現**：2021年の医療法等改正を踏まえ、第８次医療計画における記載事項追加(新興感染症等対応)等に向けて、「基本方針」や「医療計画作成指針」の見直しを実施。また、各都道府県において第８次医療計画の策定作業が2023年度までかけて進められることとなるため、その作業と併せて、2022年度及び2023年度において、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し、検討状況の定期的な公表を求める。

○**2022年度診療報酬改定における対応**：更なる包括払いの在り方、医師及び薬剤師の適切な連携により一定期間内に処方箋を反復利用できる方策、医師の働き方改革、かかりつけ医機能に係る対応等について、2022年度診療報酬改定において必要な見直しを検討。

○**かかりつけ医機能の明確化**：かかりつけ医機能の明確化と、患者・医療者双方にとってかかりつけ医機能が有効に発揮されるための具体的方策について、2022年度及び2023年度において検討する。

○**後発医薬品の使用促進**：後発医薬品の使用割合目標について、「後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性確保を図りつつ、2023年度末までに全ての都道府県で80％以上」とするKPIを新設（注1）。KPIの達成に向けて、後発医薬品調剤体制加算等について2022年度診療報酬改定における必要な見直しの検討や信頼性向上のための立入検査等を実施。

（注1）後発医薬品の使用割合（NDBデータ 2020年３月時点）：全国平均は77.5%、90%近い低所割合の残もある一方、30都道府県で60%未満。

政策目標　社会保障　１．予防・健康づくりの推進

社会全体の活力を維持していく基盤として、予防・健康づくりの推進や高齢者の就業・社会参加率の向上等の観点から、2040年までに健康寿命を男女ともに３年以上延伸し、75歳以上とすることを目指す。具体的には、先進事例の横展開やインセンティブの積極活用等を通じて糖尿病等の生活習慣病の予防・重症化予防や認知症の予防等に重点的に取り組む。

KPI第2階層	KPI第1階層	工程（取組・所管府省、実施時期）	22	23	24
アウトカム － （参考） ○平均寿命の延伸を上回る健康寿命の延伸を目標に、2040年までに健康寿命を男女ともに３年以上延伸し、75歳以上とすることを目指す。 ※要介護度を連用した「日常生活動作が自立した期間の平均」を補完的に活用する。	アウトプット －	1．「健康寿命延伸プラン」の着実な実施 a．「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用した「健康寿命延伸プラン」の着実な実施を通じ、次世代を含めた全ての人の豊かな生活習慣形成等、病病予防・重症化予防、介護予防・フレイル対策、認知症予防等の取組を推進するとともに、容観的に健康づくり関連施策を評価できる指標の設定に向け、健康寿命に影響をもたらす要因に関する研究を実施（2019年度から2024年度まで）。 b．研究結果を踏まえ、客観的指標を次期健康づくり運動プランの目標として設定し、そこで用いられた指標をＫＰＩとして活用できるか検討する。 （厚生労働省）	→	→	
○結核新規患者数 【2029年度までに3500人以下に減少】 ○糖尿病有病者の増加の抑制 【2022年度までに1000万人以下】 ○メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の数 【2022年度までに2008年度と比べて25%減少】	改定 ○加入者や企業への予防・健康づくりや健康保険の大切さについて学ぶ場の提供、及び上手な医療のかかり方を広める活動に取り組む、保険者の数 【2025年度までに2,000保険者以上】 日本健康会議から引用 ○特定健診の実施率 【2023年度までに70%以上】 （受診者数/対象者数。特定健診・特定保健指導の実施状況（国保率100%）） ○特定保健指導の実施率 【2023年度までに45%以上】 （特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数。特定健診・特定保健指導の実施状況（国保率100%））	2．糖尿病等の生活習慣病や腎性別臓病の予防の推進 a．生活習慣病予防と重症化予防の生進・横展開の把握を行うとともに、それを踏まえた糖尿病腎性疾患重症化予防プログラム等に基づき取組を推進。 b．地域の医師会等とも連携しながら特定健診・特定保健指導の実施に取り組む事例を横展開するなど、まずは目標（2023年：70%（特定健診）、45%（特定保健指導））の早期達成を目指し、現状の分析を踏まえつつ、特定健診・特定保健指導の実施率の向上につながる効果的な方策を検討。 また、好事例の横展開等により、保険者別の取組の見える化を図る。 c．面接において、40～50歳代が特定健診を受診しやすくなるよう、休日実施の健診実施や40歳未満からの健診実施等の横展開を図る。 （次頁に続く）	→	→	→

6

6 ページ

政策目標。社会保障の予防・健康づくりの推進である。KPI 第 2 階層アウトカムと KPI 第 1 階層アウトプットの評価。そして、工程表が出ている。国はアウトカムでしか評価をしない。読んだことのない方はまず何が書かれているか読む。国は毎年必ず出してくる。アウトカムで評価する。

構造図A　⑤⑪

令和4年（2022年）4月20日　（2）

特定保健指導にアウトカム評価を本格導入へ

「腹囲」「体重」減の体系へ

厚労省WG　6年度実施を提案

ポイント制と併用も

「行動変容」にも加点

特定保健指導にアウトカム評価を導入

介護給付費返還額6.9億円

指導監査、コロナで4割減に

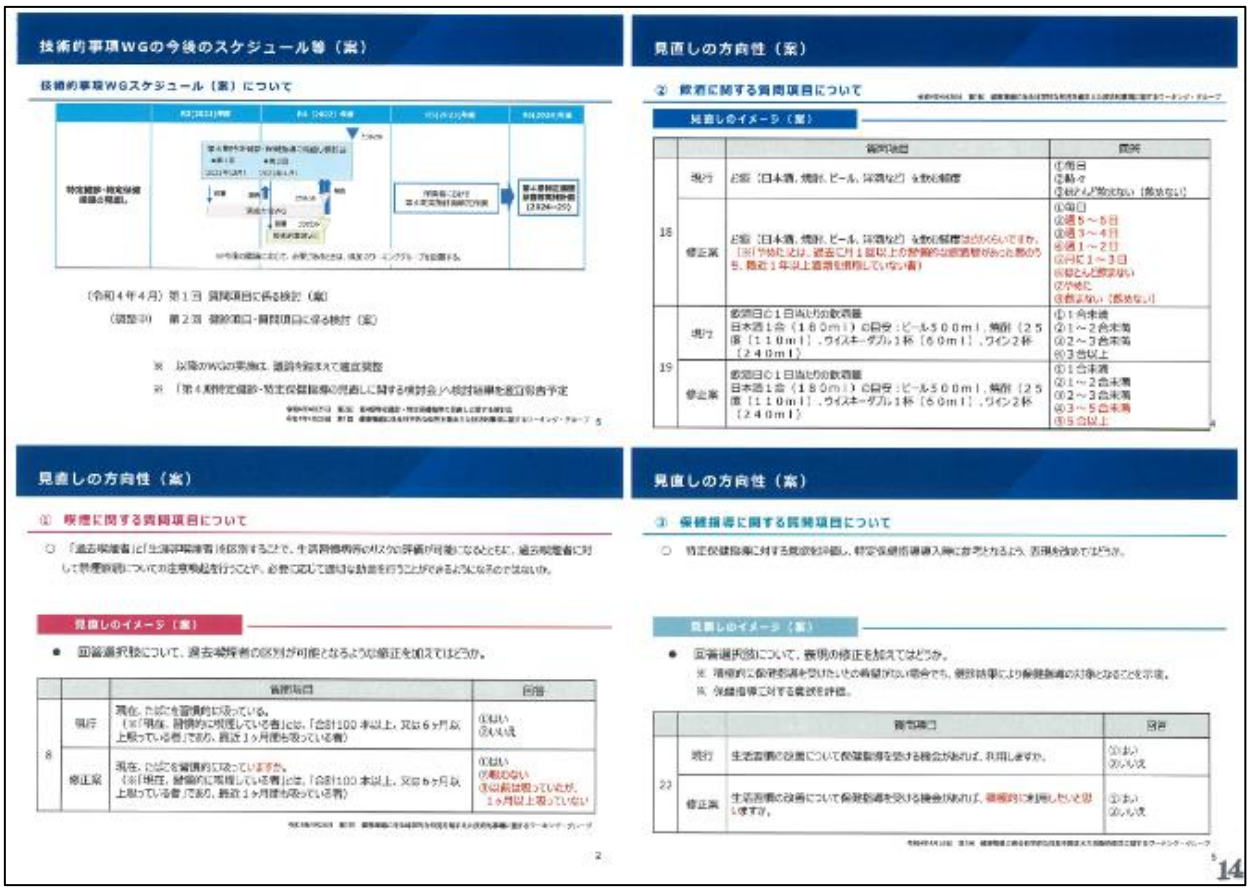
2年度厚労省

13 ページ

左上に構造図 A⑤⑪とあるのは、1 ページ資料内の番号。

これは第 4 期特定健診特定保健指導の見直しに関して、国保新聞の記事である。特定保健指導にアウトカム評価を本格導入するという内容である。「特定健診保健指導の見直しを検討している効率的・効果的な実施方法等に関するワーキンググループで、6 年度から、第 4 期計画で導入する。保健指導のプロセス（過程）を評価する体系から、腹囲 2 cm かつ体重 2kg 以上の減というアウトカム（結果）を評価する体系へ転換する」と数字で出てきた。そして左端には特定保健師等のアウトカムの評価の導入のことの評価体系イメージがある。数字評価とポイントという考えである。これは腹囲と体重だが、最終的には健診データが改善したかという流れではないか。

14 ページ

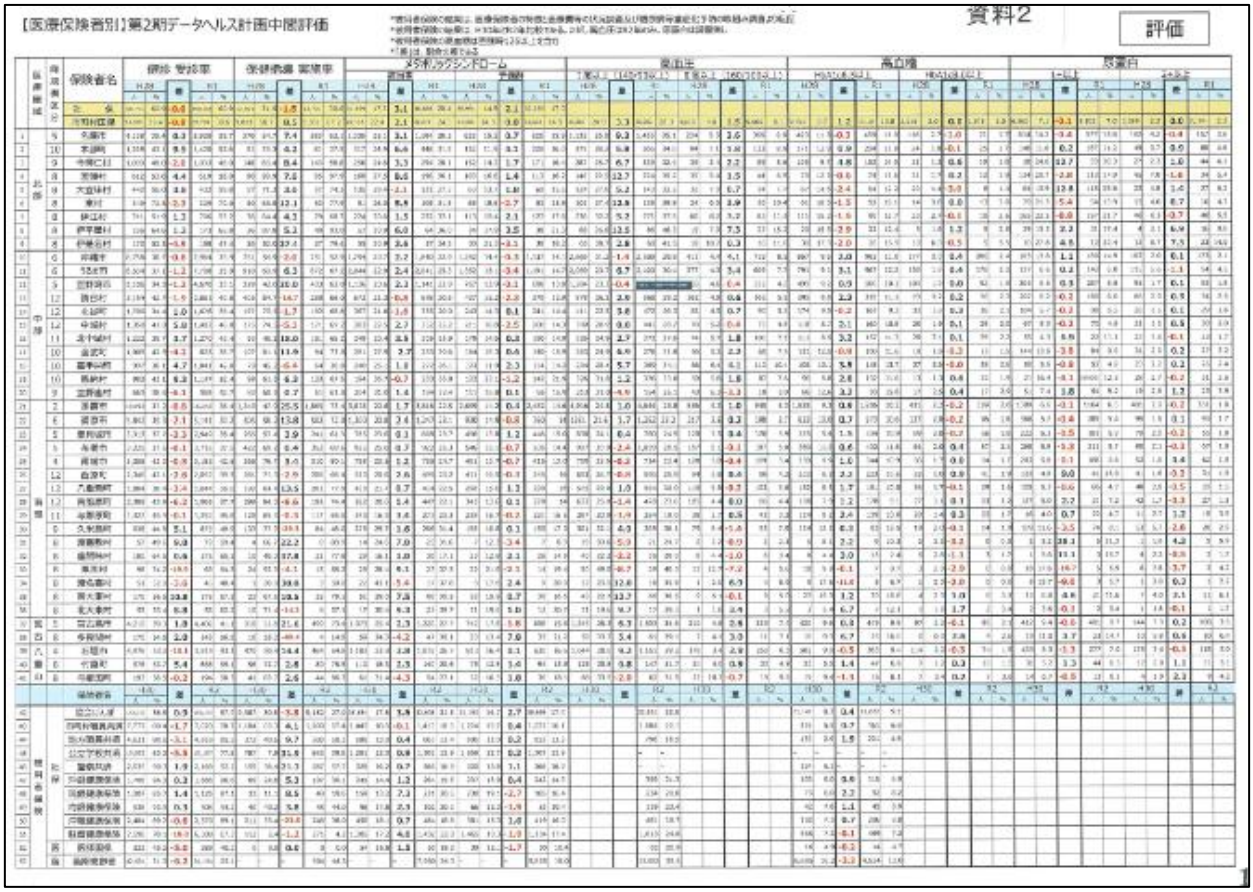


ワーキンググループのスケジュールと、見直しの方向性（案）として 13 ページ以外の項目が書かれている。各自で確認してほしい。見直しのイメージとあるが面白かったのは、右側 22 番、回答選択肢について表現の修正を加えてはどうかとある。現行が「生活習慣の改善について保健指導を受ける機会等があれば利用しますか。」に対して回答は「はい・いいえ」。

修正案は「生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば積極的に利用したいと思いますか。」に対して回答は「はい・いいえ」となっている。今でも「いいえ」の回答が多いが、さらに「積極的に利用するか」と聞くのは面白いと思った。

【資料 2】 1 ページ

医療保険者別　第 2 期データヘルス計画中間評価



縦軸は市町村名と被用者保険。被用者保険として協会けんぽ、健保組合、共済組合、医師国保、後期高齢も沖縄は保険者協議会にデータを出しているが、分かる範囲で提出された。横軸は、H28 年と R 元年で比較し、その差はどうだったか？健診受診率・保健指導実施率・メタボリックシンドローム該当者予備群・高血圧・高血糖・尿蛋白という項目挙げている。やってきたことの評価をしないと分からない。分からないまま新年度が開始されると困る。これも特定健診保健指導のプログラムの中に書かれている。

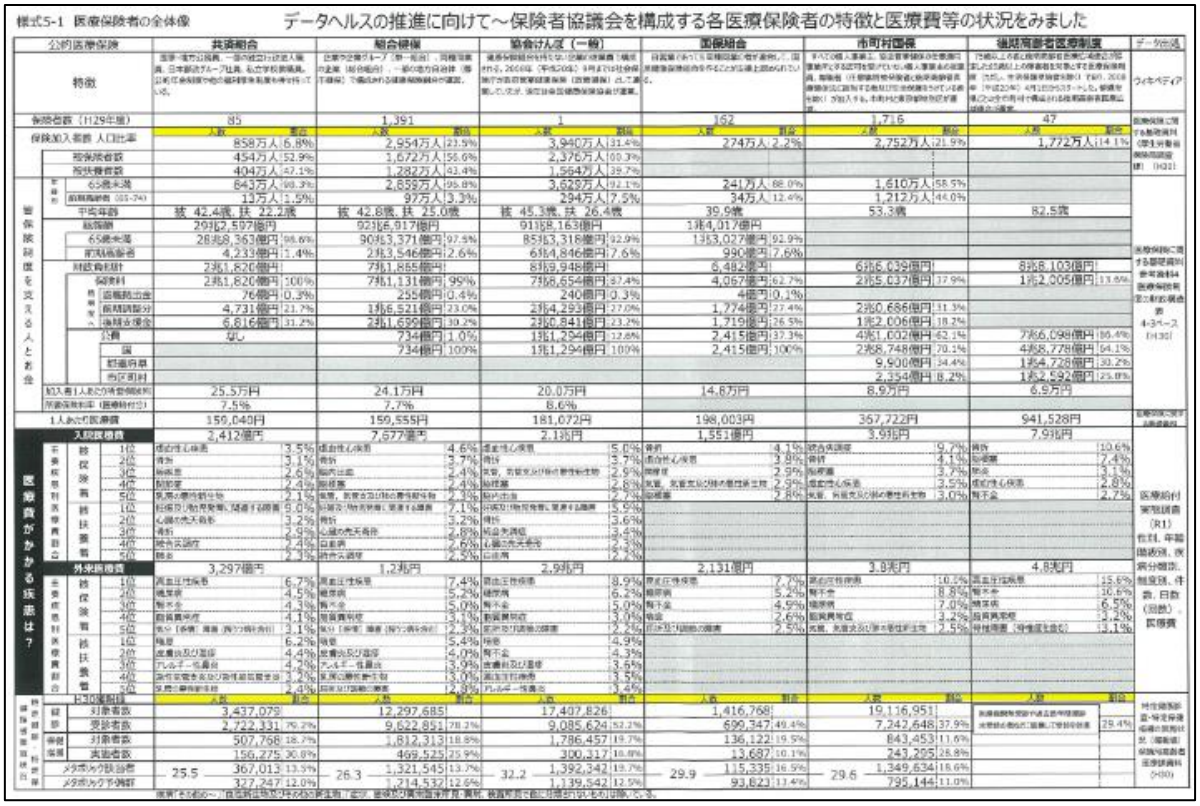
「健康日本 21 では生活習慣に起因する疾病として、主としてはガン・循環器疾患・糖尿病・慢性閉塞性肺疾患であるが、特定健診保健指導のプログラムにおいては身体活動・食生活・喫煙等に関する不適切な生活習慣が引き金となり、肥満・血糖高値・血圧高値・動脈硬化から起こる虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病等とした、さらに保健指導により発症や重症化を予防でき、保健指導の成果を健診データ等の客観的指標を用いて評価できるものを主な対象としている」 ここでもアウトカム評価。このページをじっくり見て、他と比較してみてください。

皆さんは課題設定するうえでどこに関心を持ったか。1 つは国のアウトカムはメタボリックシンドロームを減少させる事。ではメタボ該当者は減ったのか？と見ると、赤数字はマイナスで減っている市町村。そして予備群は、該当者から予備群になったという形の流れもあると思うが、被用者保険の市町村共済組合が減っている。ほとんどが増加している中、市町村共済組合はメタボの該当者が減って、予備群に移動したのか？被用者保険は、若い人たち。市町村共済は市町村で働く人達。次に、メタボは肥満、肥満から始まる高血圧・高血糖をみたとき、高血圧の市町村国保の合計を見ると、H28 年から R 元年比較で 140/90 以上が 3.3 増えた。2 万 5000 人が 2 万 6000 人。そしてⅡ度以上というのはさらに高い 160 以上/100 以上も増えた。高血糖をみると上がり幅が少ない。市町村は高血圧の予測はしていたか？例えば嘉手納町は 140/90 以上が 5.7 倍、Ⅱ度以上も 4.1 倍。沖縄県の国保は高血圧が増え

ている。特定健診保健指導をしてメタボは少し減り、高血糖も少し減った。そして尿蛋白も増えてはいない。だけど高血圧が増えた。という課題が、この第 2 期のデータヘルス計画中間評価から浮かび上がってきた。皆さんは高血圧を課題として取り組んでいたかどうか。課題が見えてきた。プラン（計画）をまた立て直さないといけないのかどうか。そういう進捗管理をするのがリーダーの役割である。各々だけがやっていては、結局解決できない。

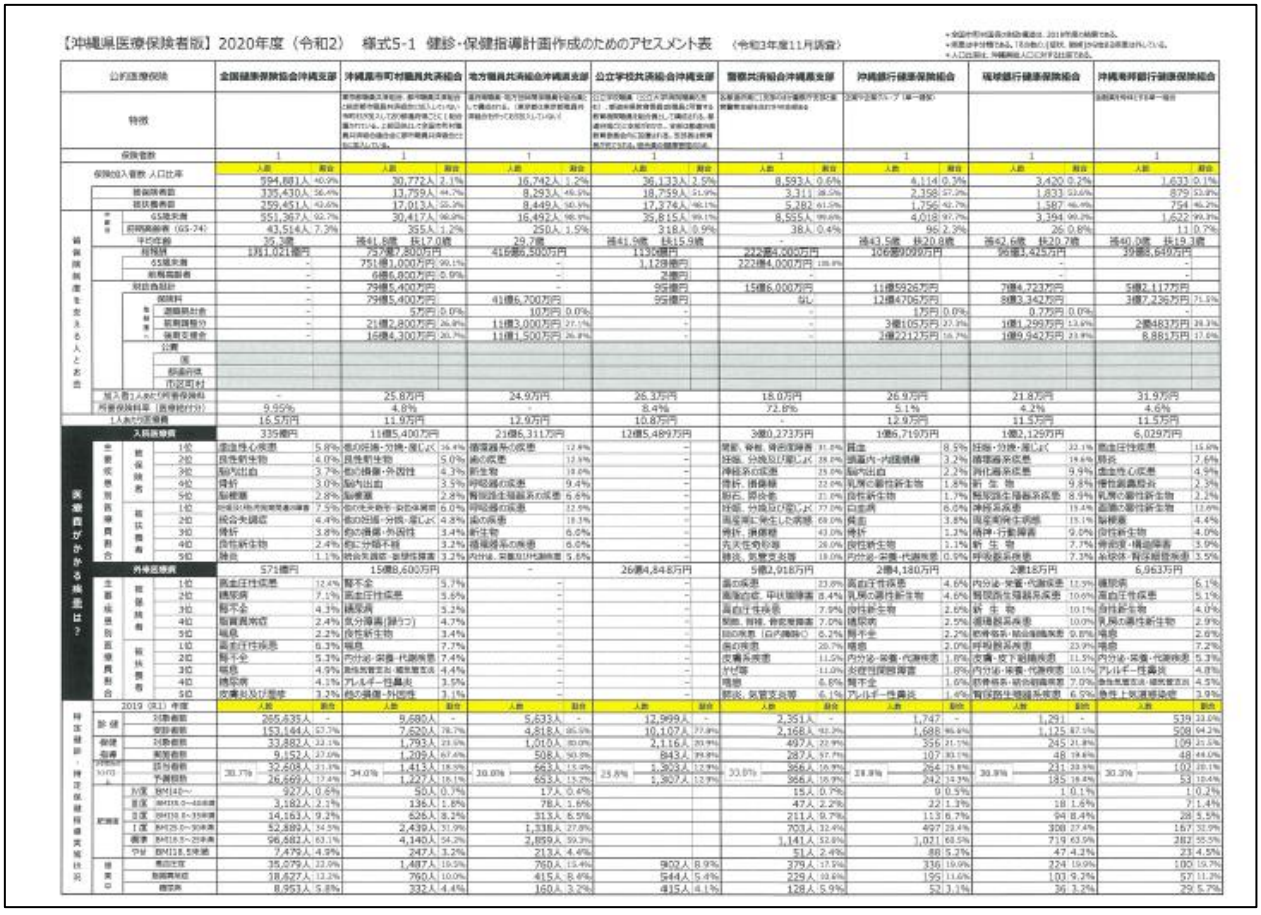
【資料 2】

様式 5-1 医療保険者の全体像



様式5-1 医療保険者の全体像　データヘルスの推進に向けて～保険者協議会を構成する各医療保険者の特徴と医療費等の状況をみました

公的医療保険	共済組合	組合健保	協会けんぽ（一般）	国保組合	市町村国保	後期高齢者医療制度	データ出典
特徴	国家一般職公務員、一部の地方公務員、日本郵政グループ職員、私立学校教職員、公的団体職員等の他の組織単位毎に設ける等を行っている。	企業や企業グループ（第一種）、同種同業の企業（総合組合）、一部の地方自治体（単一組合）で構成される健康保険組合が運営。	健康保険組合を持たない企業が加盟義務（強制適用）。2008年（平成20年）9月より社会保険庁から政府管掌健康保険（政管健保）を継承して、全国一本の協会健康保険組合が運営。	自営業者などが国民健康保険（国保）に加入する。	すべての個人事業主、農業者等組織の全構成員、無職者（社会保険等被保険者家族を除く）が加入する。市町村が運営保険者として運営。	75歳以上の者と障害者を対象とする医療保険制度。ただし、市町村長等が認めた（平成20、2008年）9月1日から65歳以上の障害者を対象とする医療保険制度（平成20年）4月1日から65歳以上の障害者を対象とする医療保険制度に統合と拡大。	ウィキペディア
保険者数（H29年度）	85	1,391	1	162	1,716	47	医療保険に関する動向資料（厚生労働省保険局調査課）（H30）
保険加入者数 人口比率	人数 858万人 割合 6.8%	人数 2,954万人 割合 23.5%	人数 3,940万人 割合 31.4%	人数 274万人 割合 2.2%	人数 2,752万人 割合 21.9%	人数 1,772万人 割合 14.1%	
被保険者数	454万人 52.9%	1,672万人 56.6%	2,376万人 60.3%				
被扶養者数	404万人 47.1%	1,282万人 43.4%	1,564万人 39.7%				
年齢 65歳未満	843万人 98.3%	2,859万人 96.8%	3,629万人 92.1%	241万人 88.0%	1,610万人 58.5%		
前期高齢者（65-74）	13万人 1.5%	97万人 3.3%	294万人 7.5%	34万人 12.4%	1,212万人 44.0%		
平均年齢	被 42.4歳、扶 22.2歳	被 42.8歳、扶 25.0歳	被 45.3歳、扶 26.4歳	39.9歳	53.3歳	82.5歳	
財政負担 総額	29兆2,597億円	92兆6,917億円	91兆8,163億円	1兆4,017億円			医療保険に関する基礎資料（参考資料4）医療保険制度の財政構造（4-3ページ）（H30）
65歳未満	28兆8,363億円 98.6%	90兆3,371億円 97.5%	85兆3,318億円 92.9%	1兆3,027億円 92.9%			
前期高齢者	4,233億円 1.4%	2兆3,546億円 2.6%	6兆4,846億円 7.6%	990億円 7.6%			
財政負担計	2兆1,820億円	7兆1,865億円	8兆9,948億円	8,482億円	6兆6,039億円	8兆8,103億円	
保険料	2兆1,820億円 100%	7兆1,131億円 99%	7兆8,654億円 87.4%	4,067億円 62.7%	2兆5,037億円 37.9%	1兆2,005億円 13.6%	
後期高齢者支援金	76億円 0.3%	255億円 0.4%	240億円 0.3%	4億円 0.1%			
前期調整分	4,731億円 21.7%	1兆6,521億円 23.0%	2兆4,293億円 27.0%	1,774億円 27.4%	2兆0,686億円 31.3%		
後期支援金	6,816億円 31.2%	2兆1,699億円 30.2%	2兆0,841億円 23.2%	1,719億円 26.5%	1兆2,006億円 18.2%		
公費	なし	734億円 1.0%	1兆1,294億円 12.6%	2,415億円 37.3%	4兆1,002億円 62.1%	7兆6,098億円 86.4%	
国		734億円 100%	1兆1,294億円 100%	2,415億円 100%	2兆8,748億円 70.1%	4兆8,778億円 54.1%	
都道府県					9,900億円 34.4%	1兆4,728億円 30.2%	
市区町村					2,354億円 8.2%	1兆2,592億円 25.8%	
加入者1人あたり保険料収入	25.5万円	24.1万円	20.0万円	14.8万円	8.9万円	6.9万円	
所得保険料率（標準報酬ベース）	7.5%	7.7%	8.6%				
1人あたり医療費	159,040円	159,555円	181,072円	198,003円	357,722円	941,528円	医療保険に関する基礎資料
医療費がかかる疾患は？ 入院医療費	2,412億円	7,677億円	2,135円	1,551億円	3,935円	7,935円	医療給付実施状況（R1）（社会、年齢階級別、疾病分類別、性別、年齢、日数（回数）、医療費）
被保険者 1位	虚血性心疾患 3.5%	虚血性心疾患 4.6%	虚血性心疾患 5.0%	骨折 4.1%	統合失調症 9.7%	骨折 10.6%	
2位	骨折 3.1%	骨折 3.7%	骨折 3.7%	虚血性心疾患 3.8%	骨折 4.1%	心疾患 2.4%	
3位	脳梗塞 2.6%	脳内出血 2.4%	関節症 2.9%	関節症 2.9%	関節症 3.7%	脳梗 3.1%	
4位	脳出血 2.4%	脳梗塞 2.4%	脳梗塞 2.8%	関節症 2.9%	虚血性心疾患 3.5%	虚血性心疾患 2.8%	
5位	乳房の悪性新生物 2.1%	関節症 2.3%	脳内出血 2.7%	脳梗塞 2.8%	関節症 3.0%	骨折全 2.7%	
被扶養者 1位	妊娠及び産褥期に関連する障害 9.0%	妊娠及び産褥期に関連する障害 7.1%	妊娠及び産褥期に関連する障害 5.5%				
2位	心臓の先天異常 3.2%	骨折 3.2%	骨折 3.6%				
3位	骨折 2.9%	心臓の先天異常 2.8%	統合失調症 3.4%				
4位	統合失調症 2.4%	白血病 2.6%	心臓の先天異常 2.3%				
5位	関節症 2.3%	統合失調症 2.5%	白血病 2.2%				
外来医療費	3,297億円	1,2兆円	2,9兆円	2,131億円	3.8兆円	4.8兆円	
被保険者 1位	高血圧性疾患 6.7%	高血圧性疾患 7.4%	高血圧性疾患 8.9%	歯の欠損症 7.7%	高血圧性疾患 10.5%	高血圧性疾患 15.6%	
2位	糖尿病 4.5%	糖尿病 5.2%	糖尿病 6.2%	糖尿病 5.2%	骨折全 8.8%	骨折全 10.6%	
3位	骨折全 4.3%	骨折全 5.0%	骨折全 5.0%	骨折全 4.9%	糖尿病 7.0%	糖尿病 6.5%	
4位	脂質異常症 4.1%	脂質異常症 3.1%	脂質異常症 3.0%	喘息 2.6%	脂質異常症 3.2%	脂質異常症 3.2%	
5位	喘息（多発性）（再掲）（再掲）（再掲） 3.1%	喘息（多発性）（再掲）（再掲）（再掲） 2.3%	歯の欠損症 2.2%	虚血性心疾患 2.5%	関節、関節及び関節の疾患 2.5%	骨粗鬆症（骨粗鬆症を除く） 3.1%	
被扶養者 1位	喘息 6.2%	喘息 5.4%	喘息 4.9%				
2位	皮膚炎及び湿疹 4.4%	皮膚炎及び湿疹 4.0%	骨折全 4.3%				
3位	アレルギー性鼻炎 4.2%	アレルギー性鼻炎 3.9%	皮膚科及び湿疹 3.6%				
4位	歯の欠損を含む歯肉炎及び歯周組織疾患 3.2%	気管支喘息（多発性） 3.0%	気管支喘息（多発性） 3.5%				
5位	気管支喘息（多発性） 2.4%	皮膚炎及び湿疹の疾患 2.8%	アレルギー性鼻炎 3.4%				
特定健診・特定保健指導 H30実施状況 健診 対象者数	人数 3,437,079	人数 12,297,685	人数 17,407,826	人数 1,416,768	人数 19,116,951	人数	特定健診・特定保健指導・特定保健指導の実施状況（厚生労働省保険局）（H30）医療費適正化計画（厚生労働省保険局）医療費適正化計画（H30）医療費適正化計画（H30）医療費適正化計画（H30



【沖縄県医療保険者版】2020年度（令和2）　様式5-1　健診・保健指導計画作成のためのアセスメント表　（令和3年度11月調査）

公的医療保険	全国健康保険協会沖縄支部	沖縄県市町村職員共済組合	地方職員共済組合沖縄県支部	公立学校共済組合沖縄支部	警察共済組合沖縄県支部	沖縄銀行健康保険組合	琉球銀行健康保険組合	沖縄海邦銀行健康保険組合
特徴		都市部除く沖縄市・那覇市以外の市町村職員共済組合が組織されていない。1次産業に従事する人が多い。市町村職員共済組合は、1次産業に従事する人が多い。上級団体として全国市町村職員共済組合連合会（都市職員共済組合と統合される）。	国内唯一の海外駐留軍人等を対象とする共済組合である。（東京都と東京都職員共済組合のみ）。沖縄県は、東京都と共済組合の組織は、1つ。（東京都は、東京都職員共済組合と、1つ。）。沖縄県は、1つ。	公立学校職員（公立大学法人職員含む）を対象。（東京都と東京都職員共済組合と、1つ。）。沖縄県は、1つ。沖縄県は、1つ。全国公立学校共済組合。全国公立学校共済組合。沖縄県は、1つ。沖縄県は、1つ。	警察官（警察官以外の職員含む）を対象。（東京都と東京都職員共済組合と、1つ。）。沖縄県は、1つ。	沖縄県内に支店のある銀行が対象。（第一地区）		全国海邦銀行（第一地区）
保険者数	1	1	1	1	1	1	1	1
保険加入者数 人口比率	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合
	594,881人 40.9%	30,772人 2.1%	16,742人 1.2%	36,133人 2.5%	8,593人 0.6%	4,114 0.3%	3,420 0.2%	1,631 0.1%
被保険者数	335,430人 56.4%	13,759人 44.7%	8,293人 49.5%	18,759人 51.9%	3,311 38.5%	2,358 57.3%	1,831 53.6%	879 53.9%
被扶養者数	259,451人 43.6%	17,013人 55.3%	8,449人 50.5%	17,374人 48.1%	5,282 61.5%	1,756 42.7%	1,587 46.4%	754 46.2%
年齢 65歳未満	551,267人 92.7%	30,417人 98.8%	16,492人 98.5%	35,815人 99.1%	8,555人 99.6%	4,018 97.7%	3,394 99.2%	1,622 99.4%
年齢 前期高齢者（65-74）	43,514人 7.3%	355人 1.2%	250人 1.5%	318人 0.9%	38人 0.4%	96 2.3%	26 0.8%	11 0.7%
平均年齢	35.3歳	46.1歳 45.7歳	29.7歳	41.9歳 45.9歳	-	43.5歳 45.0歳	42.6歳 45.7歳	40.0歳 49.3歳
総報酬	1311.021億円	757億7,300万円	416億8,500万円	1135億円	222億4,000万円	106億9,000万円	96億3,425万円	39億8,640万円
65歳未満	-	751億1,000万円 99.1%	-	1,128億円	222億4,000万円 100.0%		-	-
前期高齢者	-	6億6,800万円 0.9%	-	2億円	-		-	-
総自己負担分	-	75億5,400万円	41億6,700万円	55億円	15億6,000万円	11億59267万円	7億4,723万円	5億2,117万円
内訳	-	75億5,400万円	41億6,700万円	55億円	なし	12億4706万円	8億3,342万円	3億7,236万円 71.5%
内訳 保険者 法定給付費	-	5万円 0.0%	107万円 0.0%	-	-	17万円 0.0%	0.77万円 0.0%	-
内訳 保険者 前期調整分	-	21億2,800万円 28.4%	11億3,000万円 27.1%	-	-	3億105万円 27.1%	1億1,299万円 13.6%	2億483万円 28.3%
内訳 保険者 後期支援金	-	16億4,300万円 20.7%	11億1,500万円 26.8%	-	-	2億2212万円 18.7%	1億9,942万円 23.9%	8,881万円 17.0%
内訳 公費								
内訳 公費 国								
内訳 公費 都道府県								
内訳 公費 市区町村								
加入者1人あたり所得保険料	-	25.8万円	24.9万円	26.3万円	18.0万円	26.9万円	21.8万円	31.9万円
所得保険料率（医療給付分）	9.95%	4.8%	-	8.4%	72.8%	5.1%	4.2%	4.6%
1人あたり医療費	16.5万円	11.9万円	12.9万円	10.8万円	-	12.9万円	11.5万円	11.5万円
入院医療費	335億円	11億5,400万円	21億6,311万円	12億5,489万円	3億0,273万円	1億6,719万円	1億2,129万円	6,029万円
医療費がかかる疾患は？ 中長期的な医療費対策 保険者 1位	脳血管性心疾患 5.8%	他の消化器・分泌・腹しょく 16.4%	循環器系の疾患 12.8%	-	腎臓、尿路、骨盤腔障害 31.8%	糖尿 8.5%	妊娠・分娩・産しょく 33.1%	脳血管性疾患 15.8%
保険者 2位	良性新生物 4.0%	良性新生物 5.0%	他の疾患 12.5%	-	妊娠、分娩及び産しょく 28.0%	循環内・内臓循環 3.2%	循環器系疾患 19.6%	肺炎 2.6%
保険者 3位	脳内出血 3.7%	他の損傷・外因性 4.3%	新生物 10.6%	-	神経系の疾患 15.0%	脳内出血系疾患 2.2%	消化器系疾患 9.9%	虚血性心疾患 4.9%
保険者 4位	肺炎 3.0%	脳内出血 3.5%	呼吸器の疾患 9.4%	-	胃炎、腸炎等 12.0%	乳房の悪性新生物 1.8%	新 生 物 9.8%	慢性閉塞肺炎 2.3%
保険者 5位	脳梗塞 2.8%	脳梗塞 2.8%	骨関節系・結合組織系の疾患 6.6%	-	新生物 11.0%	良性新生物 1.7%	骨関節系・結合組織系疾患 8.9%	乳房の悪性新生物 2.2%
被扶養者 1位	心疾患（他の虚血性心疾患を除く） 7.5%	他の先天奇形・変形及び染色体異常 6.0%	呼吸器の疾患 12.9%	-	妊娠、分娩及び産しょく 37.0%	白血病 6.0%	神経系疾患 19.4%	高血圧の悪性新生物 12.6%
被扶養者 2位	統合失調症 4.4%	他の損傷・分泌・腹しょく 4.8%	歯の疾患 10.3%	-	周産期に発生した病態 69.0%	骨盤 3.8%	周産期に発生した病態 15.1%	脳梗塞 4.4%
被扶養者 3位	骨折 3.8%	他の損傷・外因性 3.4%	新生物 6.0%	-	骨折、損傷等 43.0%	骨折 1.3%	精神・行動障害 9.0%	良性新生物 4.0%
被扶養者 4位	良性新生物 2.4%	他に分類不能 3.2%	循環器系の疾患 6.0%	-	先天性奇形等 26.0%	良性新生物 1.1%	新 生 物 7.7%	骨粗鬆・構造障害 3.9%
被扶養者 5位	糖尿 1.1%	統合失調症・妄想性障害 3.2%	内分泌、栄養及び代謝疾患 5.6%	-	糖尿、尿管及び腎 19.0%	内分泌・栄養・代謝疾患 0.9%	呼吸器系疾患 7.3%	血管性・脊髄血管疾患 3.5%
外来医療費	571億円	15億8,600万円	-	26億4,848万円	5億2,918万円	2億4,180万円	2億18万円	6,963万円
生活習慣病 中長期的な医療費対策 保険者 1位	高血圧性疾患 12.4%	腎不全 5.7%	-	-	歯の疾患 23.0%	高血圧性疾患 4.6%	内分泌・栄養・代謝疾患 13.5%	糖尿病 6.1%
保険者 2位	糖尿病 7.1%	高血圧性疾患 5.6%	-	-	高血圧性 8.4%	乳房の悪性新生物 4.6%	腎尿路生殖器系疾患 10.6%	高血圧性疾患 5.1%
保険者 3位	腎不全 4.3%	糖尿病 5.2%	-	-	高血圧性疾患 7.9%	良性新生物 2.6%	新 生 物 10.1%	良性新生物 4.0%
保険者 4位	脂質異常症 2.4%	気分障害（躁うつ） 4.7%	-	-	関節、靭帯、骨盤腔障害 7.0%	糖尿病 2.5%	循環器系疾患 10.0%	乳房の悪性新生物 2.9%
保険者 5位	喘息 2.2%	良性新生物 3.4%	-	-	脳血管疾患（自己免疫性） 6.2%	腎不全 2.2%	筋骨格系・結合組織疾患 9.8%	喘息 2.6%
被扶養者 1位	高血圧性疾患 6.3%	喘息 7.7%	-	-	歯の疾患 20.7%	喘息 2.0%	呼吸器系疾患 23.9%	喘息 7.2%
被扶養者 2位	腎不全 5.3%	内分泌・栄養・代謝疾患 7.4%	-	-	皮膚系疾患 11.5%	内分泌・栄養・代謝疾患 1.8%	皮膚・皮下組織疾患 11.5%	内分泌・栄養・代謝疾患 5.3%
被扶養者 3位	喘息 4.9%	腎尿路生殖器系・結合組織系 4.4%	-	-	外傷 11.0%	良性腫瘍関連障害 1.8%	内分泌・栄養・代謝疾患 10.1%	アレルギー性鼻炎 4.8%
被扶養者 4位	糖尿病 4.1%	アレルギー性鼻炎 3.5%	-	-	喘息 6.8%	腎不全 1.6%	筋骨格系・結合組織疾患 7.0%	急性気管支炎・細気管支炎 4.5%
被扶養者 5位	皮膚及び皮下組織 3.2%	他の損傷・外因性 3.1%	-	-	関節、気管支及び肺 6.1%	アレルギー性鼻炎 1.4%	腎尿路生殖器系疾患 6.5%	急性上気道感染症 3.9%
2019（R1）年度	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合
診療 対象者数	265,635人 -	5,680人 -	5,633人 -	12,999人 -	2,351人 -	1,747 -	1,291 -	539 33.0%
受診者数	152,144人 57.7%	7,620人 78.7%	4,818人 85.5%	10,107人 77.8%	2,168人 92.2%	1,688 96.6%	1,125 87.1%	508 94.2%
保健指導 対象者数	33,882人 22.1%	1,793人 23.5%	1,010人 20.0%	2,116人 20.9%	497人 22.9%	356 21.1%	245 21.8%	109 21.5%
実施者数	9,152人 27.0%	1,209人 67.4%	508人 50.3%	843人 39.8%	287人 57.7%	107 30.1%	48 19.6%	48 44.0%
特定健診 対象者数	32,608人 21.4%	1,413人 18.5%	563人 11.5% 25.8%	1,303人 12.9% 33.8%	366人 16.9% 38.8%	264 15.8% 30.8%	231 20.5% 30.3%	102 20.1%
特定健診 予備群数	26,469人 17.4%	1,227人 16.1%	653人 13.5%	1,307人 12.9%	366人 16.9%	242 14.3%	185 16.4%	53 10.4%
肥満度 対象者 肥満以上	927人 0.6%	50人 0.7%	17人 0.4%	-	15人 0.7%	9 0.5%	1 0.1%	1 0.2%
肥満度 肥満以上 BMI18.5～18.8未満	3,182人 2.1%	136人 1.8%	78人 1.6%	-	47人 2.2%	22 1.3%	18 1.6%	7 1.4%
肥満度 肥満以上 BMI18.8～25未満	14,163人 9.2%	626人 8.2%	313人 6.5%	-	211人 9.7%	113 6.7%	94 8.4%	28 5.5%
肥満度 肥満以上 BMI25.0～30未満	52,889人 34.5%	2,439人 31.9%	1,338人 27.8%	-	703人 32.4%	497 29.4%	308 27.4%	167 32.9%
肥満度 肥満以上 BMI25.0～25未満	96,682人 63.1%	4,140人 54.2%	2,859人 59.3%	-	1,141人 52.6%	1,021 60.5%	719 63.9%	282 55.5%
肥満度 肥満以上 BMI18.5未満	7,479人 4.9%	247人 3.2%	213人 4.4%	-	51人 2.4%	88 5.2%	47 4.2%	23 4.5%
健診 高血圧	35,079人 23.0%	1,487人 19.5%	760人 15.4%	902人 8.9%	379人 17.5%	336 19.9%	224 19.9%	100 19.7%
健診 脂質異常症	18,627人 12.2%	760人 10.0%	415人 8.4%	544人 5.4%	229人 10.6%	195 11.6%	103 9.2%	57 11.2%
健診 糖尿病	8,953人 5.8%	332人 4.4%	160人 3.2%	415人 4.1%	128人 5.9%	52 3.1%	36 3.2%	29 5.7%

3～9 ページ（沖縄県の医療保険者）

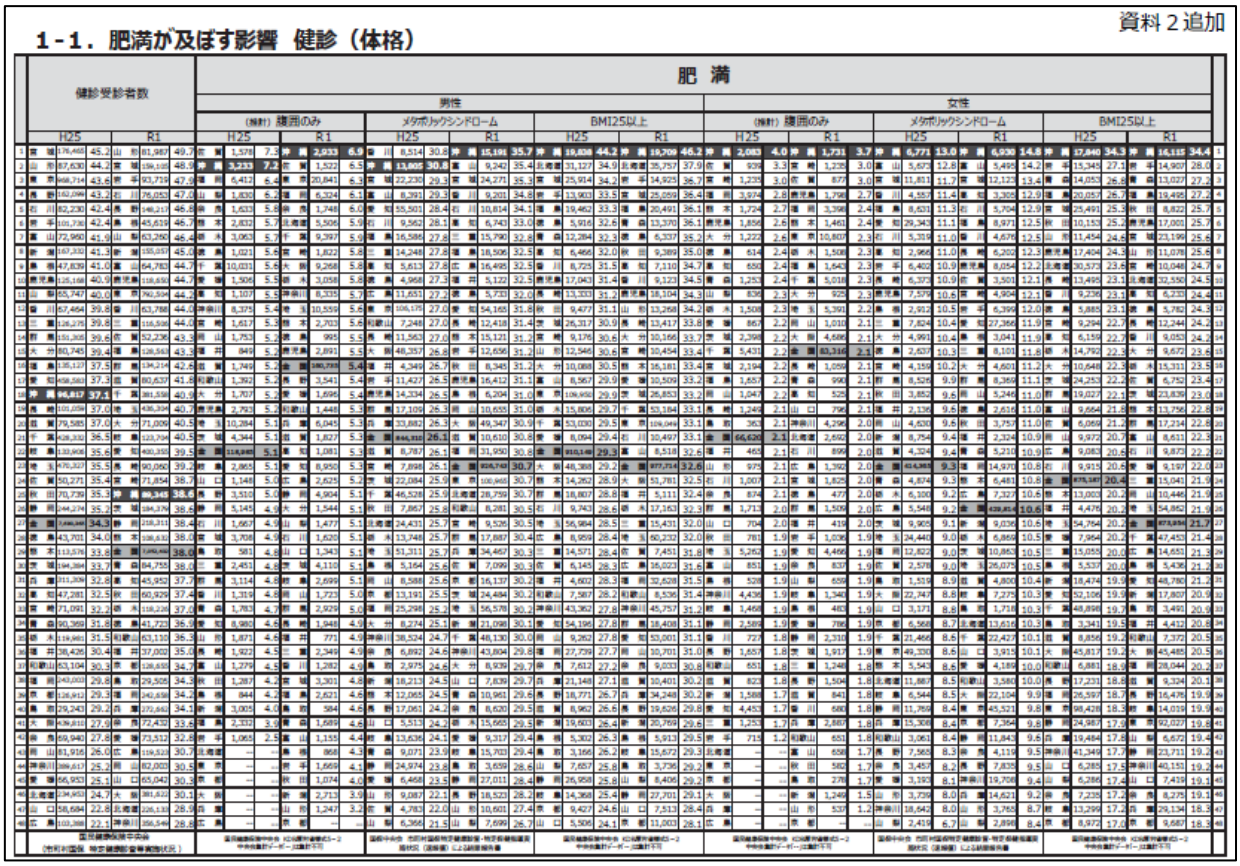
KDB は健診・医療・介護まで突合してみていくという資料だった。まず各市町村の全部あるのでじっくり見てほしい。自分の市町村の立ち位置をどう読みとるか。まず特徴を見たときに、沖縄県の保険加入者数割合は、協会けんぽ 40.9%、沖縄で 1 番多い。そして市町村共済組合は 2.1%、地方職員共済 1.2%、公立学校 2.5%、警察共済 0.6%。そして健保組合、駐留軍 3.6%。医師国保、そして市町村国保は 27.2%。協会けんぽ 40.9%すごく増え、市町村国保が減ってきた。次に大事になってくるのは平均年齢。協会けんぽ 35.3 歳、共済は 41.8 というふうに、それぞれ特徴がある。もう 1 つ「65 歳未満」がはるかに多い。協会けんぽ 65 歳未満 92.7%、前期高齢者 7.3%。実は前期高齢者の部分も民間では増えてきている。公務員も再雇用という形になってきたので、このような特徴がある。次に総報酬があり、そして財政負担として保険料があり、この中の後期支援金。市町村共済組合は今日参加の皆さんの組合。後期支援金 20.7%で 16 億という金を支払っている。これは報酬に応じて支払う。地方職員共済組合は 26.8%、11 億円。協会けんぽは空欄だが協会けんぽも納めている。市町村国保はどうか。市町村国保の 74 歳以下も支払いしているが、保険料の中の 8.6%、約 101 億円。いかに保険者に支援してもらっていることが分かる。では、次に入院の医療費を見る。先程、脳と心臓が入院 5 位以内という話をした。共済組合も 4 位と 5 位の中に脳内出血の脳梗塞がある。県は循環機器への疾患を分析していたが、銀行の健保組合も脳や心臓が出てくる。皆さんの市町村はどうだろうか。沖縄県の市町村国保は、昔から統合失調症が 1 位に上がってくるが、統合失調症は予防という考えには入れない疾患である。次に上がってくる疾患に、やはり脳内出血、脳梗塞が入ってくる。しかし市町村の中で嘉手納町 1 か所だけ脳内出血が 1 位になっている。他は横並びに統合失調だが、嘉手納町だけ脳内出血 1 位。 脳内出血の背景は高血圧が原因と挙げられるが、 1 ページのデータヘルスの中間評価を見ると、嘉手納町の高血圧 140／90 以上は 5.7 増え、重症のⅡ度以上も 4.1 倍と県の平均 1.5 倍より多い。これは関連しているのかと思いながら嘉手納町の特徴を見た。

もう 1 つ大事になってくるのがメタボの率の違い。メタボの該当者・予備群を足した数字を見ると、2 ページ全国医療保険者はだいたい 30%以内であった。1 番高いのは協会けんぽ 32.2%であった。沖縄県のメタボリックシンドロームは、協会けんぽ 38.7%、市町村共済が 34.6%。唯一地方職員共済が 26.6%、公立学校 25.8%であった。私は市町村共済、市町村共済の両方の保健指導をしているが、県は市町村共済と比べるとメタボは低いと感じる。どうして市町村共済はメタボの割合が多いのか。しかし中間評価では減少していた。実は、市町村共済も順位として 3 位と高かったが、他がメタボの率があまり改善していなかったので、その差が出たと思われる。市町村共済加入の保健師の皆さん、皆さんの仲間である公務員がメタボ高いと・・。いろいろな特徴が見えてきた。今後このようにして数値で出されていく。実はここで私は健保組合を見て思ったことが、健康経営っていう、健康に関して健康官営・経営に関して国の施策がある。たくさんの事業所が申し込み、沖縄の健保組合も結構上位にいるが、まだ特定健診保健指導の改善率まで求めた資料ではない。ただ、健康経営のイメージだからこれでいいのかと思い見ていたが、健診データは悪い。一応国が求めた資料の中には健診データはない。沖縄の 3 つの銀行の中で、琉球銀行がメタボ 36.9%で高い。そして駐留軍 39.4%と高くなっている。メタボの問題性は若い人たちなのか？と思った特徴である。

では支援金や各保険者の特徴など数字で見てきた。

【資料 2 追加】

肥満が及ぼす影響　1-1 健診（体格）



資料 2 追加

1-1．肥満が及ぼす影響　健診（体格）

	健診受診者数 H25		健診受診者数 R1		肥満 男性 (推計) 腹囲のみ H25		肥満 男性 (推計) 腹囲のみ R1		肥満 男性 メタボリックシンドローム H25		肥満 男性 メタボリックシンドローム R1		肥満 男性 BMI25以上 H25		肥満 男性 BMI25以上 R1		肥満 女性 (推計) 腹囲のみ H25		肥満 女性 (推計) 腹囲のみ R1		肥満 女性 メタボリックシンドローム H25		肥満 女性 メタボリックシンドローム R1		肥満 女性 BMI25以上 H25		肥満 女性 BMI25以上 R1		
1	宮城	176,468	45.2	山形	81,987	49.7	広島	1,578	7.3	沖縄	2,933	6.9	愛媛	8,514	30.6	沖縄	15,191	35.7	沖縄	19,838	44.2	沖縄	19,709	46.2	沖縄	2,083	4.0	沖縄	1,731	3.7	沖縄	6,771	13.0	沖縄	6,930	14.8	沖縄	17,840	34.3	沖縄	16,115	34.4	1
2	山形	87,630	44.2	宮城	156,108	48.9	沖縄	3,233	7.2	広島	1,522	6.5	沖縄	11,805	30.8	富山	9,242	35.4	北海道	31,127	34.9	北海道	35,757	37.9	広島	936	3.3	富山	1,235	3.0	富山	5,673	12.8	富山	5,495	14.2	秋田	15,345	27.1	秋田	14,907	28.0	2
3	東京	848,714	43.6	秋田	93,719	47.9	福岡	6,412	6.4	東京	20,841	6.3	宮城	22,230	29.3	宮城	24,271	35.3	宮城	25,914	34.2	秋田	14,925	36.7	宮崎	1,235	3.0	広島	877	3.0	宮城	11,811	11.7	宮城	12,123	13.4	長崎	14,053	26.8	長崎	13,027	27.2	3
4	長崎	102,094	43.2	石川	76,053	47.0	山梨	1,830	5.2	福島	6,324	6.1	富山	8,391	29.3	愛知	9,201	34.8	秋田	13,903	33.5	宮城	25,059	36.4	福岡	3,974	2.8	鹿児島	1,756	2.7	愛知	4,557	11.4	愛知	3,305	12.9	福島	20,057	26.7	福島	19,495	27.2	4
5	石川	82,230	42.4	長野	148,217	46.8	静岡	1,633	5.8	静岡	1,748	6.0	愛知	55,501	28.4	石川	10,814	34.1	福島	19,462	33.3	福島	20,491	36.1	新潟	1,724	2.7	福岡	3,398	2.4	福島	8,631	11.3	石川	5,704	12.9	宮城	25,491	25.3	秋田	8,822	25.7	5
6	秋田	101,736	42.4	長崎	45,619	46.7	鳥取	2,832	5.7	北海道	5,506	5.9	秋田	9,562	28.1	愛知	6,743	33.0	愛媛	5,916	32.6	福島	13,570	36.1	鹿児島	1,856	2.6	新潟	1,461	2.4	愛知	29,343	11.1	福島	8,971	12.5	秋田	10,153	25.2	鹿児島	17,001	25.7	6
7	富山	72,950	41.9	山梨	63,260	46.4	栃木	3,063	5.7	千葉	9,397	5.9	福島	16,586	27.8	福島	15,790	32.8	愛媛	12,284	32.3	愛媛	6,337	35.2	大分	1,222	2.6	東京	10,807	2.3	石川	5,319	11.0	愛媛	4,676	12.5	山形	11,454	24.6	宮城	23,196	25.6	7
8	新潟	167,330	41.3	新潟	155,057	45.0	長崎	1,021	5.6	宮城	1,822	5.8	宮城	14,248	27.6	福島	18,506	32.5	鳥取	6,466	32.0	秋田	9,389	35.0	徳島	614	2.4	新潟	1,508	2.3	鳥取	6,373	10.9	佐賀	3,501	12.1	長崎	17,404	24.3	山形	11,078	25.6	8
9	長崎	47,839	41.0	富山	64,782	44.7	千葉	10,031	5.6	大阪	9,268	5.8	鳥取	5,613	27.6	広島	16,495	32.5	愛知	8,725	31.5	鳥取	7,110	34.7	鳥取	659	2.4	福島	1,643	2.3	新潟	6,402	10.9	鹿児島	8,054	12.2	北海道	30,573	23.6	宮崎	10,048	24.7	9
10	鹿児島	125,168	40.9	鹿児島	118,651	44.7	愛媛	1,506	5.5	栃木	3,058	5.8	鹿児島	4,968	27.3	福岡	5,122	32.5	鹿児島	17,043	31.4	愛媛	9,123	34.5	愛媛	1,253	2.4	千葉	5,018	2.3	長崎	6,373	10.9	佐賀	3,501	12.1	鳥取	13,495	23.1	北海道	32,550	24.5	10
11	山梨	65,747	40.0	東京	760,504	44.2	富山	1,107	5.5	神奈川	8,335	5.7	広島	11,651	27.2	鹿児島	5,733	32.0	長崎	13,503	31.2	鹿児島	18,104	34.3	山梨	859	2.3	大分	925	2.3	鹿児島	7,579	10.6	宮崎	4,904	12.1	愛媛	9,236	23.1	富山	6,233	24.4	11
12	愛媛	87,464	39.8	愛媛	63,788	44.0	神奈川	8,375	5.4	愛知	10,559	5.6	長崎	106,179	27.0	愛知	54,165	31.8	秋田	9,477	31.1	山形	13,268	34.2	栃木	1,508	2.3	埼玉	5,391	2.2	長崎	6,373	10.9	愛媛	3,885	12.1	栃木	6,399	23.1	栃木	5,782	24.3	12
13	三重	126,275	39.8	三重	116,504	44.0	宮崎	1,617	5.3	栃木	2,701	5.6	和歌山	7,248	27.0	長崎	12,418	31.4	宮城	26,317	30.9	長崎	13,417	33.8	愛媛	667	2.2	岩手	1,018	2.1	三重	7,824	10.4	愛知	27,366	11.9	宮崎	9,294	22.7	長崎	12,244	24.2	13
14	秋田	151,308	39.6	佐賀	52,236	43.3	岩手	1,751	5.2	鹿児島	995	5.5	長崎	11,563	27.0	栃木	15,121	31.2	宮崎	9,176	30.6	大分	10,166	33.7	宮城	2,398	2.2	大阪	4,686	2.1	大分	4,991	10.4	長崎	3,041	11.9	愛知	6,159	22.7	愛媛	9,053	24.2	14
15	大分	80,745	39.4	福島	128,364	43.3	福井	849	5.2	鹿児島	2,891	5.5	大阪	48,257	26.8	愛媛	9,176	31.2	長崎	12,546	30.6	宮崎	10,454	33.4	千葉	5,431	2.2	愛媛	83,316	2.1	鹿児島	2,637	10.3	三重	8,101	11.8	栃木	14,792	22.3	大分	9,672	23.6	15
16	福島	135,117	37.5	秋田	134,214	42.6	岩手	1,749	5.2	愛媛	100,759	5.4	福井	4,249	26.7	秋田	8,345	31.2	大分	10,088	30.5	鳥取	16,181	33.4	愛媛	2,194	2.2	鳥取	1,059	2.1	宮城	4,159	10.2	大分	4,601	11.2	大分	10,646	22.3	栃木	15,311	23.5	16
17	愛知	458,160	37.3	佐賀	80,670	41.8	和歌山	1,392	5.2	長野	3,541	5.4	栃木	11,427	26.5	鹿児島	16,412	31.1	富山	8,567	29.9	愛媛	10,509	33.2	福島	1,657	2.2	長崎	990	2.1	秋田	8,526	9.9	秋田	8,369	11.1	宮城	24,253	22.2	宮城	6,752	23.4	17
18	千葉	844,412	37.1	千葉	841,558	40.9	大分	1,707	5.2	愛媛	1,696	5.4	鹿児島	14,234	26.5	長崎	6,204	31.0	鳥取	106,966	29.9	宮城	26,853	33.2	岡山	1,047	2.2	鳥取	525	2.1	鳥取	3,852	9.6	岡山	5,246	11.0	秋田	19,027	22.1	宮城	23,836	23.0	18
19	鳥取	101,084	37.0	鳥取	438,304	40.7	鹿児島	2,762	5.2	和歌山	1,448	5.3	新潟	17,109	26.3	岡山	10,635	31.0	秋田	15,806	29.7	千葉	50,184	33.1	鳥取	1,249	2.1	山口	798	2.1	福井	2,139	9.6	鳥取	2,618	11.0	福島	9,664	21.8	福島	13,756	22.8	19
20	佐賀	79,585	37.0	大分	71,009	40.5	愛媛	1,284	5.1	佐賀	6,045	5.3	佐賀	33,882	26.1	大阪	49,347	30.9	千葉	53,030	29.5	愛媛	106,049	33.1	鳥取	365	2.1	神奈川	4,296	2.0	岡山	4,626	9.6	佐賀	3,757	11.0	佐賀	6,069	21.2	鳥取	17,214	22.8	20
21	千葉	428,232	36.5	新潟	123,758	40.5	宮城	4,344	5.1	佐賀	1,827	5.3	愛媛	106,759	26.1	愛媛	10,610	30.8	愛媛	8,094	29.4	石川	10,497	33.1	愛媛	66,626	2.1	広島	2,662	2.0	愛媛	8,754	9.4	福井	2,324	10.9	岡山	9,972	20.7	佐賀	8,631	22.3	21
22	新潟	130,968	35.6	愛知	460,352	39.5	愛媛	10,890	5.1	愛知	1,081	5.3	佐賀	8,787	26.1	福岡	31,950	30.8	愛媛	103,148	29.3	愛媛	8,518	32.6	福井	463	2.1	石川	896	2.0	佐賀	4,324	9.4	愛媛	5,218	10.9	広島	9,083	20.6	岡山	9,873	22.2	22
23	埼玉	670,327	35.5	長崎	90,060	39.2	新潟	2,865	5.1	愛知	8,955	5.3	宮城	7,898	26.1	愛媛	104,748	30.7	大阪	48,388	29.2	愛媛	99,714	32.6	山形	975	2.1	広島	1,392	2.0	愛媛	104,365	9.3	福井	14,971	10.8	石川	9,915	20.6	愛媛	9,197	22.0	23
24	広島	50,271	35.4	宮城	71,854	38.7	山口	1,148	5.0	広島	2,625	5.2	愛知	22,084	25.9	愛媛	100,445	30.7	新潟	14,262	28.9	大阪	51,781	32.5	石川	1,003	2.1	宮城	1,825	2.0	愛媛	4,874	9.3	愛知	6,481	10.8	愛媛	475,587	20.4	三重	15,041	21.9	24
25	秋田	70,739	35.3	沖縄	84,945	38.6	長野	3,516	5.0	静岡	4,904	5.1	千葉	46,528	25.9	北海道	28,759	30.7	新潟	18,807	28.8	福井	5,111	32.4	愛媛	874	2.1	徳島	477	2.0	栃木	6,305	9.2	広島	7,327	10.6	愛知	13,003	20.2	山口	10,446	21.9	25
26	静岡	244,274	35.2	広島	184,374	38.6	静岡	5,145	4.9	大分	1,544	5.1	秋田	7,867	25.8	和歌山	8,281	30.5	石川	9,743	28.6	栃木	17,163	32.3	新潟	1,713	2.0	鳥取	1,509	2.0	広島	5,548	9.2	愛媛	439,454	10.6	福井	4,476	20.2	埼玉	54,852	21.9	26
27	愛媛	1,446,040	34.3	静岡	218,311	38.4	石川	1,667	4.9	山口	1,477	5.1	北海道	24,431	25.7	宮崎	9,526	30.5	埼玉	56,984	28.5	三重	15,431	32.0	山口	704	2.0	福井	419	2.0	宮城	9,905	9.1	新潟	9,036	10.6	埼玉	54,764	20.2	愛媛	473,894	21.7	27
28	鳥取	43,701	34.0	栃木	108,613	38.0	宮城	3,708	4.9	石川	1,620	5.1	栃木	13,748	25.7	新潟	17,687	30.4	広島	8,959	28.4	埼玉	60,232	32.0	秋田	781	1.9	岩手	1,036	1.9	埼玉	24,448	9.0	栃木	6,869	10.5	愛媛	7,964	20.2	千葉	47,453	21.4	28
29	栃木	113,578	33.8	愛媛	1,446,040	38.0	長崎	581	4.8	山口	1,343	5.1	埼玉	51,311	25.7	千葉	54,467	30.3	千葉	14,571	28.4	佐賀	7,451	31.8	埼玉	5,262	1.9	愛知	4,469	1.9	福井	12,822	9.0	茨城	10,863	10.5	三重	15,055	20.0	広島	14,651	21.3	29
30	茨城	194,384	33.7	福島	84,759	38.0	三重	2,451	4.8	茨城	4,116	5.1	長崎	5,164	25.6	宮崎	7,096	30.3	宮城	6,145	28.3	広島	16,023	31.6	三重	851	1.9	鳥取	837	1.9	広島	2,578	9.0	埼玉	26,075	10.5	鳥取	5,537	20.0	鳥取	5,436	21.2	30
31	兵庫	311,309	32.8	東京	45,952	37.7	新潟	3,114	4.8	新潟	2,693	5.1	鳥取	8,588	25.6	新潟	16,137	30.2	埼玉	4,602	28.3	徳島	10,628	31.5	鳥取	528	1.9	山口	659	1.9	鳥取	1,559	8.9	鳥取	4,800	10.4	新潟	18,474	19.9	新潟	48,780	21.2	31
32	富山	47,281	32.5	秋田	60,929	37.4	福井	1,319	4.8	岩手	1,723	5.0	宮崎	13,191	25.5	三重	24,484	30.2	和歌山	7,587	28.2	和歌山	8,536	31.4	神奈川	4,456	1.9	鳥取	1,348	1.9	大阪	22,747	8.8	新潟	7,275	10.3	愛知	52,106	19.9	愛知	17,807	20.9	32
33	宮崎	71,091	32.2	鳥取	118,226	37.0	福島	1,781	4.7	新潟	2,929	5.0	福岡	25,298	25.2	埼玉	56,576	30.2	神奈川	43,362	27.8	神奈川	45,757	31.2	新潟	1,469	1.9	長崎	483	1.9	山口	3,171	8.8	長崎	1,718	10.3	千葉	48,898	19.7	鳥取	3,491	20.0	33
34	福島	60,369	31.8	鹿児島	41,723	36.9	愛知	8,985	4.6	長崎	1,948	4.9	大分	8,274	25.1	鳥取	21,098	30.1	愛知	54,196	27.8	愛知	18,408	31.1	新潟	2,589	1.9	愛媛	796	1.9	長崎	6,568	8.7	北海道	13,616	10.3	鳥取	3,341	19.5	福井	4,412	20.8	34
35	栃木	119,661	31.5	和歌山	63,110	36.3	山口	1,871	4.6	福井	771	4.9	神奈川	38,524	24.7	千葉	48,130	30.0	和歌山	9,262	27.8	愛知	53,001	31.1	愛媛	727	1.8	新潟	2,318	1.9	千葉	21,466	8.6	千葉	22,427	10.1	佐賀	8,856	19.2	和歌山	7,372	20.5	35
36	福井	38,426	30.4	福井	37,002	35.0	長崎	1,922	4.5	三重	2,349	4.9	鳥取	6,892	24.4	神奈川	43,804	29.8	福岡	27,739	27.7	和歌山	10,701	31.0	長野	1,657	1.8	茨城	1,917	1.9	鹿児島	49,338	8.6	山口	3,915	10.1	大阪	45,817	19.2	大阪	45,485	20.5	36
37	和歌山	63,104	30.3	茨城	128,653	34.7	富山	1,279	4.5	福井	1,282	4.9	福岡	2,975	24.6	大分	8,939	29.7	鳥取	7,612	27.2	鳥取	9,033	30.8	和歌山	651	1.8	三重	1,248	1.8	栃木	5,543	8.6	愛媛	4,189	10.0	和歌山	6,881	18.9	福岡	28,044	20.2	37
38	福岡	240,003	29.8	鳥取	89,505	34.3	秋田	1,287	4.2	宮城	3,301	4.8	新潟	18,213	24.5	山口	7,839	29.7	佐賀	21,148	27.1	福島	10,401	30.2	福島	823	1.8	長崎	1,504	1.8	北海道	11,887	8.5	和歌山	3,580	10.0	長崎	17,231	18.8	福島	9,324	20.1	38
39	茨城	126,912	29.3	岡山	240,698	34.2	鳥取	844	4.2	福島	2,621	4.6	秋田	12,065	24.5	福島	10,961	29.6	長崎	18,771	26.7	佐賀	34,248	30.2	新潟	1,589	1.7	佐賀	841	1.8	秋田	6,544	8.5	大阪	22,104	9.9	福島	26,597	18.7	長崎	16,478	19.9	39
40	鳥取	29,243	29.2	佐賀	270,661	34.1	新潟	3,005	4.0	鳥取	584	4.6	長崎	17,061	24.2	鳥取	8,620	29.5	福島	8,962	26.6	長崎	19,626	29.8	鳥取	4,453	1.7	福井	680	1.8	岡山	11,769	8.4	佐賀	45,521	9.8	佐賀	98,428	18.3	鳥取	14,019	19.9	40
41	大阪	636,816	27.9	徳島	72,432	33.6	福島	2,332	3.9	福島	1,689	4.6	山口	5,513	24.2	徳島	15,665	29.5	新潟	19,603	26.4	新潟	20,769	29.6	三重	1,255	1.7	長崎	2,885	1.8	長崎	15,308	8.4	佐賀	7,364	9.8	新潟	24,987	17.9	佐賀	92,027	19.8	41
42	徳島	69,940	27.8	愛媛	73,512	32.8	岩手	1,065	2.9	富山	1,155	4.4	新潟	13,636	24.1	愛媛	9,317	29.4	長崎	5,302	26.3	鳥取	5,913	29.5	岩手	719	1.2	和歌山	651	1.8	和歌山	3,061	8.4	新潟	11,843	9.6	鳥取	19,484	17.8	山口	6,672	19.4	42
43	岡山	81,916	26.0	広島	119,523	30.7	北海道	-	-	長崎	868	4.3	愛媛	9,071	23.9	新潟	15,703	29.4	鳥取	3,166	26.2	新潟	15,672	29.3	北海道	-	-	福島	698	1.7	鳥取	7,565	8.3	徳島	4,119	9.5	神奈川	41,349	17.7	新潟	23,711	19.2	43
44	神奈川	289,617	25.2	岡山	82,003	30.5	東京	-	-	岩手	1,669	4.1	静岡	24,974	23.8	鳥取	3,659	28.6	山口	7,657	25.8	鳥取	3,736	29.2	東京	-	-	秋田	582	1.7	岡山	3,457	8.2	鳥取	7,835	9.5	山口	6,285	17.5	神奈川	40,151	19.2	44
45	愛知	656,953	25.1	山口	65,042	30.3	宮城	-	-	秋田	1,074	4.0	宮城	6,468	23.5	静岡	27,011	28.4	静岡	26,958	25.8	山口	8,406	29.2	鳥取	278	1.7	愛媛	1,339	1.7	愛媛	3,192	8.1	神奈川	19,708	9.4	山口	6,286	17.4	山口	7,439	19.1	45
46	北海道	234,953	24.7	大阪	381,622	30.1	大阪	-	-	新潟	2,713	3.9	山口	9,087	22.1	長崎	18,523	28.2	鳥取	14,368	25.4	静岡	27,701	29.1	大阪	-	-	新潟	1,249	1.5	山形	3,739	8.0	宮崎	14,621	9.2	鳥取	7,235	17.2	鳥取	8,275	19.1	46
47	山口	58,684	22.8	北海道	226,133	28.9	宮崎	-	-	山口	1,247	3.2	愛媛	4,783	22.0	山口	10,601	27.4	愛媛	9,427	24.6	山口	7,513	28.4	宮崎	-	-	山口	537	1.2	神奈川	18,642	8.0	山口	3,762	8.7	愛媛	13,299	17.2	宮崎	29,134	18.3	47
48	広島	110,288	22.1	神奈川	356,544	28.8	広島	-	-	宮崎	-	-	山形	6,366	21.5	山形	7,699	26.7	山口	5,506	24.1	宮崎	11,003	28.1	広島	-	-	宮崎	-	-	山形	2,419	6.7	山形	2,898	8.4	宮崎	8,972	17.0	宮崎	9,687	18.3	48

国保健康保険中央会
（市町村国保　特定健診受診実績状況）

国保連合会　市町村国保特定健診等・特定保健指導実施状況（国保連）による結果報告書

国保連合会　市町村国保特定健診等・特定保健指導実施状況（国保連）による結果報告書

国保連合会　市町村国保特定健診等・特定保健指導実施状況（国保連）による結果報告書

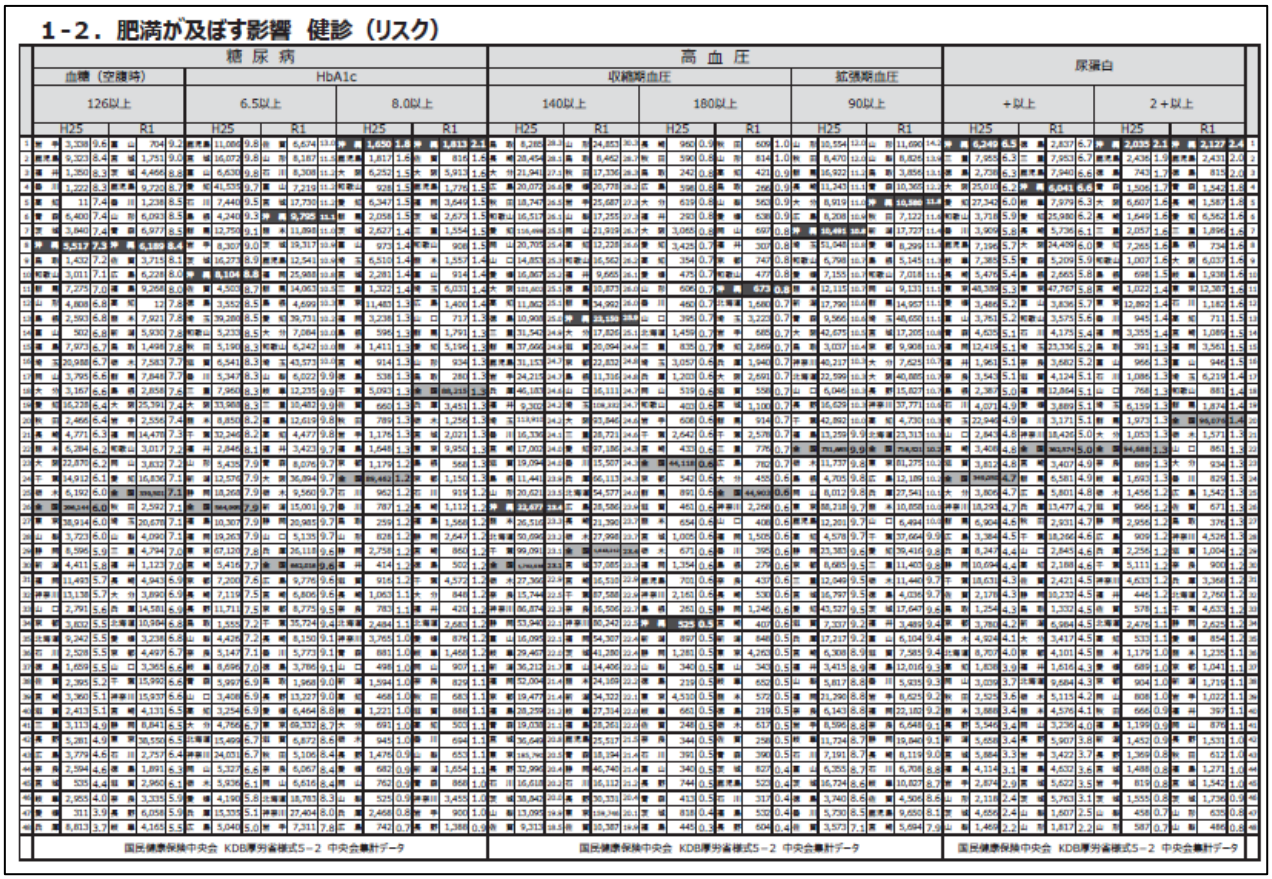
国保連合会　市町村国保特定健診等・特定保健指導実施状況（国保連）による結果報告書

国保連合会　市町村国保特定健診等・特定保健指導実施状況（国保連）による結果報告書

1 ページ

健診データを基に見ている。R3 年度の第一回の特定保健指導研修会で出した資料だが、新しいリーダーのため改めて確認する。メタボが 1 つの評価指標であるなら、肥満が及ぼす影響とは何か？専門職としてデータで見なければいけない。肥満は BMI25 以上で見るが、特定健診・保健指導はメタボリックシンドロームといって、腹囲で判定していくことで、内臓肥満としてみていく健診である。内臓肥満が問題。沖縄は肥満天国で男性も女性も肥満が多い。

肥満が及ぼす影響 1-2 健診（リスク）



1-2．肥満が及ぼす影響 健診（リスク）

	糖尿病								高血圧								尿蛋白							
	血糖（空腹時）				HbA1c				収縮期血圧				拡張期血圧				+以上				2+以上			
	126以上				6.5以上				8.0以上				140以上		180以上		90以上							
	H25		R1		H25		R1		H25		R1		H25		R1		H25		R1		H25		R1	
1	新潟	3,308	9.6	富山	704	9.2	鹿児島	11,086	9.8	沖縄	6,674	13.0	沖縄	1,650	12.8	沖縄	1,813	2.1	沖縄	8,285	28.3	山形	24,853	30.3	高知	960	0.9	秋田	609	1.0	山形	10,554	12.0	山形	11,690	14.2	沖縄	6,349	6.5	鳥取	2,837	6.7	沖縄	2,035	2.1	沖縄	2,127	2.4	1
2	鹿児島	9,323	8.4	長崎	1,751	9.0	長崎	16,072	9.8	山形	8,187	11.9	鹿児島	1,817	1.6	秋田	816	1.6	長崎	28,454	28.1	長崎	8,462	28.7	秋田	590	0.8	山形	814	1.0	秋田	8,470	12.0	山形	8,826	13.4	鳥取	7,955	6.3	鳥取	7,953	6.7	鹿児島	2,436	1.9	鹿児島	2,431	2.0	2
3	福井	3,250	8.3	宮城	4,466	8.8	宮城	6,636	9.8	石川	8,308	11.2	大阪	6,252	1.5	大阪	5,913	1.6	大分	21,941	27.3	秋田	17,336	28.3	鳥取	242	0.8	宮城	421	0.9	鹿児島	16,922	11.2	鳥取	3,856	13.1	鹿児島	7,940	6.6	鹿児島	743	1.7	鳥取	815	2.0	3
4	群馬	3,222	8.3	鹿児島	9,720	8.7	宮城	41,535	9.7	富山	7,219	11.2	和歌山	928	1.5	鹿児島	1,779	1.5	広島	20,072	26.6	宮城	20,778	28.3	広島	598	0.8	長崎	266	0.9	長崎	11,243	11.1	宮城	10,365	12.1	大阪	25,016	6.2	沖縄	6,041	6.0	宮城	1,508	1.7	宮城	1,542	1.8	4
5	宮城	11	7.4	群馬	1,238	8.5	群馬	7,440	9.5	宮城	17,730	11.2	宮城	6,347	1.5	宮城	3,649	1.5	秋田	18,747	26.5	神奈川	25,687	27.3	大分	639	0.8	山形	563	0.9	大分	8,919	11.0	神奈川	10,580	11.8	宮城	27,542	6.0	秋田	7,979	6.3	大阪	6,607	1.6	長崎	1,587	1.8	5
6	宮崎	6,400	7.4	山形	6,093	8.5	長崎	4,240	9.3	沖縄	5,795	11.0	群馬	2,058	1.5	宮城	2,673	1.5	和歌山	16,517	26.1	山形	17,255	27.3	福井	293	0.8	宮城	638	0.9	広島	8,208	10.9	秋田	7,122	11.4	和歌山	3,718	5.9	宮城	25,980	6.2	長崎	1,649	1.6	宮城	6,562	1.6	6
7	宮城	3,840	7.4	宮崎	6,977	8.5	秋田	12,758	9.1	鳥取	11,898	11.0	宮城	2,627	1.4	宮城	1,554	1.5	宮城	116,666	25.9	鳥取	21,919	26.7	大阪	3,065	0.8	鳥取	697	0.8	沖縄	10,491	10.8	新潟	17,727	11.4	鳥取	3,909	5.8	長崎	5,736	6.1	広島	2,057	1.6	広島	1,896	1.6	7
8	沖縄	5,517	7.3	沖縄	6,189	8.4	宮崎	8,307	9.0	宮城	19,317	10.9	宮崎	973	1.4	和歌山	908	1.5	鳥取	20,705	25.4	宮城	12,228	26.0	宮城	3,425	0.7	福井	307	0.8	宮城	51,040	10.8	宮城	8,299	11.1	鹿児島	7,196	5.7	大阪	24,409	6.0	宮城	7,265	1.6	鳥取	734	1.6	8
9	鳥取	1,432	7.2	鳥取	3,715	8.1	宮城	16,273	8.9	鹿児島	12,541	10.9	宮城	6,510	1.4	鳥取	1,557	1.4	山口	14,853	25.3	和歌山	16,562	26.2	鳥取	354	0.7	宮城	747	0.8	和歌山	6,798	10.7	鳥取	5,145	11.1	宮城	7,383	5.5	宮城	5,209	5.9	和歌山	1,007	1.6	大阪	6,037	1.6	9
10	和歌山	3,011	7.1	広島	6,228	8.0	沖縄	8,104	8.8	福岡	25,988	10.8	宮城	2,281	1.4	鳥取	914	1.4	宮城	16,867	25.2	福井	9,665	26.1	宮城	475	0.7	和歌山	477	0.8	宮城	7,155	10.7	和歌山	7,018	11.1	長崎	5,476	5.4	鳥取	2,665	5.8	鳥取	698	1.5	鳥取	1,938	1.6	10
11	鳥取	7,275	7.0	長崎	9,268	8.0	鳥取	4,503	8.7	鳥取	14,063	10.5	鳥取	1,322	1.4	宮城	6,033	1.4	大阪	101,601	25.3	鳥取	10,873	26.0	山口	606	0.7	沖縄	673	0.8	鳥取	12,115	10.7	岡山	9,131	11.1	鳥取	48,589	5.3	鳥取	47,767	5.8	長崎	1,022	1.4	鳥取	12,387	1.6	11
12	山口	4,808	6.8	宮城	12	7.8	鳥取	3,552	8.5	鳥取	4,699	10.3	宮崎	11,483	1.3	広島	1,400	1.4	宮城	11,862	25.3	鳥取	34,992	26.0	鳥取	460	0.7	北海道	1,680	0.7	鳥取	17,790	10.6	鳥取	14,957	11.1	鳥取	3,486	5.2	長崎	3,836	5.7	宮城	12,892	1.4	石川	1,182	1.6	12
13	鳥取	2,593	6.8	鳥取	7,921	7.8	宮城	39,286	8.5	宮城	39,731	10.2	鳥取	3,238	1.3	山口	717	1.3	鳥取	10,908	25.2	沖縄	23,150	25.9	山口	395	0.7	宮城	3,222	0.7	宮城	9,566	10.6	宮城	48,650	11.1	宮城	3,761	5.2	和歌山	3,575	5.6	鳥取	945	1.4	宮城	731	1.5	13
14	長崎	502	6.8	新潟	5,930	7.8	和歌山	5,233	8.5	大分	7,084	10.0	鳥取	596	1.3	鳥取	1,791	1.3	宮城	31,542	24.8	大分	17,826	26.1	北海道	1,458	0.7	宮城	685	0.7	大阪	42,675	10.5	宮城	17,205	10.8	宮城	4,635	5.1	石川	4,175	5.4	鳥取	3,355	1.4	宮城	1,089	1.5	14
15	鳥取	7,973	6.7	鳥取	1,498	7.8	新潟	5,196	8.3	和歌山	6,242	10.0	鳥取	1,411	1.3	宮城	5,195	1.3	鳥取	37,666	24.8	鳥取	20,094	24.8	宮城	835	0.7	宮城	2,869	0.7	鳥取	3,037	10.4	宮城	9,908	10.8	鳥取	12,419	5.1	宮城	23,336	5.2	鳥取	391	1.3	宮城	3,561	1.5	15
16	宮城	30,988	6.7	秋田	7,583	7.7	鳥取	6,541	8.3	福井	43,573	10.0	宮城	914	1.3	山口	934	1.3	鹿児島	31,153	24.7	鳥取	22,832	24.8	福井	3,057	0.6	鳥取	1,940	0.7	沖縄	40,217	10.3	大分	7,625	10.3	鳥取	1,961	5.1	鳥取	3,682	5.2	山口	966	1.3	鳥取	946	1.5	16
17	鳥取	3,795	6.6	鳥取	7,848	7.7	鳥取	5,347	8.3	山口	6,022	9.9	鳥取	538	1.3	鳥取	282	1.3	宮城	24,215	24.3	鳥取	11,316	24.8	鳥取	1,203	0.6	大阪	2,691	0.7	北海道	22,596	10.3	大阪	40,885	10.3	鳥取	3,543	5.1	鳥取	4,124	5.1	宮城	1,086	1.3	宮城	6,219	1.4	17
18	大分	3,167	6.6	鳥取	2,858	7.6	宮城	7,960	8.3	鳥取	12,235	9.9	宮城	5,092	1.3	宮城	88,219	1.3	鳥取	46,183	24.0	宮城	16,111	24.8	岡山	539	0.6	宮城	558	0.7	山口	6,046	10.3	鳥取	15,827	10.3	鳥取	2,367	5.0	鳥取	12,864	5.1	山口	768	1.3	和歌山	883	1.4	18
19	宮城	16,238	6.4	大阪	25,391	7.4	大阪	33,988	8.3	山口	10,482	9.9	宮城	661	1.3	山口	3,451	1.3	福井	9,202	24.0	宮城	108,116	24.8	和歌山	402	0.6	宮城	1,106	0.7	鳥取	16,659	10.3	神奈川	37,771	10.3	石川	4,071	4.9	宮城	3,889	5.1	宮城	6,159	1.3	鳥取	1,874	1.4	19
20	秋田	2,466	6.4	宮城	2,556	7.4	鳥取	8,858	8.2	鳥取	12,619	9.8	秋田	789	1.3	鳥取	1,258	1.3	宮城	113,903	24.2	宮城	83,846	24.8	宮城	608	0.6	鳥取	914	0.7	宮城	42,862	10.0	鳥取	4,730	10.3	宮城	22,946	4.9	鳥取	3,171	5.1	鳥取	1,977	1.3	宮城	96,078	1.4	20
21	鳥取	4,771	6.3	福岡	14,478	7.3	宮城	32,246	8.2	宮城	4,477	9.8	宮城	1,176	1.3	宮城	2,021	1.3	鳥取	16,336	24.1	宮城	28,721	24.8	宮城	2,642	0.6	宮城	2,576	0.7	鳥取	13,259	9.9	北海道	23,313	10.3	山口	2,843	4.8	神奈川	18,426	5.0	大分	1,053	1.3	鳥取	1,571	1.3	21
22	鳥取	6,284	6.2	和歌山	3,017	7.3	福井	2,846	8.1	福井	3,423	9.7	福井	1,648	1.3	鳥取	9,950	1.3	宮城	17,002	24.0	鳥取	97,186	24.8	鳥取	433	0.6	宮城	776	0.7	鳥取	751,480	9.9	鳥取	758,921	10.2	鳥取	3,408	4.8	鳥取	90,174	5.0	鳥取	84,881	1.3	山口	861	1.3	22
23	大分	72,870	6.2	岡山	3,832	7.2	山形	5,435	7.9	宮崎	8,076	9.7	宮崎	1,179	1.2	長崎	568	1.3	宮城	19,094	24.0	鳥取	15,507	24.8	鳥取	44,118	0.6	宮城	782	0.7	鳥取	11,757	9.8	宮崎	81,275	10.2	宮城	3,812	4.8	宮崎	3,407	4.9	宮崎	889	1.3	大分	934	1.3	23
24	宮崎	14,912	6.1	宮城	16,836	7.1	宮城	12,576	7.9	大阪	36,894	9.7	鳥取	86,462	1.2	宮城	1,150	1.3	鳥取	11,441	23.8	鳥取	56,113	24.8	宮城	542	0.6	大分	455	0.6	鳥取	4,705	9.8	広島	12,189	10.1	鳥取	945,095	4.7	宮城	6,581	4.9	宮城	1,693	1.3	鳥取	829	1.3	24
25	鳥取	6,192	6.0	鳥取	334,881	7.1	鳥取	18,263	7.9	鳥取	9,560	9.7	石川	962	1.2	石川	919	1.2	山形	20,621	23.8	北海道	54,577	24.0	鳥取	891	0.6	鳥取	44,903	0.6	岡山	8,012	9.8	鳥取	27,541	10.1	大分	3,809	4.7	広島	5,801	4.8	大阪	1,456	1.2	広島	1,542	1.3	25
26	鳥取	286,246	6.0	秋田	2,592	7.1	鳥取	164,095	7.9	新潟	15,001	9.7	鳥取	787	1.2	鳥取	1,112	1.2	鳥取	21,677	23.8	宮城	28,586	23.9	鳥取	461	0.6	神奈川	2,163	0.6	鳥取	88,218	9.7	秋田	10,858	10.0	神奈川	18,293	4.7	鳥取	13,477	4.7	鳥取	956	1.2	鳥取	671	1.3	26
27	宮崎	58,914	6.0	埼玉	20,678	7.1	鳥取	10,307	7.9	神奈川	20,985	9.7	鳥取	259	1.2	鳥取	1,568	1.2	鳥取	26,516	23.8	鳥取	21,396	23.7	鳥取	654	0.6	山口	408	0.6	鹿児島	12,201	9.7	山口	6,494	10.0	鳥取	6,904	4.6	秋田	2,931	4.7	鳥取	2,958	1.2	鳥取	376	1.3	27
28	山口	3,723	6.0	山口	4,090	7.1	鳥取	19,263	7.9	山口	5,135	9.7	山口	828	1.2	鳥取	2,647	1.2	北海道	50,696	23.8	鳥取	27,998	23.7	宮城	1,005	0.6	鳥取	1,505	0.6	宮城	4,578	9.7	宮城	37,664	9.9	宮城	3,384	4.5	宮城	18,266	4.6	広島	909	1.2	神奈川	2,625	1.2	28
29	鳥取	8,596	5.9	宮城	4,794	7.0	鳥取	67,126	7.8	鳥取	26,118	9.6	鳥取	2,758	1.2	宮城	860	1.2	宮城	99,091	23.8	鳥取	1,444,142	23.6	鳥取	671	0.6	鳥取	395	0.6	鳥取	23,383	9.6	宮城	39,416	9.8	鳥取	8,247	4.4	山口	2,845	4.6	鳥取	2,256	1.2	宮城	1,004	1.2	29
30	新潟	4,411	5.8	福井	1,123	7.0	鳥取	5,416	7.7	鳥取	861,018	9.6	福井	414	1.2	鳥取	502	1.2	鳥取	53,940	23.8	鳥取	80,242	22.8	鳥取	525	0.5	宮城	407	0.6	鳥取	7,337	9.2	福井	3,489	9.4	宮城	3,780	4.2	新潟	6,984	4.5	北海道	2,476	1.1	鳥取	2,625	1.2	30
31	福岡	11,493	5.7	長崎	4,943	6.9	宮城	7,206	7.6	広島	9,776	9.5	和歌山	916	1.2	宮城	4,572	1.2	鳥取	27,366	22.8	宮城	16,510	22.8	鹿児島	701	0.5	鳥取	437	0.6	宮城	12,049	9.5	鳥取	11,440	9.7	宮城	18,631	4.3	鳥取	2,421	4.5	神奈川	4,633	1.2	鳥取	3,368	1.2	31
32	神奈川	13,138	5.7	大分	3,890	6.9	鳥取	7,119	7.5	宮城	6,806	9.5	長崎	1,063	1.1	大分	848	1.2	鳥取	15,744	22.5	宮城	87,588	22.8	神奈川	2,163	0.5	長崎	530	0.6	宮城	16,797	9.5	鳥取	4,036	9.7	鳥取	2,178	4.3	静岡	10,232	4.5	福井	446	1.2	北海道	2,760	1.2	32
33	山口	2,791	5.6	広島	14,581	6.9	鳥取	11,711	7.5	宮城	8,775	9.5	宮崎	783	1.1	福井	420	1.2	神奈川	86,874	22.3	鳥取	16,506	22.7	鳥取	263	0.5	静岡	1,246	0.6	宮城	43,527	9.5	宮城	17,647	9.6	鳥取	1,254	4.3	鳥取	1,332	4.5	鳥取	578	1.1	宮城	4,633	1.2	33
34	宮城	3,832	5.5	北海道	10,984	6.8	鳥取	1,558	7.2	宮城	35,724	9.4	北海道	2,484	1.1	北海道	2,663	1.2	鳥取	53,940	22.3	神奈川	80,242	22.8	神奈川	525	0.5	宮城	407	0.6	鳥取	7,337	9.2	福井	3,489	9.4	新潟	3,780	4.2	新潟	6,984	4.5	北海道	2,476	1.1	鳥取	2,625	1.2	34
35	北海道	9,242	5.5	愛媛	3,238	6.8	山口	4,426	7.2	長崎	8,150	9.1	神奈川	3,765	1.0	愛媛	876	1.2	鳥取	16,095	22.3	鳥取	54,307	22.6	新潟	897	0.5	新潟	846	0.5	鳥取	17,217	9.2	鳥取	6,104	9.4	鳥取	4,924	4.1	大分	3,417	4.5	鳥取	533	1.1	愛媛	854	1.2	35
36	石川	2,528	5.5	新潟	4,497	6.7	鳥取	5,147	7.1	鳥取	5,773	9.1	鳥取	881	1.0	鳥取	1,468	1.2	鳥取	29,467	22.3	宮城	41,280	22.6	鳥取	1,281	0.5	宮城	1,264	0.5	鳥取	6,308	8.9	鳥取	7,585	9.4	北海道	8,707	4.0	新潟	4,101	4.5	鳥取	1,179	1.0	鳥取	1,239	1.1	36
37	鳥取	1,659	5.5	山口	3,365	6.6	鳥取	8,696	7.0	鳥取	3,786	9.1	山口	498	1.0	鳥取	907	1.1	新潟	36,212	21.7	鳥取	14,406	22.5	山口	340	0.5	鳥取	340	0.5	鳥取	3,415	8.9	福井	12,016	9.3	宮城	1,838	3.9	福井	1,616	4.3	宮城	689	1.0	宮城	1,041	1.1	37
38	鳥取	2,365	5.2	宮城	15,990	6.6	宮崎	5,997	6.9	鳥取	1,968	9.0	新潟	1,594	1.0	宮城	829	1.1	鳥取	52,004	21.4	鳥取	24,169	22.5	鳥取	219	0.5	鳥取	652	0.5	宮城	5,817	8.8	鳥取	5,935	9.3	岡山	3,036	3.7	北海道	9,684	4.3	宮城	904	1.0	宮城	1,739	1.1	38
39	鳥取	3,360	5.1	神奈川	15,937	6.6	山口	3,408	6.9	鳥取	13,227	9.0	宮城	468	1.0	秋田	683	1.1	宮城	19,477	21.4	新潟	34,322	22.1	宮城	4,530	0.5	鳥取	572	0.5	福井	21,290	8.8	宮城	8,625	9.2	秋田	2,525	3.6	鳥取	5,115	4.2	岡山	808	1.0	宮城	1,022	1.1	39
40	福岡	2,413	5.1	長崎	4,131	6.5	鳥取	3,254	6.9	宮城	6,464	8.8	鳥取	1,221	1.0	福井	888	1.1	福井	28,259	21.3	福井	27,314	22.0	鳥取	661	0.5	鳥取	219	0.5	宮城	6,143	8.8	福井	22,182	9.2	鳥取	3,868	3.4	鳥取	4,576	4.1	鳥取	666	0.9	鳥取	1,239	1.1	40
41	宮城	3,113	4.9	静岡	8,841	6.5	大分	4,766	6.7	宮城	69,332	8.7	大分	691	1.0	宮城	503	1.1	宮城	19,039	21.3	鳥取	28,261	22.0	鳥取	248	0.5	鳥取	617	0.5	宮城	8,596	8.8	宮城	6,648	9.1	長崎	5,546	3.4	岡山	3,236	4.0	鳥取	1,199	0.9	岡山	878	1.1	41
42	長崎	5,281	4.9	宮城	38,550	6.5	北海道	15,496	6.7	宮城	6,872	8.6	宮城	945	1.0	宮城	694	1.1	宮城	36,640	21.3	長崎	15,517	21.9	宮城	344	0.5	宮城	258	0.5	宮城	11,704	8.7	宮城	19,840	9.1	宮城	5,658	3.4	長崎	5,907	3.8	宮城	1,452	0.9	長崎	1,531	1.0	42
43	広島	3,779	4.6	石川	2,757	6.4	神奈川	24,031	6.7	秋田	5,106	8.4	長崎	1,476	0.9	山口	653	1.1	宮城	181,746	21.3	宮城	18,194	21.4	石川	391	0.5	宮城	398	0.5	石川	7,191	8.7	長崎	8,119	9.0	宮城	5,864	3.3	宮城	3,422	3.7	長崎	1,369	0.8	秋田	632	1.0	43
44	宮崎	2,594	4.6	鳥取	1,893	6.3	岡山	3,327	6.6	鳥取	6,067	8.4	宮城	682	0.9	鳥取	1,654	1.1	長崎	32,996	20.4	鳥取	46,740	21.4	宮城	340	0.5	宮城	827	0.4	宮城	6,355	8.7	石川	6,708	8.8	鳥取	4,114	3.1	鳥取	4,632	3.6	宮城	1,488	0.8	鳥取	1,271	1.0	44
45	宮城	535	4.4	福岡	2,960	6.1	鳥取	3,926	6.1	岡山	6,616	8.4	岡山	762	0.9	鳥取	868	1.0	石川	16,618	20.2	石川	16,117	21.2	長崎	344	0.5	鹿児島	522	0.4	宮城	16,724	8.6	秋田	10,827	8.7	鳥取	2,874	2.9	宮城	5,622	3.5	鳥取	819	0.8	宮城	1,543	1.0	45
46	秋田	2,955	4.0	新潟	3,035	5.9	宮城	4,196	5.8	北海道	18,783	8.3	山口	525	0.9	神奈川	3,455	1.0	宮城	38,842	20.1	鳥取	30,331	20.4	宮崎	413	0.5	石川	317	0.4	宮城	3,740	8.6	鳥取	4,506	8.6	山口	2,118	2.4	宮城	5,763	3.1	宮城	1,555	0.8	宮城	1,736	0.9	46
47	宮城	311	3.9	長崎	6,058	5.9	鳥取	15,335	5.1	神奈川	27,404	8.0	鳥取	2,468	0.8	宮城	900	1.0	鳥取	13,095	19.9	宮城	139,749	20.1	宮城	838	0.4	鳥取	530	0.4	鳥取	5,730	8.5	鹿児島	9,650	8.1	宮城	1,607	2.5	山口	858	3.0	鳥取	635	0.8	宮城	635	0.8	47
48	鳥取	8,613	3.7	秋田	4,165	5.5	宮城	5,048	5.0	宮城	7,311	7.8	宮城	742	0.7	長崎	873	1.0	鳥取	9,313	18.8	鳥取	10,387	19.9	鳥取	445	0.3	長崎	604	0.4	鳥取	3,573	7.1	宮城	5,694	7.9	山口	1,469	2.2	山口	1,817	2.2	山口	587	0.7	山口	486	0.8	48

国民健康保険中央会 KDB厚労省様式5～2 中央会集計データ　国民健康保険中央会 KDB厚労省様式5～2 中央会集計データ　国民健康保険中央会 KDB厚労省様式5～2 中央会集計データ

2 ページ

実は肥満になると、糖尿病や高血圧やおしっこに蛋白が出やすくなる病気。これにはメカニズムがある。沖縄は肥満の背景に糖尿病がどう影響しているか。空腹時血糖を 126 以上は糖尿病の診断基準になので、比較したときに順位は変わらないが人数は増えている。そしてヘモグロビン A1c という糖の平均値を見るときには、6.5%以上を糖尿病の診断基準に含めているが、6.5%以上の人も増えている。要するに肥満が改善していない結果である。肥満を継続しているから糖尿病が増える。そして、糖尿病は薬を飲んでも食や運動の治療がうまくいかないと値が改善しない。それが A1c8.0 以上で分かる。沖縄県の 8.0 以上は全国 1 位。そして次に課題である高血圧がくる。高血圧 140 以上はどうか。H25 年には全国平均のわずか上であったが、R 元年になると全国平均をはるかに上回り、全国 13 位。これまで東北の方が高血圧だと考えていたが、このデータは国保のみだが沖縄県も高血圧の問題がある。循環器法の中では NDB という全医療保険者で見ているので、沖縄県の高血圧順位は下の方になっている。だから私も NDB を見ているときには血圧のことは気に留めなかった。しかし今回のデータは国保中央会が初めて出したデータで見たとき驚いた。そして重症化リスクの高い 180 以上。高血圧分類でⅢ度である。H25 年全国平均より低かったが、今では全国 11 位。国保の人たちは血圧が上がってきた。高血圧というと多分住民は塩分を取ると高血圧になるという考え方が根強いと思うが、おそらく勉強していない保健師も同じではないか？しかし塩分をあまり摂っていないのにどうして高血圧？ということになる。それが肥満と関係があるということがメカニズムである。そして収縮期は上の血圧、拡張期は下の血圧。実は上と下を分けてみたときに拡張期血圧は H25 年から上位にいた。全国 7 位。R 元年は 5 位。更に上がってきたことを踏まえ、肥満からくる高血圧が課題であることを去年の学習で確認した。

そして尿蛋白である。尿蛋白が出る人が多ければ多いほど腎透析になりやすいという指標である。尿蛋白が多い沖縄県は既に悪い状況である。

肥満が及ぼす影響 1-3 医療

1-3．肥満が及ぼす影響 医療

心血管イベント 医療

	虚血性心疾患 入院 H23			虚血性心疾患 入院 H29			虚血性心疾患 外来 H23			虚血性心疾患 外来 H29			脳血管疾患 入院 H23			脳血管疾患 入院 H29			脳血管疾患 外来 H23			脳血管疾患 外来 H29			慢性透析患者 人口100万対 H23			慢性透析患者 人口100万対 H30			糖尿病性腎症 % H23			糖尿病性腎症 % H30		
1	大分	26	北海道	34	大分	81	鹿児島	122	鹿児島	379	鹿児島	282	鹿児島	228	鹿児島	181	鹿児島	3,434	鹿児島	3,819	栃木	51.0	佐賀	48.2	1
2	鹿児島	25	鹿児島	26	北海道	75	福島	89	富山	266	山口	228	和歌山	164	神奈川	153	栃木	3,274	栃木	3,759	山梨	50.7	福島	47.8	2
3	北海道	22	鹿児島	24	鹿児島	72	神奈川	80	山口	263	鹿児島	205	福岡	161	青森	132	宮崎	3,207	宮崎	3,652	群馬	47.9	栃木	46.9	3
4	石川	21	石川	23	山口	70	鹿児島	75	鹿児島	262	富山	202	鹿児島	145	和歌山	127	大分	3,200	富山	3,547	茨城	47.5	茨城	46.2	4
5	鹿児島	21	鹿児島	23	神奈川	69	北海道	63	北海道	232	石川	174	山形	142	福島	124	鹿児島	3,041	大分	3,546	三重	47.5	富山	45.8	5
6	富山	20	富山	20	鹿児島	69	長崎	57	鹿児島	228	長崎	170	鹿児島	141	佐賀	122	沖縄	3,021	鹿児島	3,429	千葉	47.1	三重	45.1	6
7	宮崎	20	大分	20	山形	68	富山	56	熊本	210	北海道	168	秋田	139	広島	117	富山	2,972	栃木	3,330	沖縄	47.0	京都	44.5	7
8	長崎	18	愛媛	18	茨城	66	広島	56	長崎	204	鹿児島	168	大阪	136	鹿児島	105	和歌山	2,840	和歌山	3,225	東京	46.4	茨城	44.5	8
9	愛媛	17	福岡	16	富山	65	宮崎	54	石川	198	栃木	161	広島	127	宮崎	104	栃木	2,763	佐賀	3,139	福島	46.3	宮崎	44.5	9
10	富山	17	和歌山	15	愛媛	65	富山	54	佐賀	189	佐賀	157	神奈川	122	鳥取	98	福岡	2,708	群馬	3,104	秋田	46.3	千葉	44.2	10
11	京都	16	長崎	15	石川	64	茨城	53	宮崎	188	愛媛	152	島根	120	愛媛	98	長崎	2,691	沖縄	3,071	埼玉	46.2	栃木	44.1	11
12	大阪	16	福井	14	栃木	64	宮崎	53	愛媛	182	宮崎	152	佐賀	118	秋田	96	北海道	2,652	静岡	3,050	神奈川	46.2	埼玉	43.7	12
13	沖縄	16	宮崎	14	福井	63	山形	52	秋田	177	鳥取	149	長野	114	山形	92	群馬	2,643	北海道	3,038	福島	46.2	福岡	43.7	13
14	山口	15	沖縄	14	長崎	63	愛媛	52	島根	177	島根	149	福井	112	茨城	92	静岡	2,629	長崎	3,028	大阪	45.8	群馬	43.6	14
15	福岡	15	福島	13	京都	61	和歌山	52	神奈川	174	福岡	148	宮崎	111	大分	92	山梨	2,583	愛媛	2,974	石川	45.6	愛媛	43.5	15
16	栃木	15	神奈川	13	広島	61	香川	51	福岡	174	神奈川	132	愛知	109	群馬	90	愛知	2,542	福岡	2,964	北海道	45.4	北海道	43.3	16
17	福井	14	京都	13	宮崎	60	山口	51	広島	171	福井	130	長崎	104	栃木	87	愛媛	2,521	茨城	2,891	福岡	44.9	広島	43.3	17
18	和歌山	14	金沢	12	島根	60	三重	50	大分	162	沖縄	130	神奈川	103	鳥取	84	広島	2,518	宮崎	2,862	京都	44.8	東京	43.3	18
19	鳥取	14	大阪	12	富山	59	愛知	50	愛知	150	京都	129	山口	100	富山	81	佐賀	2,514	愛知	2,859	香川	44.8	滋賀	42.6	19
20	島根	14	香川	12	愛媛	57	金沢	44	和歌山	149	山梨	128	鳥取	98	大阪	81	大阪	2,501	山梨	2,858	茨城	44.6	大分	42.4	20
21	広島	14	愛媛	12	秋田	56	静岡	44	鳥取	147	宮崎	124	宮崎	96	山口	81	茨城	2,446	鳥取	2,764	愛媛	44.5	山口	42.3	21
22	佐賀	14	宮城	11	佐賀	55	福井	43	福井	139	新潟	123	愛媛	96	島根	80	鳥取	2,439	福島	2,746	宮城	44.4	宮崎	42.3	22
23	金沢	13	群馬	11	大阪	54	宮城	42	岡山	139	和歌山	123	富山	94	新潟	76	宮崎	2,428	大阪	2,731	神奈川	44.4	金沢	42.3	23
24	山形	13	三重	11	香川	54	神奈川	42	宮崎	138	愛知	121	三重	94	長野	76	金沢	2,379	岡山	2,727	金沢	44.3	長崎	42.1	24
25	神奈川	13	鳥取	11	山梨	51	滋賀	42	金沢	137	秋田	119	岡山	94	愛知	76	山口	2,359	金沢	2,688	広島	44.0	和歌山	42.1	25
26	岡山	13	島根	11	静岡	50	秋田	41	京都	137	長野	118	北海道	93	香川	75	岡山	2,337	広島	2,686	愛知	43.5	山形	41.8	26
27	愛媛	13	広島	11	福岡	50	茨城	41	新潟	135	静岡	117	金沢	89	金沢	68	茨城	2,295	山口	2,640	静岡	43.2	山梨	41.6	27
28	宮崎	12	栃木	11	金沢	49	石川	41	山梨	132	広島	116	栃木	88	長崎	67	石川	2,289	香川	2,624	鳥取	42.9	神奈川	41.2	28
29	岩手	12	岩手	10	滋賀	49	京都	41	静岡	131	金沢	115	大分	85	栃木	67	京都	2,285	長野	2,568	鹿児島	42.3	鳥取	41.2	29
30	滋賀	12	神奈川	10	群馬	48	鳥取	41	栃木	127	大阪	115	愛知	80	滋賀	65	香川	2,278	京都	2,563	富山	42.0	大阪	41.1	30
31	宮城	11	山梨	10	宮城	47	岡山	40	沖縄	127	茨城	114	石川	78	岡山	63	福島	2,249	茨城	2,561	宮崎	41.7	沖縄	41.1	31
32	茨城	11	静岡	10	長野	46	栃木	40	大阪	125	大分	114	東京	77	京都	62	愛知	2,230	宮城	2,560	佐賀	41.6	石川	40.8	32
33	群馬	11	滋賀	10	和歌山	46	佐賀	39	山形	122	山形	108	新潟	76	石川	60	東京	2,214	神奈川	2,552	岡山	41.2	静岡	40.7	33
34	埼玉	11	岡山	10	岩手	45	大阪	38	三重	122	香川	106	沖縄	70	茨城	59	三重	2,198	岩手	2,536	和歌山	41.0	宮城	40.7	34
35	山梨	11	山口	10	栃木	45	鳥取	38	群馬	116	栃木	105	群馬	69	北海道	58	岩手	2,194	埼玉	2,530	富山	40.8	神奈川	40.5	35
36	静岡	11	佐賀	10	鳥取	45	岩手	37	長野	116	岡山	104	茨城	69	山梨	58	神奈川	2,185	愛知	2,492	愛知	40.3	香川	40.5	36
37	三重	11	山形	9	岡山	45	福岡	37	香川	116	福島	100	京都	68	愛知	58	長野	2,180	千葉	2,482	島根	39.6	長野	40.2	37
38	香川	11	栃木	9	愛知	43	大分	37	茨城	113	群馬	99	栃木	65	埼玉	57	埼玉	2,180	島根	2,466	大分	39.6	岡山	39.9	38
39	千葉	10	千葉	9	三重	42	沖縄	37	滋賀	111	埼玉	96	山梨	65	宮城	56	富山	2,161	富山	2,466	山口	39.4	福井	39.8	39
40	東京	10	東京	9	宮崎	40	群馬	34	茨城	105	三重	96	静岡	62	福井	55	福井	2,138	山形	2,464	新潟	39.4	岩手	39.1	40
41	長野	10	茨城	9	茨城	38	山梨	33	東京	103	滋賀	93	茨城	61	神奈川	51	千葉	2,133	福井	2,384	滋賀	39.3	秋田	39.1	41
42	茨城	10	宮崎	8	東京	38	長野	33	宮城	101	茨城	92	宮城	60	沖縄	50	山形	2,081	石川	2,378	福井	39.2	鹿児島	38.9	42
43	栃木	9	秋田	8	埼玉	37	宮崎	32	埼玉	101	宮城	91	千葉	60	愛知	47	宮城	2,078	東京	2,365	宮崎	39.1	長崎	38.4	43
44	神奈川	9	茨城	8	新潟	37	千葉	32	岩手	100	岩手	90	神奈川	57	福岡	46	神奈川	2,058	神奈川	2,361	長野	38.8	愛知	37.6	44
45	新潟	9	埼玉	8	神奈川	32	埼玉	30	愛知	100	神奈川	88	埼玉	53	千葉	43	新潟	2,050	新潟	2,328	栃木	38.7	鳥取	36.9	45
46	愛知	9	新潟	8	沖縄	30	東京	28	千葉	97	千葉	86	滋賀	53	東京	43	島根	2,041	滋賀	2,291	岩手	38.0	島根	36.1	46
47	秋田	8	長野	8	千葉	26	栃木	25	神奈川	95	東京	85	香川	50	静岡	39	滋賀	2,029	秋田	2,228	山形	37.6	愛媛	34.8	47
48	福島	0	愛知	8	福島	24	福島	0	愛知	0	愛知	84	福島	0	三重	37	秋田	1,733	三重	2,218	長崎	35.3	新潟	34.1	48

厚生労働省 患者調査（人口10万対） 受療率

わが国の慢性透析療法の現状（社）日本透析医学会統計調査委員会(2018年12月31日現在)

3 ページ

次は医療の視点で見たデータ。虚血性心疾患の入院と外来、脳血管の入院と外来、そして透析は糖尿病性腎症も見ている。心臓は入院が伴う疾患で全国の中で高い。逆に外来は低い。脳血管疾患も入院が H29 年は増えている。脳も外来が低いということは突然重症化した結果だろうか。透析については、沖縄県の慢性透析はもともと高い状態であるが、H30 年は少し下がってきて糖尿病性腎症からの透析が率的には減ってきた。

血圧性の透析や動脈硬化性の透析はどのような結果だろうか？ここでは分からない。

肥満が及ぼす影響 1-4 死亡 4ページ

1-4．肥満が及ぼす影響 死亡

心血管イベント 死亡

	虚血性心疾患				脳内出血				脳梗塞				腎不全			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27
1	岐阜 53.5	岐阜 50.9	岐阜 24.1	岐阜 20.8	岩手 24.6	岩手 20.7	岩手 12.1	岩手 9.5	岩手 35.8	青森 26.6	福島 17.4	青森 13.2	青森 12.8	青森 10.0	秋田 6.6	北海道 5.2 1
2	大阪 53.1	大阪 44.3	大阪 23.1	福島 18.5	青森 23.3	秋田 20.3	福島 11.3	秋田 8.8	青森 35.7	福島 24.3	長野 16.9	山形 12.3	福島 12.3	北海道 9.8	北海道 6.3	青森 5.2 2
3	埼玉 50.8	埼玉 43.9	埼玉 22.0	和歌山 18.2	青森 23.0	青森 19.6	新潟 10.1	鹿児島 8.8	秋田 33.2	岩手 23.7	岐阜 16.7	岩手 12.7	北海道 10.9	山口 9.3	山口 6.2	福島 5.2 3
4	青森 48.6	福島 43.2	和歌山 20.3	埼玉 17.9	秋田 22.9	青森 19.5	鹿児島 9.9	福島 8.6	岐阜 32.5	山形 23.4	青森 16.4	岐阜 12.7	秋田 10.0	岐阜 8.8	福島 6.1	大阪 5.0 4
5	栃木 48.5	和歌山 43.0	京都 20.2	大阪 17.4	鹿児島 22.4	岐阜 19.1	茨城 9.8	福島 8.5	福島 32.2	秋田 23.1	茨城 16.3	福島 12.6	長野 10.0	和歌山 8.8	愛媛 6.0	栃木 4.8 5
6	福島 47.9	京都 42.5	福島 20.0	栃木 17.0	岩手 21.9	静岡 18.6	岐阜 9.7	茨城 8.4	山口 30.8	新潟 23.0	岩手 16.2	鹿児島 12.1	愛媛 9.9	山口 8.8	鹿児島 5.9	岩手 4.7 6
7	和歌山 46.7	京都 39.3	青森 19.8	京都 15.9	岐阜 20.7	岩手 19.5	静岡 9.7	岐阜 8.1	石川 29.9	福島 22.8	鹿児島 15.7	秋田 11.6	静岡 9.7	長崎 8.8	青森 5.8	岐阜 4.7 7
8	京都 46.4	長崎 36.1	広島 18.6	広島 14.1	長崎 20.3	新潟 18.2	青森 9.2	静岡 8.1	山形 29.8	岐阜 22.1	山形 15.6	茨城 11.4	鹿児島 9.6	愛媛 8.6	大阪 5.8	和歌山 4.7 8
9	広島 42.9	岩手 35.4	三重 18.0	茨城 13.2	茨城 20.0	茨城 16.9	岐阜 9.2	青森 8.0	新潟 29.8	茨城 21.5	新潟 15.6	新潟 11.4	福井 9.3	秋田 8.3	岩手 5.6	鹿児島 4.7 9
10	鳥取 41.2	広島 35.2	青森 17.6	鳥取 12.7	静岡 19.9	山梨 16.9	秋田 9.0	新潟 7.7	茨城 29.5	山口 21.2	青森 15.5	長野 11.4	和歌山 9.3	福島 8.3	山梨 5.5	愛媛 4.5 10
11	長崎 40.5	山形 34.5	長崎 16.8	三重 12.4	新潟 19.8	鹿児島 16.7	京都 8.3	滋賀 7.7	茨城 29.5	鹿児島 21.2	秋田 14.9	静岡 11.1	岩手 9.2	広島 8.3	滋賀 5.5	長崎 4.4 11
12	岩手 39.2	福井 34.4	山形 15.4	金沢 11.8	山形 19.5	宮崎 16.0	長崎 8.3	宮崎 7.7	富山 29.1	宮崎 20.3	三重 14.2	宮崎 10.9	宮崎 9.2	三重 8.2	長崎 5.5	大分 4.4 12
13	三重 39.0	茨城 34.0	金沢 15.3	鹿児島 11.8	宮崎 18.5	福島 15.7	栃木 8.2	茨城 7.6	長崎 28.8	長野 20.1	鳥取 14.2	石川 10.4	福島 9.1	滋賀 8.2	福井 5.4	秋田 4.3 13
14	福井 38.6	滋賀 33.6	茨城 15.3	滋賀 11.7	京都 18.4	愛媛 15.7	神奈川 8.1	三重 7.6	長野 28.4	群馬 20.0	鹿児島 14.2	福島 10.4	三重 9.1	茨城 8.1	茨城 5.3	山口 4.3 14
15	金沢 36.9	青森 33.2	愛媛 15.3	兵庫 11.7	岡山 18.3	愛知 15.6	福井 8.1	山形 7.0	群馬 27.3	石川 19.6	埼玉 13.9	山梨 10.0	岐阜 9.0	大阪 8.1	京都 5.3	兵庫 4.3 15
16	兵庫 36.8	三重 31.8	兵庫 15.3	長崎 11.7	福島 17.9	群馬 15.2	岐阜 8.1	長崎 6.9	山梨 27.2	滋賀 19.5	静岡 13.8	栃木 9.8	栃木 8.9	群馬 8.1	福島 5.1	長崎 4.3 16
17	茨城 36.3	金沢 31.3	石川 15.0	愛媛 11.6	栃木 17.9	富山 15.1	愛知 8.0	岡山 6.8	鹿児島 27.2	静岡 19.0	富山 13.6	三重 9.8	長崎 8.9	静岡 8.0	群馬 5.0	山口 4.3 17
18	神奈川 33.9	大分 31.3	鳥取 15.0	岩手 11.5	神奈川 17.4	神奈川 14.7	福島 7.8	神奈川 6.7	鳥取 26.7	山口 18.9	岐阜 13.5	鳥取 9.8	山口 8.9	愛媛 8.0	鳥取 5.0	愛媛 4.3 18
19	千葉 33.8	鳥取 31.1	岩手 14.9	大分 11.4	群馬 17.2	鳥取 14.7	埼玉 7.8	石川 6.7	佐賀 26.5	和歌山 18.7	千葉 13.4	愛媛 9.8	山梨 8.8	宮崎 8.0	大分 5.0	佐賀 4.3 19
20	愛知 33.7	兵庫 30.7	大分 14.6	岐阜 11.2	長野 17.2	京都 14.6	宮崎 7.8	群馬 6.6	群馬 26.2	愛媛 18.6	山口 13.3	埼玉 9.7	愛知 8.8	鹿児島 8.0	宮崎 4.9	福島 4.2 20
21	愛媛 33.5	岐阜 30.6	鳥取 14.5	山形 11.1	愛知 17.1	山形 14.5	山形 7.7	広島 6.6	埼玉 26.0	山梨 18.5	金沢 12.8	千葉 9.7	大分 8.8	長崎 7.9	石川 4.9	群馬 4.2 21
22	鹿児島 33.4	滋賀 30.4	滋賀 14.2	岡山 11.1	愛知 17.0	群馬 14.5	金沢 7.6	千葉 6.5	宮崎 25.6	金沢 18.1	大分 12.6	佐賀 9.5	佐賀 8.6	埼玉 7.8	和歌山 4.9	三重 4.2 22
23	宮崎 33.3	長野 28.3	福井 14.0	長崎 10.8	長崎 16.9	金沢 14.1	三重 7.5	富山 6.5	千葉 25.5	宮城 18.1	神奈川 12.4	金沢 9.3	愛知 8.6	山梨 7.7	広島 4.9	岡山 4.2 23
24	山口 33.1	群馬 28.2	愛媛 14.0	青森 10.4	鳥取 16.4	岡山 13.9	佐賀 7.4	京都 6.5	和歌山 25.5	埼玉 18.1	石川 12.4	富山 9.3	茨城 8.5	長崎 7.6	福岡 4.9	群馬 4.2 24
25	長崎 33.1	富山 27.5	宮崎 13.9	福井 10.2	広島 16.4	長野 13.7	千葉 7.4	岩手 6.3	宮崎 25.5	長崎 18.1	鳥取 12.4	群馬 9.3	埼玉 8.5	岐阜 7.4	金沢 4.8	岩手 4.2 25
26	大分 32.9	神奈川 27.3	山梨 13.8	千葉 10.1	岐阜 16.3	鳥取 13.6	長野 7.4	北海道 6.4	金沢 25.4	佐賀 17.8	長崎 12.4	山口 9.3	山形 8.4	福井 7.4	岐阜 4.8	福井 4.1 26
27	岐阜 32.1	千葉 27.0	千葉 13.4	長野 9.6	埼玉 16.2	長崎 13.5	滋賀 7.4	金沢 6.3	鳥取 25.4	千葉 17.7	山梨 12.3	静岡 9.1	宮崎 8.4	大分 7.4	岡山 4.8	金沢 4.0 27
28	岩手 31.1	鹿児島 26.5	愛媛 12.9	北海道 9.5	富山 16.1	鳥取 13.5	福井 7.4	愛知 6.3	愛媛 25.2	富山 17.7	愛媛 12.2	和歌山 9.1	金沢 8.3	金沢 7.3	長崎 4.8	茨城 4.0 28
29	山梨 30.7	愛知 26.3	鹿児島 12.9	宮城 9.5	兵庫 16.0	長崎 13.3	山口 7.2	長野 6.2	北海道 24.0	岐阜 17.3	宮崎 12.1	鳥取 9.1	京都 8.2	群馬 7.3	山形 4.7	埼玉 4.0 29
30	北海道 30.5	静岡 26.0	北海道 12.8	石川 9.5	山梨 15.9	栃木 13.3	愛媛 7.0	宮城 6.1	宮城 24.0	兵庫 17.2	鳥取 11.9	宮城 9.0	兵庫 8.2	愛知 7.3	富山 4.7	広島 4.0 30
31	新潟 30.5	石川 25.9	宮城 12.7	静岡 9.5	千葉 15.8	兵庫 13.2	富山 6.9	埼玉 6.0	三重 24.0	大阪 17.1	岡山 11.7	愛知 8.9	広島 8.2	京都 7.3	栃木 4.6	京都 3.9 31
32	滋賀 30.5	宮城 25.5	神奈川 12.7	栃木 9.1	三重 15.8	三重 13.1	京都 6.9	山梨 6.0	大阪 24.0	神奈川 17.0	兵庫 11.6	兵庫 8.9	長崎 7.9	岡山 7.2	福井 4.5	岡山 3.9 32
33	宮城 30.0	北海道 25.2	岐阜 12.6	愛知 8.9	北海道 15.7	広島 13.1	群馬 6.7	佐賀 5.7	岡山 23.6	三重 17.0	北海道 11.5	宮城 8.9	千葉 7.7	兵庫 6.9	愛媛 4.5	宮城 3.9 33
34	愛媛 30.0	山梨 24.8	岡山 12.6	山梨 8.8	長崎 15.7	山口 12.9	山梨 6.7	山口 5.6	岩手 23.5	愛知 17.0	宮城 11.5	北海道 8.8	福岡 7.7	長崎 6.8	宮城 4.4	石川 3.8 34
35	石川 29.2	宮城 24.3	群馬 11.8	神奈川 8.7	大分 15.1	北海道 12.8	岡山 6.7	栃木 5.6	大分 23.4	群馬 17.0	和歌山 11.3	岡山 8.8	富山 7.6	鳥取 6.8	福島 4.3	岐阜 3.8 35
36	岡山 29.1	岩手 22.7	長野 11.6	群馬 8.3	福岡 14.9	埼玉 12.8	広島 6.7	長崎 5.5	愛知 23.3	岡山 17.0	福井 11.1	長崎 8.8	奈良 7.6	千葉 6.3	千葉 4.3	愛知 3.8 36
37	富山 28.5	新潟 22.6	長野 11.5	富山 8.1	京都 14.7	福井 12.8	徳島 6.6	和歌山 5.4	鳥取 23.3	北海道 16.8	京都 11.0	福井 8.3	鳥取 7.4	千葉 6.2	群馬 4.3	佐賀 3.8 37
38	徳島 28.2	群馬 22.5	岩手 10.9	新潟 7.4	山口 14.7	千葉 12.7	長崎 6.6	岐阜 5.3	長崎 23.2	広島 16.8	鳥取 11.0	徳島 8.3	栃木 7.3	広島 6.7	岐阜 4.3	京都 3.7 38
39	静岡 27.4	愛媛 21.9	徳島 10.8	徳島 7.4	福井 14.5	石川 12.7	兵庫 6.5	兵庫 5.3	兵庫 23.0	栃木 16.3	愛知 11.0	大分 8.3	宮城 7.2	福岡 6.6	三重 4.2	奈良 3.7 39
40	長野 27.3	愛知 21.0	群馬 10.7	山口 7.3	愛媛 14.2	愛知 12.5	和歌山 6.5	神奈川 5.3	神奈川 22.9	宮城 16.1	愛媛 10.9	宮城 8.1	宮城 7.1	栃木 6.4	宮城 4.1	福島 3.6 40
41	福岡 26.9	奈良 19.9	富山 10.6	愛媛 7.3	大阪 14.1	大分 12.1	福岡 6.3	大分 5.1	福井 22.8	大分 16.0	長崎 10.7	福岡 8.1	岡山 7.1	宮城 6.3	愛知 4.1	和歌山 3.6 41
42	秋田 26.1	徳島 18.8	山口 10.4	岩手 7.2	和歌山 13.1	岐阜 11.9	佐賀 6.2	長崎 5.0	岐阜 21.8	愛知 15.9	福岡 10.6	京都 7.9	新潟 6.9	富山 6.2	栃木 4.0	群馬 3.5 42
43	群馬 25.3	福岡 18.4	新潟 10.2	福岡 7.2	徳島 13.0	京都 11.8	石川 5.9	滋賀 4.8	福岡 21.8	福井 15.8	福井 10.5	大阪 7.9	長野 6.8	岐阜 6.1	佐賀 4.0	京都 3.3 43
44	佐賀 22.7	岐阜 17.5	奈良 10.1	奈良 6.9	佐賀 12.8	大阪 11.2	大分 5.9	奈良 4.8	滋賀 21.0	長崎 15.4	佐賀 10.5	広島 7.9	群馬 6.7	長野 5.7	神奈川 3.5	福島 3.3 44
45	山口 22.4	山口 16.9	佐賀 9.9	長崎 6.9	石川 12.5	福岡 11.0	大阪 5.4	愛知 4.7	広島 20.8	京都 15.3	滋賀 10.2	神奈川 7.8	岩手 6.7	新潟 5.6	新潟 3.4	千葉 3.2 45
46	栃木 21.3	長崎 16.2	栃木 7.8	栃木 6.3	滋賀 12.3	和歌山 10.9	奈良 5.4	福岡 4.7	栃木 19.7	奈良 15.2	広島 9.8	栃木 7.4	神奈川 6.2	神奈川 5.5	長野 3.4	長野 3.2 46
47	奈良 20.9	栃木 16.2	鳥取 8.2	秋田 5.6	奈良 11.1	奈良 9.7	鳥取 5.1	大阪 4.4	京都 19.1	岩手 13.9	栃木 9.7	滋賀 7.3	石川 6.1	奈良 5.0	奈良 3.4	新潟 2.9 47
48	鳥取 18.8	佐賀 14.8	鳥取 8.1	佐賀 5.5	愛知 11.1	滋賀 8.9	愛知 4.8	福井 4.0	岩手 17.7	滋賀 12.4	岩手 9.1	岩手 5.9	佐賀 5.5	石川 4.5	鳥取 3.0	神奈川 2.8 48

厚生労働省 都道府県別年齢調整死亡率

肥満が及ぼす影響から死亡を見たデータ。まず年齢調整死亡率で見る。沖縄県は心臓よりも脳内出血の方が高い。男性は上位。やはり血圧が高かいと脳出血を起こす。

肥満と食生活 1-5 5ページ 説明なし

1-5．肥満と生活習慣

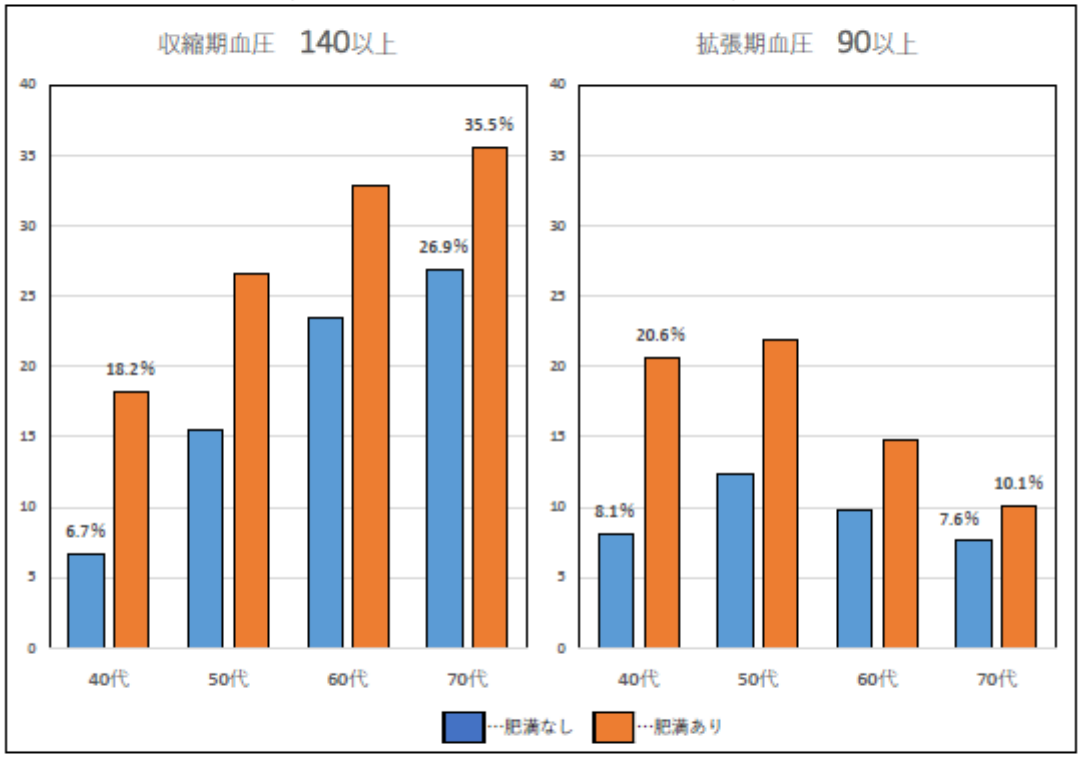
	脂質エネルギー比	動物性脂肪：他の加工肉（コロッケ、ウインナー等）	動物性脂肪：ベーコン	動物性脂肪：ハンバーグ	動物性脂肪：カツレツ	ジャンクフード等：ハンバーガー	ジャンクフード等：スナック菓子	ジャンクフード等：炭酸飲料	魚：生鮮魚介（干物・佃煮除く）	魚：鮮魚	野菜：生鮮野菜（全体）	野菜：葉菜類	
	脂質エネルギー比	他の加工肉	ベーコン	ハンバーグ	カツレツ	ハンバーガー	スナック菓子	炭酸飲料	生鮮魚介（干物・佃煮除く）	鮮魚	生鮮野菜（全体）	葉菜類	
	% E	金額	数量（g）	金額	金額	金額	金額	金額	数量（g）	数量（g）	数量（g）	数量（g）	
1	沖縄 23.4	沖縄 5,601	札幌市 2,308	沖縄 2,305	福井市 4,128	長崎市 5,513	鳥取市 6,907	青森市 7,613	青森市 37,329	青森市 31,953	千葉市 203,597	千葉市 73,595	1
2	兵庫 28.2	札幌市 4,128	山形市 2,171	甲府市 1,859	富山市 3,192	沖縄市 5,474	札幌市 6,528	札幌市 7,125	秋田市 31,639	秋田市 28,838	新潟市 196,376	秋田市 72,047	2
3	大阪 28.0	青森市 3,949	沖縄市 2,005	水戸市 1,684	甲府市 3,074	名古屋市 5,438	山口市 6,414	山形市 6,800	鳥取市 30,987	鳥取市 28,247	秋田市 191,035	新潟市 68,199	3
4	東京 27.8	山形市 3,869	秋田市 1,948	山形市 1,626	金沢市 2,577	岐阜市 5,385	岐阜市 6,337	千葉市 6,620	長崎市 29,299	富山市 26,913	さいたま市 190,764	福岡市 66,221	4
5	神奈川 27.8	仙台市 3,684	仙台市 1,895	福島市 1,596	さいたま市 2,521	大分市 5,242	長野市 6,254	秋田市 6,542	富山市 28,922	長崎市 26,868	横浜市 187,826	大津市 66,052	5
6	奈良 27.8	新潟市 3,187	青森市 1,869	静岡市 1,530	新潟市 2,512	福島市 5,236	長野市 6,253	栃木市 6,469	新潟市 28,317	金沢市 26,160	大津市 187,051	さいたま市 65,972	6
7	愛知 27.6	宮崎市 3,161	長崎市 1,820	福井市 1,518	長崎市 2,511	松山市 5,221	金沢市 6,196	福岡市 6,323	松江市 28,195	新潟市 25,491	東京都区部 186,378	東京都区部 65,506	7
8	福岡 27.5	福岡市 2,846	静岡市 1,787	青森市 1,502	福島市 2,482	宇都宮市 5,187	大分市 5,993	山口市 6,296	金沢市 27,994	札幌市 24,993	宇都宮市 185,954	横浜市 65,020	8
9	京都 27.4	福井市 2,836	福島市 1,780	福岡市 1,477	宇都宮市 2,473	金沢市 5,173	青森市 5,598	鳥取市 6,128	札幌市 27,915	大津市 24,189	福岡市 185,829	山形市 64,259	9
10	千葉 27.2	富山市 2,777	新潟市 1,779	宮崎市 1,472	佐賀市 2,455	岡山市 5,145	栃木市 5,516	水戸市 6,025	大津市 24,114	佐賀市 23,616	京都市 185,088	京都市 63,872	10
11	福井 27.1	金沢市 2,703	山口市 1,764	佐賀市 1,443	水戸市 2,423	静岡市 4,884	静岡市 5,503	さいたま市 5,983	佐賀市 26,032	松江市 23,539	佐賀市 182,503	宇都宮市 63,436	11
12	山口 27.1	広島市 2,679	佐賀市 1,747	宇都宮市 1,414	東京都区部 2,419	栃木市 4,857	水戸市 5,311	福島市 5,934	千葉市 25,469	山口市 23,411	長野市 177,596	大阪市 63,274	12
13	茨城 27.0	千葉市 2,666	富山市 1,719	東京都区部 1,412	千葉市 2,395	さいたま市 4,834	佐賀市 5,181	福島市 5,902	津市 25,413	和歌山市 23,362	大阪市 175,665	広島市 63,272	13
14	静岡 26.9	金沢市 2,618	横浜市 1,717	長崎市 1,392	和歌山市 2,331	大阪市 4,798	福島市 5,146	大阪市 5,894	山口市 25,299	津市 23,315	長崎市 174,276	佐賀市 62,857	14
15	広島 26.9	秋田市 2,596	千葉市 1,673	さいたま市 1,383	福岡市 2,300	静岡市 4,789	名古屋市 5,137	秋田市 5,812	佐賀市 25,083	佐賀市 22,935	広島市 173,606	長野市 62,486	15
16	鹿児島 26.9	横浜市 2,559	岐阜市 1,673	千葉市 1,373	静岡市 2,168	東京都区部 4,689	福井市 5,072	岡山市 5,777	広島市 24,978	千葉市 22,646	山形市 172,929	高知市 62,397	16
17	栃木 26.8	鹿児島市 2,491	福岡市 1,670	京都市 1,336	山形市 2,084	福島市 4,678	富山市 5,058	仙台市 5,690	和歌山市 24,920	栃木市 22,481	佐賀市 172,141	札幌市 62,373	17
18	長野 26.8	津市 2,477	金沢市 1,548	金沢 1,276	青森市 2,070	富山市 4,630	仙台市 4,990	佐賀市 5,662	福岡市 24,620	宮崎市 22,214	静岡市 172,130	鹿児島市 61,412	18
19	愛知 26.7	東京都区部 2,430	大津市 1,538	佐賀市 1,270	鹿児島市 1,994	松山市 4,619	大津市 4,947	新潟市 5,636	長崎市 24,216	福岡市 22,132	奈良市 171,822	静岡市 61,225	19
20	和歌山 26.6	静岡市 2,368	さいたま市 1,636	和歌山市 1,262	名古屋市 1,969	奈良市 4,561	広島市 4,903	東京都区部 5,610	横浜市 24,005	福岡市 22,020	鹿児島市 170,284	金沢市 60,133	20
21	大分 26.6	長野市 2,349	東京都区部 1,552	横浜市 1,246	金沢 1,966	東京都区部 4,521	松江市 4,889	宇都宮市 5,574	奈良市 23,809	広島市 21,870	札幌市 168,420	松江市 60,067	21
22	佐賀 26.4	福島市 2,334	甲府市 1,549	大阪市 1,229	秋田市 1,910	千葉市 4,459	秋田市 4,877	金沢市 5,557	金沢 23,734	鹿児島市 21,785	和歌山市 168,128	奈良市 59,930	22
23	群馬 26.3	さいたま市 2,327	広島市 1,549	鹿児島市 1,215	横浜市 1,899	宮崎市 4,407	和歌山市 4,811	広島市 5,491	大分市 23,723	横浜市 21,765	松江市 168,081	富山市 59,898	23
24	新潟 26.3	名古屋市 2,293	長野市 1,540	名古屋市 1,209	長野市 1,857	山形市 4,394	新潟市 4,795	金沢 5,434	宮崎市 23,620	大分市 21,704	金沢 166,812	福島市 58,931	24
25	三重 26.3	和歌山市 2,248	宇都宮市 1,536	富山市 1,197	京都市 1,842	神戸市 4,349	金沢 4,608	福井市 5,422	鹿児島市 23,539	金沢 21,556	水戸市 166,402	青森市 58,897	25
26	愛媛 26.3	京都市 2,247	金沢 1,532	和歌山市 1,190	大阪市 1,816	水戸市 4,331	岡山市 4,563	新潟市 5,368	京都市 23,331	京都市 21,458	福島市 165,771	金沢 58,860	26
27	宮崎 26.3	水戸市 2,240	鳥取市 1,519	岐阜市 1,184	鹿児島市 1,804	佐賀市 4,279	宇都宮市 4,527	甲府市 5,277	福井市 23,144	福井市 21,207	青森市 165,493	名古屋市 58,845	27
28	北海道 26.2	山口市 2,199	岡山市 1,486	松江市 1,177	神戸市 1,791	和歌山市 4,276	福井市 4,519	横浜市 5,189	岡山市 23,122	岡山市 20,977	金沢市 165,458	水戸市 58,580	28
29	山梨 26.2	岐阜市 2,186	茨城市 1,457	茨城市 1,172	長崎市 1,783	横浜市 4,223	甲府市 4,481	和歌山市 5,184	水戸市 23,102	大阪市 20,946	富山市 164,446	津市 57,795	29
30	鳥取 26.2	宇都宮市 2,173	岐阜市 1,403	大津市 1,164	大津市 1,782	鹿児島市 4,166	さいたま市 4,436	福岡市 5,078	大阪市 22,825	和歌山市 20,866	津市 164,436	福井市 57,718	30
31	滋賀 26.0	大分市 2,169	鳥取市 1,393	新潟市 1,138	鳥取市 1,762	金沢 4,141	岡山市 4,420	宮崎市 5,039	静岡市 22,611	鳥取市 20,762	福岡市 163,594	長崎市 57,111	31
32	青森 25.9	佐賀市 2,162	松江市 1,392	新潟市 1,132	宮崎市 1,759	山口市 4,026	福井市 4,409	松山市 5,009	長野市 22,511	水戸市 20,735	名古屋市 163,339	岐阜市 56,959	32
33	茨城 25.8	長崎市 2,128	大分市 1,386	津市 1,099	広島市 1,757	福井市 3,971	福岡市 4,376	福島市 5,039	鳥取市 22,482	静岡市 20,228	岐阜市 160,101	福岡市 56,867	33
34	富山 25.8	甲府市 2,108	岡山市 1,373	神戸市 1,098	津市 1,746	松江市 3,903	大阪市 4,374	神戸市 4,865	松山市 22,223	和歌山市 20,020	佐賀市 160,030	佐賀市 56,751	34
35	岡山 25.8	神戸市 1,992	津市 1,372	札幌市 1,096	鳥取市 1,723	宮崎市 3,832	滋賀市 4,246	大津市 4,861	東京都区部 22,159	長野市 20,023	鳥取市 158,848	岡山市 56,551	35
36	福島 25.7	福岡市 1,918	宮崎市 1,352	鳥取市 1,095	和歌山市 1,637	大津市 3,773	秋田市 4,242	静岡市 4,735	さいたま市 22,140	さいたま市 20,009	大分市 155,943	和歌山市 56,351	36
37	徳島 25.7	栃木市 1,896	名古屋市 1,326	長崎市 1,094	岐阜市 1,636	鳥取市 3,760	神戸市 4,142	名古屋市 4,714	和歌山市 22,020	東京都区部 19,783	岡山市 154,658	甲府市 55,730	37
38	石川 25.6	大津市 1,886	和歌山市 1,319	大分市 1,093	大分市 1,524	長崎市 3,746	松江市 4,138	長崎市 4,683	名古屋市 21,652	福岡市 19,656	和歌山市 154,310	山口市 54,310	38
39	福井 25.6	松江市 1,884	松山市 1,317	岡山市 1,082	岡山市 1,501	札幌市 3,688	宮崎市 4,121	福井市 4,597	宇都宮市 21,366	宇都宮市 19,551	山口市 151,556	松江市 53,767	39
40	岐阜 25.6	松山市 1,873	福井市 1,314	秋田市 1,070	奈良市 1,494	山口市 3,444	千葉市 4,096	大分市 4,548	福岡市 21,151	名古屋市 19,523	鳥取市 151,019	大分市 53,715	40
41	長崎 25.6	和歌山市 1,867	水戸市 1,303	松江市 1,065	鳥取市 1,436	岡山市 3,244	長野市 4,078	岐阜市 4,530	岐阜市 20,998	岐阜市 18,879	神戸市 150,843	神戸市 52,815	41
42	栃木 25.5	大阪市 1,843	京都市 1,288	福島市 1,033	松江市 1,405	長野市 3,164	東京都区部 3,943	長野市 4,516	福島市 20,703	神戸市 18,828	宮城市 150,221	宮崎市 52,555	42
43	山形 25.1	鳥取市 1,673	徳島市 1,242	山口市 990	山口市 1,399	新潟市 3,145	鹿児島市 3,851	奈良市 4,491	甲府市 20,431	福島市 18,642	福井市 149,837	鳥取市 52,480	43
44	金沢 25.1	鳥取市 1,671	鹿児島市 1,224	松山市 979	松山市 1,374	福島市 3,107	和歌山市 3,673	松江市 4,203	山形市 20,418	栃木市 18,629	栃木市 148,578	徳島市 51,479	44
45	鳥取 24.9	岡山市 1,648	和歌山市 1,222	鳥取市 977	福島市 1,353	和歌山市 3,047	京都市 3,436	津市 4,051	栃木市 20,399	山形市 18,571	徳島市 147,977	福井市 50,429	45
46	鳥取 24.8	奈良市 1,509	大阪市 1,189	長野市 974	佐賀市 1,326	京都市 2,895	横浜市 3,427	鹿児島市 4,038	神戸市 20,020	徳島市 17,947	鳥取市 147,167	松山市 49,358	46
47	秋田 24.7	徳島市 1,423	神戸市 1,146	広島市 941	栃木市 1,309	秋田市 2,836	長崎市 3,400	京都市 4,007	徳島市 19,543	神戸市 17,511	松山市 143,732	栃木市 48,639	47
48	岩手 24.5	鳥取市 1,376	鳥取市 1,061	鹿児島市 843	札幌市 1,157	長崎市 2,127	和歌山市 2,976	和歌山市 3,870	鳥取市 16,541	鳥取市 15,368	鳥取市 139,783	鳥取市 45,470	48

総務省統計局 家計調査 食品ランキング2017～2019年平均

高血圧と肥満の関係を年代別にみる

高血圧と肥満の関係を年代別にみる

		収縮期血圧140以上					拡張期血圧90以上				
		合計	40代	50代	60代	70代	合計	40代	50代	60代	70代
肥満なし（25未満）	該当者	13,310	549	1,540	6,598	4,623	5,966	663	1,232	2,760	1,311
	割合	21.0%	6.7%	15.5%	23.5%	26.9%	9.4%	8.1%	12.4%	9.8%	7.6%
肥満あり（25以上）	該当者	12,644	857	1,767	5,902	4,118	6,251	974	1,459	2,642	1,176
	割合	30.9%	18.2%	26.6%	32.9%	35.5%	15.3%	20.6%	22.0%	14.7%	10.1%



			収縮期血圧140以上					拡張期血圧90以上				
			合計	40代	50代	60代	70代	合計	40代	50代	60代	70代
肥満度別	1度（25～29.9）	該当者	9,529	508	1,189	4,594	3,238	4,548	597	985	2,050	916
		割合	29.5%	15.2%	24.2%	31.7%	33.9%	14.1%	17.9%	20.1%	14.1%	9.6%
	2度（30～34.9）	該当者	2,466	235	438	1,074	719	1,318	266	367	478	207
		割合	35.3%	23.5%	31.5%	37.3%	41.9%	18.9%	26.6%	26.4%	16.6%	12.1%
	3度以上（35以上）	該当者	649	114	140	234	161	385	111	107	114	53
		割合	40.3%	29.6%	41.1%	41.3%	50.8%	23.9%	28.8%	31.4%	20.1%	16.7%

6

6 ページ

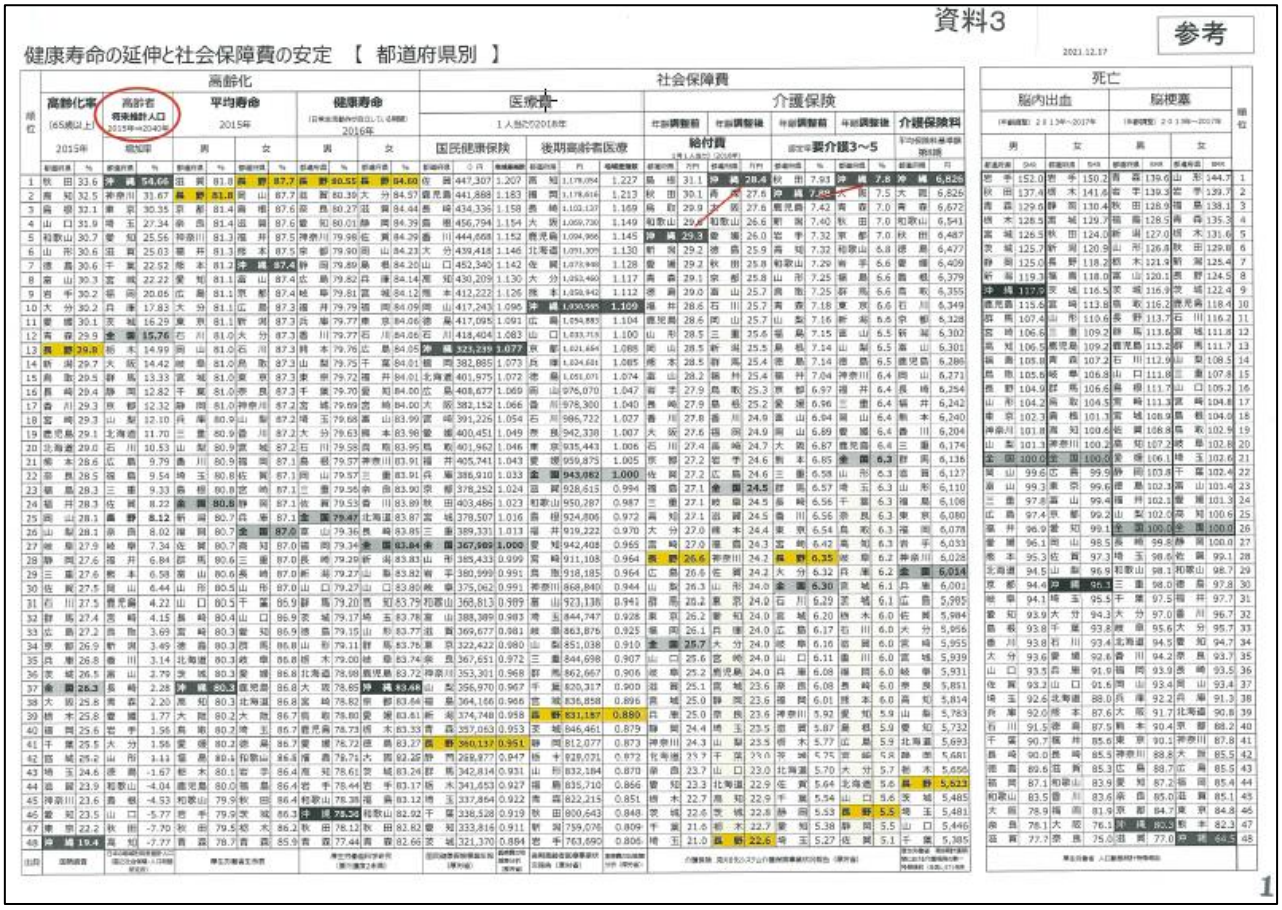
高血圧と肥満の関係を年代別に見るという統計。各市町村分もツールで作成できるのでやってほしい。去年沖縄県で高血圧学会が開催されたとき沖縄の実態が分かるように作成されたツール。グラフの肥満がある人とない人で、収縮血圧と拡張期血圧の比較をしている。赤が肥満のある人。いずれの血圧も肥満のある人が高い。肥満になると高

血圧になるというメカニズムがある。そこでもう１つ見ているの、年代別である。年代別にするという意味は何か。下の表は肥満度別と年代別で収縮期の圧と拡張期の圧を見ている。まず血圧Ｉ度の人は肥満がまだ軽い。BMI25～29.9 は上の血圧を年代別に見ると、上の血圧は年代が上がるごとに上がっている。40 代では 15.2%だったが、70 代には 33.9%に増えている。では下の血圧はどうかというと 70 代 9.6%に対し、40 代は 17.9%、50 代 20.1%であった。下の血圧が高い人が多いのは若い人であった。皆さんが関わる国保の住民はおそらく 65 歳以上が多いからあまり実感がなかったかもしれない。実は共済組合の保健指導でみると下の血圧が高い人がたくさんいる。そしてメタボ。しかし皆下の血圧を気にしていない。保健指導する側も気に留めていただろうか。医者にも上が 140 以上、下は痩せれば治る、運動したらいい、というようなご指導を受けた人もいた。実はメカニズムをきちんと調べると、下の血圧が高いままでいると、将来的に確実に上の血圧が上がり、いよいよ高血圧になるというメカニズムがある。沖縄県の人たちは肥満を長年放置、なかなか改善しない。前々から H25 の健診でも下の血圧高かった。経過を経て R 元年なり上の血圧まで上がってしまった。という理解ができる。下の血圧が高いのは心臓から遠い血管を見ている。そして上の血圧は心臓から出た大きい大動脈を見ている。加齢で血管が固くなり動脈硬化になるので上が高い。若いときには動脈がまだ柔いから、上の血圧まで圧を上げなくても心臓を押し出せる。抵抗をするのは下の血圧。しかしそれを放置すると、いずれは高血圧になったという沖縄の姿だとメカニズムで分かってきた。

去年の特定健診保健指導の研修会では、分かってきた血圧の問題性から血圧の高い人たちへの保健指導の教材を皆さんに示した。その後結果はどうなっているのか。研修会する側としてきになるところ。事業をやるには計画を作らないといけない。特定健診保健指導の中には PDCA で行うと記されている。

【資料３　参考】

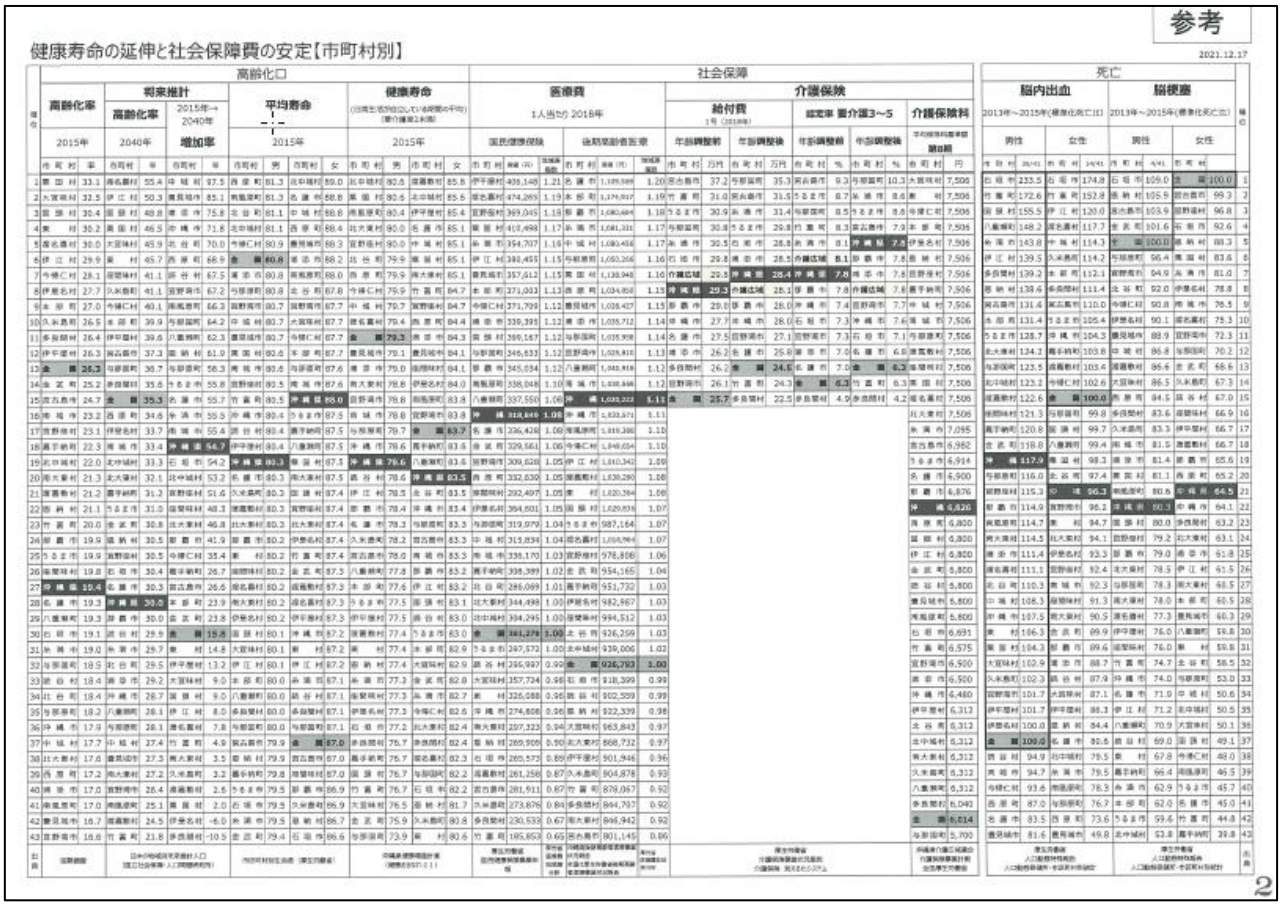
健康寿命の延伸と社会保障費の安定（都道府県別）



追加統計で介護保険について示されていなかったので、ここで介護保険について見てみる。血圧が高くて脳出血が多

いという事実が分かった。では介護保険とどう繋がってくるかデータを見る。まず 1 人当たり給付費がある。実は介護保険が開始したときから沖縄県は高かった。赤字であった。そして年齢調整後の要介護 3～5 の認定率は全国 1 位。つまり重症の人が多い。全国の中でも脳出血が多い、高血圧が多い、要介護認定 3～5 が多いと読み取った。

健康寿命の延伸と社会保障費の安定（市町村別）



次は市町村。沖縄県は介護広域に加入している市町村が多い。

加入市町村は一括りに介護広域としている。年齢調整後の認定率要介護 3～5 を見ると、糸満市が 8.6%、与那国町は 10.3%、小さい規模の町村。糸満・うるま・宮古は重症化している。

死亡統計を見ると、沖縄県は脳梗塞より脳内出血の死亡が高い。これは標準化死亡比 SMR で、全国を 100 とした場合どれぐらいかを見る。脳出血が多い。脳梗塞は医療的に間に合っている。脳出血は高血圧がリスクである。嘉手納町は男女ともに全国より高い。医療費でも高いし亡くなる人も多い。やはり脳内出血にいくという読み取りになる。

【資料 4】

P1　保険者による予防・健康づくり等のインセンティブ～アウトカム指標重視へ（新規追加・配点重点）～

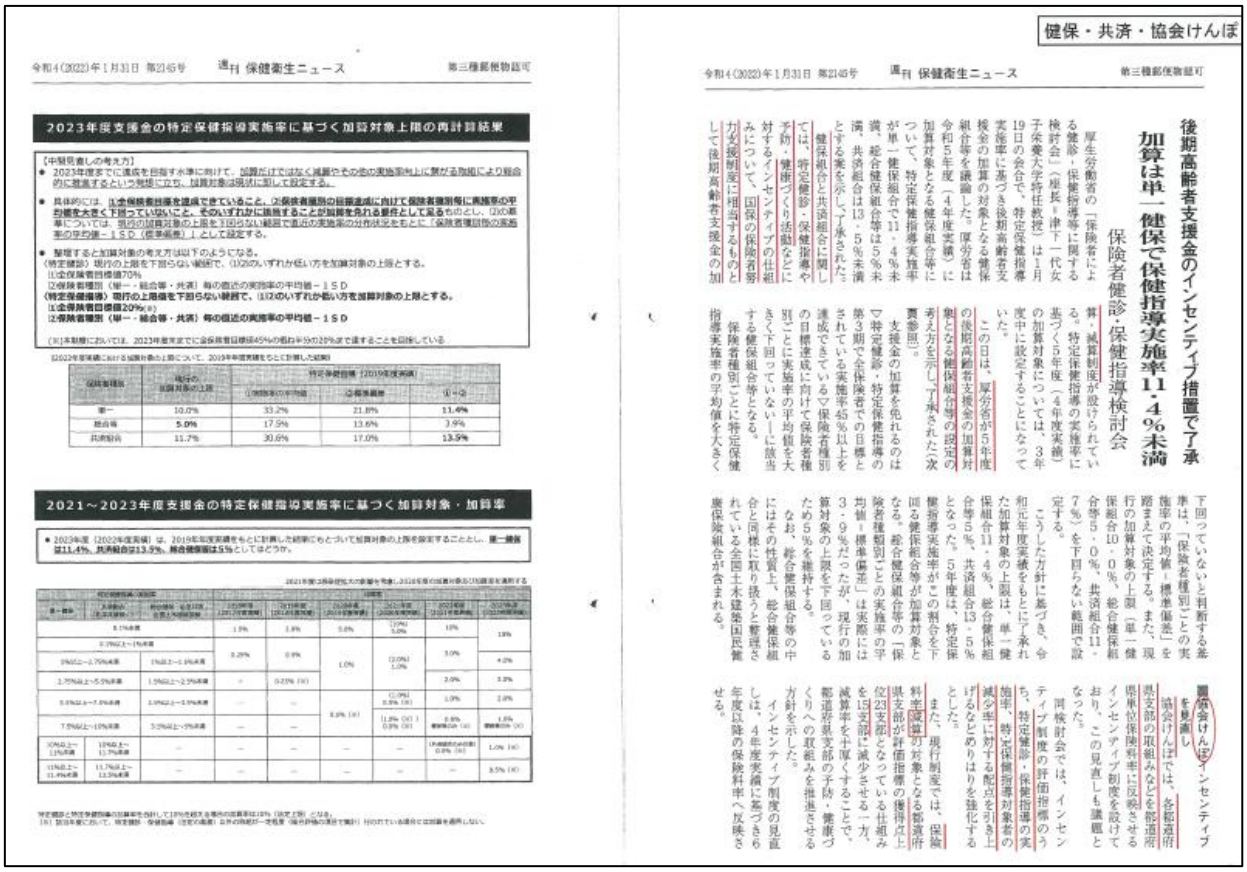
保険者による予防・健康づくり等のインセンティブ
～ アウトカム指標 重視へ（新規追加・配点重点）～

資料4

構造図A	保険	NO	概要	出典	ページ
⑯	健保共済	1	後期高齢者支援金のインセンティブ措置で了承	令和4年1月31日 保健衛生ニュース	2
	協会けんぽ	2	インセンティブ見直し ～令和4年度実績より見直し、令和6年度保険料へ反映、減算対象：現在の上位23支部から、上位15位へ～		
		3	インセンティブ見直しの全体像	令和4年1月19日 厚生労働省「第44回保険者による健診・保健指導等に関する検討会」資料1抜粋	3
		4	【都道府県別】インセンティブの実績（令和2年度・確定値）＜偏差値＞ ～沖縄支部10位～	令和4年1月14日評議会 協会けんぽ京都支部_資料1_抜粋	4
		5	【都道府県別】インセンティブの実績（令和2年度・確定値）＜実施率＞		5
		6	【都道府県別】健康経営からみた都道府県別の実態	協会けんぽ事業年報 保険料率	6
	国保	7	【都道府県別】インセンティブの点数・一人当たり交付額（令和4年度） ～沖縄（市町村分）は、点数8位、交付額4位～	令和4年3月28日 保健衛生ニュース	7
		8	【都道府県別】インセンティブの各指標の点数（令和4年度）	令和4年３月2日 厚生労働省「全国国保課長等会議」参考資料1	11
		9	【市町村別】インセンティブの各指標の点数と交付額（令和４年度） ～自分の市町村の点数、交付額はどれぐらいだったでしょうか？～	サイボウズ	12
	後期	10	【都道府県別】インセンティブの各指標の点数（令和4年度）	令和4年３月2日 厚生労働省「全国国保課長等会議」資料③	13
		11	【都道府県別】令和5年度 アウトカム指標 の追加 ～年齢調整後　新規透析患者、年齢調整後　１人あたり医療費～		
		12	【都道府県別】新しい アウトカム指標 を令和元年度の実績でイメージ　（令和元年度） ～沖縄県は、地域差指数は、全国より高いでしょうか？低いでしょうか？～	厚生労働省 医療費の地域差指数（可変）	15
		13	新しい アウトカム指標 を令和元年度の実績でイメージ　（令和元年度） ～自分の市町村の地域差指数は、全国・沖縄より高いでしょうか？低いでしょうか？～		16
㉒	介護	14	【都道府県別】インセンティブの各指標の点数　（令和4年度）	見える化システム 令和４年度市町村分　保険者機能強化推進交付金に係る評価結果	17
		15	アウトカム指標 ①要介護度1～2認定率の変化、②要介護度3～5認定率の変化、③健康寿命の延伸（要介護2～認定率の変化） ～沖縄県は最下位　～		
		16	【市町村別】インセンティブの各指標の点数　（令和4年度） ～自分の市町村の点数、交付額はどれぐらいだったでしょうか？～		18
		17	アウトカム指標 の実態を統計でみてみる いきなり要介護3～5　～いきなり要介護にな人について、レセプトから背景を考える～	KDBシステム、データヘルス支援システムより加工（令和4年2月各市町村へ送付）	19
		18	アウトカム指標 の実態を統計でみてみる 何が原因で介護になっているのか　～介護度別に疾患をみてみました～	KDBシステム、データヘルス支援システムより加工（令和4年3月各市町村へ送付）	
		19	（メタボ該当者のいきなり要介護） 虚血性心疾患発症後に、新型コロナウイルスに感染、要介護4となった事例		20
		20	（参考） 新型コロナウイルスの重症化しやすい基礎疾患、～基礎疾患を沖縄の順位でみてみる～	京都大学西浦教授提供データ及び新型コロナウイルス感染症診療の手引き第４，１版に基づき厚生労働省にて作成、厚生労働省　NDBオープンデータ、人口動態特殊報告	21

これは保険者による予防健康づくり等のインセンティブということで、予防に関するお金が確保され、アウトカム指標を設けられている。そして新規追加・配点重点とあるが、これを整理している。資料 1 構造図 A⑯と㉒の部分である。対象医療保険ごとに書かれている。健保・共済は「後期高齢者支援金のインセンティブ措置で了承」された。その内容の出典は保健衛生ニュースに記載されている。概要の根拠をきちんと揃えてある。他の保険者もインセンティブが書かれている。協会けんぽ・国保・後期そして介護とあるが、後期や介護は予防活動の結果。そこのアウトカム指標が先に出されている。インセンティブに関する事を、国の方針や保健衛生ニュースや国保新聞に出ているので、概要の根拠を確認する。

P2 保健衛生ニュース （健保・共済・協会けんぽ）



健保・共済・協会けんぽ

令和4(2022)年1月31日 第2145号 週刊 保健衛生ニュース 第三種郵便物認可

後期高齢者支援金のインセンティブ措置で了承

加算は単一健保で保健指導実施率11.4%未満

保険者健診・保健指導検討会

厚生労働省の「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」（座長＝津下一代女子栄養大学特任教授）は1月19日の会合で、特定保健指導実施率に基づく後期高齢者支援金の加算の対象となる健保組合等を議論した。厚労省は令和5年度（4年度実績）について、特定保健指導実施率が単一健保組合で11・4%未満、総合健保組合等は5%未満、共済組合は13・5%未満とする案を示し了承された。

健保組合と共済組合に関しては、特定健診・保健指導や予防・健康づくり活動などに対するインセンティブの仕組みについて、国保の保険者努力支援制度に相当するものとして後期高齢者支援金の加算・減算制度が設けられている。

厚労省は5年度の後期高齢者支援金の加算対象となる健保組合等の設定の考え方を示し、了承された。次回審議する。

支援金の加算を免れるのは、①特定健診・特定保健指導の第3期で全保険者での目標とされている実施率45%以上を達成できている②保険者種別の目標達成に向けて保険者種別ごとに実施率の平均値を大きく下回っていない―に該当する健保組合等となる。

保険者種別ごとに特定保健指導実施率の平均値を大きく下回っていないと判断する基準は、「保険者種別ごとの実施率＝標準偏差」を踏まえて決定する。また、現行の加算対象の上限（単一健保組合10・0%、総合健保組合等5・0%、共済組合11・7%）を下回らない範囲で設定する。

こうした方針に基づき、令和元年度実績をもとに了承された加算対象の上限は、単一健保組合11・4%、総合健保組合等5%、共済組合13・5%となった。5年度は、特定保健指導実施率がこの割合を下回る健保組合等が加算対象となる。総合健保組合等の「保険者種別ごとの実施率の平均値＝標準偏差」は実際には3・9%だったが、現行の加算対象の上限を下回っているため5%を維持する。

なお、総合健保組合等の中にはその性質上、総合健保組合と同様に取り扱うと整理されている全国土木建築国民健康保険組合が含まれる。

協会けんぽインセンティブを見直し

協会けんぽでは、各都道府県支部の取組みなどを都道府県単位で保険料率に反映させるインセンティブ制度を設けており、この見直しも議題となった。

同検討会では、インセンティブ制度の評価指標のうち、特定健診・保健指導の実施率、特定保健指導対象者の減少率に対する配点を引き上げるなどめりはりを強化するとした。

また、現行制度では、保険料率減算の対象となる都道府県支部が評価指標の獲得点上位23支部となっている仕組みを15支部に減少させる一方、減算率を厚くすることで、都道府県支部の予防・健康づくりへの取組みを推進させる方針を示した。

インセンティブ制度の見直しは、4年度実績に基づき6年度以降の保険料率へ反映させる。

2023年度支援金の特定保健指導実施率に基づく加算対象上限の再計算結果

【中間見直しの考え方】

- 2023年度までに達成を目指す水準に向けて、加算だけではなく減算やその他の実施率向上に繋がる取組により総合的に推進するという発想に立ち、加算対象は現状に即して設定する。
- 具体的には、①全保険者種別を達成できていること、②保険者種別の目標達成に向けて保険者種別毎に実施率の平均値を大きく下回っていないこと、そのいずれかに該当することが加算を免れる要件として妥当もの とし、②の基準については、現行の加算対象の上限を下回らない範囲で直近の実施率の分布状況をもとに「保険者種別毎の実施率の平均値－1SD（標準偏差）」として設定する。
- 整理すると加算対象の考え方は以下のようになる。

〈特定健診〉現行の上限を下回らない範囲で、①②のいずれか低い方を加算対象の上限とする。

①全保険者目標値70%

②保険者種別（単一・総合等・共済）毎の直近の実施率の平均値－1SD

〈特定保健指導〉現行の上限値を下回らない範囲で、①②のいずれか低い方を加算対象の上限とする。

①全保険者目標値20%※

②保険者種別（単一・総合等・共済）毎の直近の実施率の平均値－1SD

（※）本制度においては、2023年度末までに全保険者目標値45%の割合が20%かつ達することを目指している

2022年度実績における加算対象の上限について、2019年度実績をもとに計算した結果

保険者種別	現行の加算対象の上限	特定保健指導（2019年度実績）		
		①保険者の平均値	②保険者種別	①＝② ↓
単一	10.0%	33.2%	21.8%	11.4%
総合等	5.0%	17.9%	13.6%	3.9%
共済組合	11.7%	30.6%	17.0%	13.5%

2021～2023年度支援金の特定保健指導実施率に基づく加算対象・加算率

- 2023年度（2022年度実績）は、2019年度実績をもとに計算した結果にもとづいて加算対象の上限を設定することとし、単一健保は11.4%、共済組合は13.5%、総合健保等は5%としてはどうか。

2021年度は各保険者共大の数値を考慮し、2018年度の加算対象及び加算率を適用する

現行制度（～2021年度）		2022年度（2020年度実績）		2023年度（2021年度実績）		2024年度（2022年度実績）		2025年度～（2023年度実績）
第一期	「全保険者」（全国共通値）	「保険者種別」（全国共通値）	上限値（2021年度実績）	上限値（2021年度実績）	上限値（2020年度実績）	上限値（2020年度実績）	上限値（2021年度実績）	上限値（2021年度実績）
8.1%未満			1.0%	3.0%	5.0%	7.0% 5.0%	10%	10%
8.1%以上～1%未満			3.0%	5.0%	1.0%	7.0% 1.0%	5.0%	4.0%
1%以上～2.75%未満		1%以上～1.1%未満						
2.75%以上～5.5%未満		1.5%以上～2.5%未満	－	0.25% (※)			2.0%	3.0%
5.5%以上～7.5%未満		2.5%以上～3.5%未満	—	—	3.0% (※)	0.5% 0.5% (※)	1.0%	2.0%
7.5%以上～10%未満		3.5%以上～5%未満	—	—		0.5% 0.5% (※)	0.5% （特定保健指導のみ適用）	1.0% （特定保健指導のみ適用）
10%以上～11%未満	10%以上～11.7%未満	—	—	—	—	—	（特定保健指導のみ適用） 0.5% (※)	1.0% (※)
11%以上～11.4%未満	11.7%以上～13.5%未満	—	—	—	—	—	—	0.5% (※)

特定健診と特定保健指導の加算率を合計して10%を超える場合の加算率は10%（加算上限）となる。

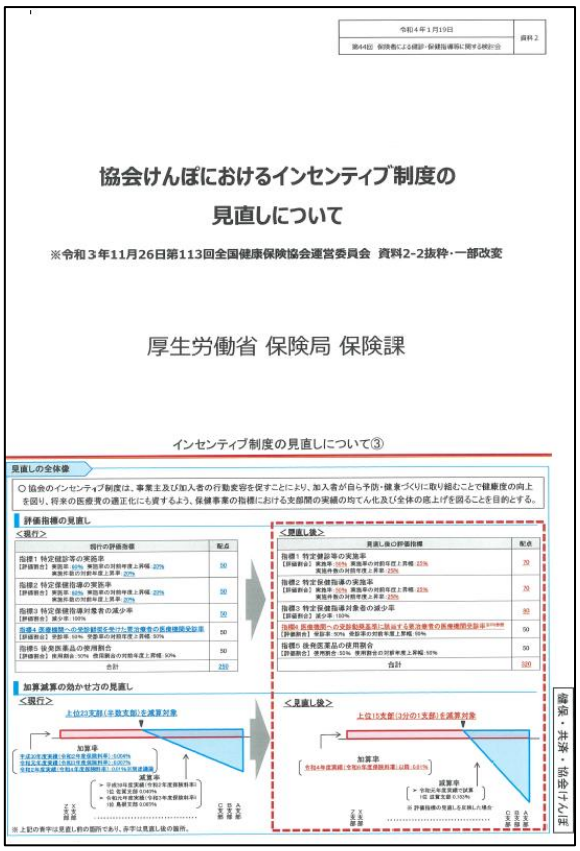
（※）該当年度において、特定健診・保健指導（特定の場面）以外の時点が一定程度（毎年評価の測定で確認）行われている場合には加算を適用しない。

これは健保・共済・協会けんぽに関するもの。

見出しに「後期高齢者支援金のインセンティブ措置で了承」とある。赤線を読むと、「健保組合と共済組合に関しては、特定健診・保健指導や予防・健康づくり活動などに対するインセンティブの仕組みについては、国保の保険者努力支援制度に相当するものとして後期高齢者支援金の加算・減算制度が設けられている」 国保に関しては支援金もあるが、国保の努力者支援制度で 1000 億円を追加され、お金の貰える仕組みに代わるものとして支援金というのがある。支援金を払っているものに対して、健診保健指導率が達成できれば、加算・減算すると言っている。国保は結構たくさんのお金をもらっている。だから市町村の皆さんは結果を出さないといけない。

また、国保以外は健診保健指導率が評価になる。健診保健指導率を頑張れば加算されないという仕組み。そして協会けんぽは、「各都道府県支部の取り組みなどを県単位で保険料率に反映させる。特定健診保健指導の実施率、特定保健指導対象者の減少率に対する配点を引き上げ、保険料率の減算の対象となる都道府県支部が評価指標の獲得点上位 23 支部となっている仕組みを 15 支部に減少する」 と記されていが、もっと分かり易く次ページで確認する。

P3　協会けんぽにおけるインセンティブ制度の見直しについて（健保・共済・協会けんぽ）



現行と見直し後。配点割合が高くなっている。指標 1 の特定保健指導の実施率は 50 点から 70 点。前年度上昇幅で評価する。合計 250 点から 320 点と配点が大きくなり、上位 23 支部を減算対象から、上位 15 支部を減算対象にする。減算対象が減らされる。前年より高い点数であっても、15 番までに入らないと厳しい状況。協会けんぽはデータがなかなか見れないが、実は次のページを見ると・・・。

P4 令和 2 年度実績（確定値）偏差値及び順位

　協会けんぽ京都支部ホームページ掲載の各県のデータ。沖縄支部がどの位置なのか。協会けんぽの出し方は、1 つは偏差値と実施率で順位を出している。沖縄支部は上位に入る。まず偏差値は、特定健康診査の実施率、保健指導の実施率、特定保健指導対象者の減少率。これは受診勧奨をして医療に繋がれば特定保健指導から外れるから、重症化のために設けられている。国保は違う。国保はメタボの減少率。医療にかかっていてもメタボが減少しなければ、脳卒中や心疾患になることを踏まえると、メタボの減少が重要になってくる。次は医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率。病院に繋いだ率を見て、後発医薬品の使用割合はどうかを見ている。ここの偏差値で沖縄支部は、④医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率は 27 位。なかなか医療受診をしない人が多いという県民性があり厳しい。しかし何とかしなければいけない所である。

令和2年度実績（確定値）＜実施率及び順位＞　北海道支部～三重支部

支部名	①特定健診等の実施率 令和2年度実施率	順位	②特定保健指導の実施率 令和2年度実施率	順位	③特定保健指導対象者の減少率 令和2年度減少率	順位	④医療費適正化対策（糖尿病重症化予防）の医療費適正化率 令和2年度適正化率	順位	⑤後発医薬品の使用割合 令和2年度使用割合	順位	支部名
北海道	40.0%	43	9.8%	44	31.7%	35	9.2%	29	81.5%	15	北海道
青森	55.8%	21	17.6%	20	31.4%	45	9.2%	31	82.1%	9	青森
岩手	55.7%	22	14.5%	31	31.8%	43	9.0%	35	85.0%	2	岩手
宮城	58.5%	16	22.3%	11	31.0%	41	11.6%	6	83.1%	5	宮城
秋田	56.9%	19	24.4%	7	33.2%	12	9.0%	34	81.7%	12	秋田
山形	73.0%	1	22.7%	12	33.3%	10	10.8%	12	83.3%	4	山形
福島	53.1%	29	24.9%	6	33.5%	8	10.3%	17	81.8%	10	福島
茨城	52.3%	30	13.9%	35	31.7%	38	12.0%	4	78.8%	33	茨城
栃木	53.4%	26	23.5%	9	32.4%	27	10.5%	16	79.5%	27	栃木
群馬	51.2%	33	10.6%	43	31.7%	37	9.3%	28	80.3%	23	群馬
埼玉	43.0%	44	6.6%	47	31.8%	34	8.7%	42	79.8%	25	埼玉
千葉	40.0%	47	12.6%	38	31.4%	44	9.7%	23	80.1%	24	千葉
東京	47.2%	42	7.7%	46	32.4%	28	9.2%	32	78.4%	34	東京
神奈川	41.7%	46	8.9%	45	31.7%	36	10.2%	18	79.0%	30	神奈川
新潟	55.2%	3	17.5%	21	33.1%	13	11.1%	10	81.0%	14	新潟
富山	57.2%	2	27.6%	4	31.6%	39	15.3%	1	80.8%	19	富山
石川	51.1%	6	15.4%	28	31.0%	46	13.1%	3	79.5%	26	石川
福井	54.3%	11	17.0%	22	32.7%	22	12.9%	2	79.1%	29	福井
山梨	52.9%	5	16.2%	24	31.6%	42	10.6%	13	78.9%	31	山梨
長野	53.8%	9	18.7%	17	32.3%	29	9.9%	21	81.2%	16	長野
岐阜	56.6%	18	21.8%	13	33.2%	11	8.9%	37	77.9%	38	岐阜
静岡	54.6%	24	15.6%	27	33.5%	7	10.5%	15	80.4%	21	静岡
愛知	49.7%	38	11.2%	42	31.8%	33	9.8%	22	78.3%	35	愛知
三重	57.7%	13	14.4%	32	32.4%	26	9.6%	24	78.3%	36	三重

令和2年度実績（確定値）＜実施率及び順位＞　滋賀支部～沖縄支部

支部名	①特定健診等の実施率 令和2年度実施率	順位	②特定保健指導の実施率 令和2年度実施率	順位	③特定保健指導対象者の減少率 令和2年度減少率	順位	④医療費適正化対策（糖尿病重症化予防）の医療費適正化率 令和2年度適正化率	順位	⑤後発医薬品の使用割合 令和2年度使用割合	順位	支部名
滋賀	57.0%	14	19.8%	16	33.9%	5	10.0%	11	80.2%	22	滋賀
京都	55.9%	18	11.2%	41	33.7%	6	8.9%	39	76.1%	43	京都
大阪	42.2%	45	11.7%	39	32.9%	18	10.2%	19	76.4%	41	大阪
兵庫	49.1%	41	11.5%	40	32.6%	24	10.6%	14	78.9%	32	兵庫
奈良	50.1%	35	17.8%	19	35.1%	1	11.2%	9	74.0%	46	奈良
和歌山	49.8%	37	13.7%	36	34.8%	2	11.4%	7	74.8%	45	和歌山
鳥取	50.0%	36	15.8%	26	32.6%	23	9.4%	27	81.2%	17	鳥取
島根	64.8%	4	23.2%	10	32.8%	20	8.6%	43	82.7%	6	島根
岡山	56.0%	17	20.8%	3	31.6%	40	8.0%	47	78.2%	37	岡山
広島	53.3%	28	15.4%	29	31.8%	32	8.6%	44	77.9%	39	広島
山口	53.4%	27	17.8%	23	33.0%	17	8.4%	45	81.0%	13	山口
徳島	55.2%	23	20.3%	15	34.7%	3	10.0%	20	72.1%	47	徳島
香川	51.3%	32	29.[illegible]%	2	32.5%	26	8.8%	41	76.5%	40	香川
愛媛	58.7%	15	16.[illegible]%	25	32.2%	30	9.2%	46	76.4%	42	愛媛
高知	60.8%	8	14.2%	34	29.3%	47	9.2%	30	74.9%	44	高知
福岡	50.1%	34	14.3%	33	32.9%	19	12.0%	5	80.5%	20	福岡
佐賀	49.3%	39	17.9%	18	33.4%	9	9.0%	36	82.0%	8	佐賀
長崎	54.0%	25	21.6%	14	33.1%	15	9.1%	33	81.6%	12	長崎
熊本	57.9%	12	29.[illegible]%	1	32.8%	21	11.2%	8	81.7%	11	熊本
大分	61.0%	7	24.3%	8	33.1%	16	8.9%	38	79.3%	28	大分
宮崎	52.2%	31	14.4%	30	34.3%	4	8.9%	40	82.3%	7	宮崎
鹿児島	49.2%	40	12.6%	37	32.2%	31	9.6%	25	84.7%	3	鹿児島
沖縄	55.6%	20	25.9%	5	33.1%	14	9.6%	26	86.6%	1	沖縄
全国平均	50.9%	—	14.9%	—	32.4%	—	10.0%	—	79.5%	—	全国平均

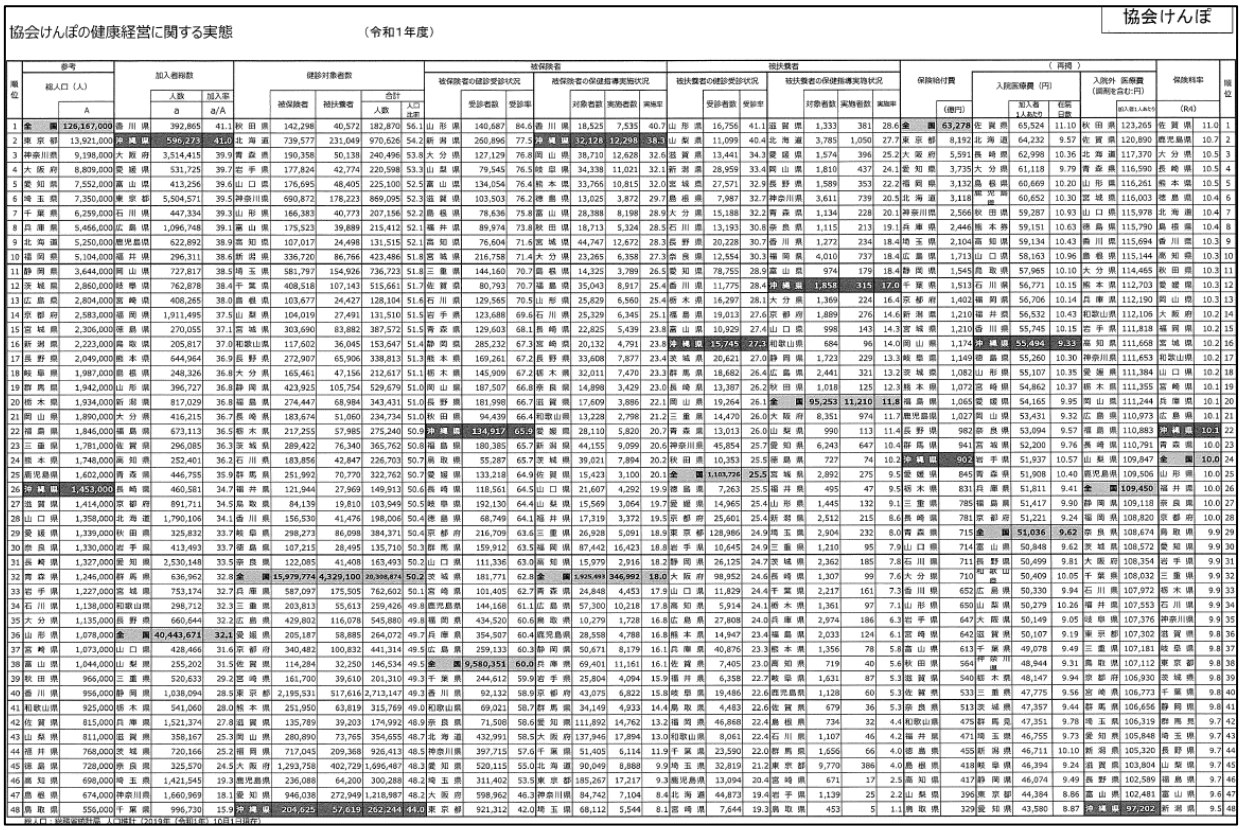
青森・秋田・鳥取けんぽ

P5 令和２年度実績（確定値）実施率及び順位

ここでも後発医薬品の実施率では沖縄支部１位。特定保健指導実施率５位。国保の保健指導実施率と比較すると低いが、協会けんぽは対象者が多く、また若い人たちは色々な問題を抱えている。

これが協会けんぽのインセンティブである。

P6　協会けんぽの健康経営に関する実態（協会けんぽ）



協会けんぽの健康経営に関する実態　（令和1年度）　協会けんぽ

順位	参考 総人口（人） A	加入者総数 人数 a	加入者総数 加入率 a/A	健診対象者数 被保険者	健診対象者数 被扶養者	健診対象者数 合計 人数	健診対象者数 合計 人口比率	被保険者の健診受診状況 受診者数	被保険者の健診受診状況 受診率	被保険者の保健指導実施状況 対象者数	被保険者の保健指導実施状況 実施者数	被保険者の保健指導実施状況 実施率	被扶養者の健診受診状況 受診者数	被扶養者の健診受診状況 受診率	被扶養者の保健指導実施状況 対象者数	被扶養者の保健指導実施状況 実施者数	被扶養者の保健指導実施状況 実施率	保険給付費（億円）	入院医療費（円）入院外 医療費（調剤を含む円）加入者1人あたり	入院医療費（円）入院外 医療費（調剤を含む円）在籍日数	保険料率（R4）	順位
1	全国 126,167,000	香川県 392,865	41.1	秋田県 142,298	40,572	182,870	56.1	山形県 140,687	84.6	香川県 18,525	7,535	40.7	山形県 16,756	41.1	福井県 1,333	381	28.6	全国 63,278	佐賀県 65,524	11.10	秋田県 123,265	佐賀県 11.0	1
2	東京都 13,921,000	沖縄県 596,273	41.0	北海道 739,577	231,049	970,626	54.2	新潟県 260,896	77.5	沖縄県 32,128	12,298	38.3	山梨県 11,099	40.4	北海道 3,785	1,050	27.7	東京都 8,192	北海道 64,232	9.57	佐賀県 120,890	鹿児島県 10.7	2
3	神奈川県 9,198,000	大阪府 3,514,415	39.9	青森県 190,358	50,138	240,496	53.8	大分県 127,129	76.8	岡山県 38,710	12,628	32.6	滋賀県 13,441	34.3	愛媛県 1,574	396	25.2	大阪府 5,591	長崎県 62,998	10.36	北海道 117,370	大分県 10.5	3
4	大阪府 8,809,000	愛媛県 531,725	39.7	岩手県 177,824	42,774	220,598	53.3	山口県 79,545	76.5	鳥取県 34,338	11,021	32.1	新潟県 28,959	33.4	岡山県 1,810	437	24.1	愛知県 3,735	大分県 61,118	9.79	青森県 116,590	長崎県 10.5	4
5	愛知県 7,552,000	高知県 413,256	39.6	山口県 176,695	48,405	225,100	52.5	高知県 134,054	76.4	栃木県 33,766	10,815	32.0	宮城県 27,571	32.9	長野県 1,589	353	22.2	福岡県 3,132	島根県 60,669	10.20	山形県 116,261	栃木県 10.5	5
6	埼玉県 7,350,000	東京都 5,504,571	39.5	神奈川県 690,872	178,223	869,095	52.3	滋賀県 103,503	76.2	徳島県 13,025	3,872	29.7	島根県 7,987	32.7	神奈川県 3,611	739	20.5	北海道 3,118	東京都 60,652	10.30	宮城県 116,003	徳島県 10.4	6
7	千葉県 6,259,000	石川県 447,334	39.3	山形県 166,383	40,773	207,156	52.2	島根県 78,636	75.8	高知県 28,388	8,198	28.9	大分県 15,188	32.2	青森県 1,134	228	20.1	神奈川県 2,566	秋田県 59,287	10.93	山口県 115,978	北海道 10.4	7
8	兵庫県 5,466,000	広島県 1,096,748	39.1	富山県 175,523	39,889	215,412	52.1	福井県 89,974	73.8	秋田県 18,713	5,324	28.5	石川県 13,193	30.8	奈良県 1,115	213	19.1	兵庫県 2,446	栃木県 59,151	10.63	徳島県 115,790	島根県 10.4	8
9	北海道 5,250,000	鹿児島県 622,892	38.9	高知県 107,017	24,498	131,515	52.1	高知県 76,604	71.6	宮城県 44,747	12,672	28.3	長野県 20,228	30.7	香川県 1,272	234	18.4	埼玉県 2,104	高知県 59,134	10.43	青森県 115,694	香川県 10.3	9
10	福岡県 5,104,000	福井県 296,311	38.6	新潟県 336,720	86,766	423,486	51.8	宮城県 216,758	71.4	大分県 23,265	6,358	27.3	奈良県 12,554	30.3	福岡県 4,010	737	18.4	広島県 1,713	山口県 58,163	10.96	島根県 115,144	高知県 10.3	10
11	静岡県 3,644,000	岡山県 727,817	38.5	埼玉県 581,797	154,926	736,723	51.8	三重県 144,160	70.7	鹿児島県 14,325	3,789	26.5	愛知県 78,755	28.9	高知県 974	179	18.4	静岡県 1,545	鳥取県 57,965	10.10	大分県 114,465	秋田県 10.3	11
12	茨城県 2,860,000	岐阜県 762,878	38.4	千葉県 408,518	107,143	515,661	51.7	佐賀県 80,793	70.7	鳥取県 35,043	8,917	25.4	香川県 11,775	28.4	沖縄県 1,858	315	17.0	千葉県 1,513	石川県 56,771	10.15	栃木県 112,703	愛媛県 10.3	12
13	広島県 2,804,000	宮崎県 408,265	38.0	島根県 103,677	24,427	128,104	51.6	石川県 129,565	70.5	山形県 25,829	6,560	25.4	栃木県 16,297	28.1	大分県 1,369	224	16.4	京都府 1,402	福岡県 56,706	10.14	兵庫県 112,190	岡山県 10.3	13
14	京都府 2,583,000	岡山県 1,911,495	37.5	山梨県 104,019	27,491	131,510	51.5	岩手県 123,688	69.6	石川県 25,329	6,345	25.1	福島県 19,013	27.6	京都府 1,889	276	14.6	新潟県 1,210	福井県 56,532	10.43	和歌山県 112,106	大阪府 10.2	14
15	宮城県 2,306,000	福島県 270,055	37.1	宮城県 303,690	83,882	387,572	51.5	青森県 129,603	68.1	長崎県 22,825	5,439	23.8	富山県 10,929	27.4	山口県 998	143	14.3	宮城県 1,210	香川県 55,745	10.15	岩手県 111,818	福岡県 10.2	15
16	新潟県 2,223,000	高取県 205,817	37.0	和歌山県 117,602	36,045	153,647	51.4	静岡県 285,232	67.3	宮崎県 20,132	4,791	23.8	沖縄県 15,745	27.3	和歌山県 684	96	14.0	岡山県 1,174	沖縄県 55,494	9.33	福知県 111,668	宮城県 10.2	16
17	長野県 2,049,000	熊本県 644,964	36.9	長野県 272,907	65,906	338,813	51.3	熊本県 169,261	67.2	長野県 33,608	7,877	23.4	茨城県 20,621	27.0	静岡県 1,723	229	13.3	鳥取県 1,149	徳島県 55,260	10.30	神奈川県 111,653	和歌山県 10.2	17
18	岐阜県 1,987,000	栃木県 248,326	36.8	大分県 165,461	47,156	212,617	51.1	栃木県 145,909	67.2	栃木県 32,011	7,470	23.3	群馬県 18,682	26.4	広島県 2,441	321	13.2	茨城県 1,082	山形県 55,107	10.35	愛媛県 111,384	山口県 10.2	18
19	群馬県 1,942,000	山形県 396,727	36.8	静岡県 423,925	105,754	529,679	51.0	岡山県 187,507	66.8	新潟県 14,898	3,429	23.0	長崎県 13,387	26.2	秋田県 1,018	125	12.3	栃木県 1,072	宮崎県 54,862	10.37	栃木県 111,355	宮崎県 10.1	19
20	栃木県 1,934,000	新潟県 817,029	36.8	福島県 274,447	68,984	343,431	51.0	長野県 181,998	66.7	群馬県 17,609	3,886	22.1	岡山県 19,264	26.1	全国 95,253	11,210	11.8	福島県 1,065	愛媛県 54,165	9.95	岡山県 111,244	兵庫県 10.1	20
21	岡山県 1,890,000	大分県 416,215	36.7	長崎県 183,674	51,060	234,734	51.0	秋田県 94,439	66.4	和歌山県 13,228	2,798	21.2	三重県 14,470	26.0	大阪府 8,351	974	11.7	鹿児島県 1,027	岡山県 53,431	9.32	広島県 110,973	広島県 10.1	21
22	福島県 1,846,000	福島県 673,113	36.5	栃木県 217,255	57,985	275,240	50.9	沖縄県 114,917	65.0	愛媛県 28,110	5,820	20.7	青森県 13,013	26.0	山梨県 990	113	11.4	長野県 982	奈良県 53,094	9.57	福島県 110,883	沖縄県 10.1	22
23	三重県 1,781,000	佐賀県 296,085	36.3	茨城県 289,422	76,340	365,762	50.8	福島県 180,385	65.7	新潟県 44,155	9,099	20.6	神奈川県 45,854	25.7	愛知県 6,243	647	10.4	群馬県 941	宮城県 52,200	9.76	長崎県 110,791	青森県 10.0	23
24	熊本県 1,748,000	長崎県 252,401	36.2	石川県 183,856	42,847	226,703	50.7	鳥取県 55,287	65.7	茨城県 39,021	7,894	20.2	秋田県 10,353	25.5	徳島県 727	74	10.2	沖縄県 902	岩手県 51,937	10.57	山梨県 109,847	全国 10.0	24
25	鹿児島県 1,602,000	青森県 446,755	35.9	群馬県 251,992	70,770	322,762	50.7	愛媛県 133,218	64.9	佐賀県 15,423	3,100	20.1	全国 1,103,726	25.5	宮城県 2,892	275	9.5	愛媛県 845	青森県 51,908	10.40	鹿児島県 109,506	山形県 10.0	25
26	沖縄県 1,453,000	長崎県 460,581	34.7	福井県 121,944	27,969	149,913	50.6	長崎県 118,561	64.5	山口県 21,607	4,292	19.9	徳島県 7,263	25.5	福井県 495	47	9.5	栃木県 831	兵庫県 51,811	9.41	全国 109,450	福井県 10.0	26
27	滋賀県 1,414,000	京都府 891,711	34.5	島取県 84,139	19,810	103,949	50.5	岐阜県 192,130	64.4	山梨県 15,569	3,064	19.7	愛媛県 14,965	25.4	山形県 1,445	132	9.1	三重県 785	福島県 51,417	9.30	静岡県 109,118	奈良県 10.0	27
28	山口県 1,358,000	北海道 1,790,106	34.1	香川県 156,530	41,476	198,006	50.4	徳島県 68,749	64.1	福井県 17,319	3,372	19.5	京都府 25,601	25.4	新潟県 2,512	215	8.6	長崎県 781	京都府 51,221	9.24	鳥取県 108,820	京都府 10.0	28
29	愛媛県 1,339,000	秋田県 325,832	33.7	岐阜県 298,273	86,098	384,371	50.4	京都府 216,709	63.6	三重県 26,928	5,091	18.9	東京都 128,986	24.9	埼玉県 2,904	232	8.0	青森県 715	全国 51,036	9.62	奈良県 108,674	鳥取県 9.9	29
30	奈良県 1,330,000	岩手県 413,493	33.7	徳島県 107,215	28,495	135,710	50.3	群馬県 159,912	63.5	鳥取県 87,442	16,423	18.8	岩手県 10,645	24.9	三重県 1,210	95	7.9	山口県 714	富山県 50,848	9.62	茨城県 108,572	愛知県 9.9	30
31	長崎県 1,327,000	愛知県 2,530,148	33.5	奈良県 122,085	41,408	163,493	50.2	山口県 111,336	63.0	高知県 15,979	2,916	18.2	静岡県 26,125	24.7	茨城県 2,362	185	7.8	石川県 711	長野県 50,499	9.81	大阪府 108,354	岩手県 9.9	31
32	青森県 1,246,000	群馬県 636,962	32.8	全国 15,979,774	4,329,100	20,308,874	50.2	茨城県 181,771	62.8	全国 1,925,493	346,992	18.0	大阪府 98,952	24.6	長崎県 1,307	99	7.6	大分県 710	和歌山県 50,409	10.05	千葉県 108,032	三重県 9.9	32
33	岩手県 1,227,000	茨城県 753,174	32.7	兵庫県 587,097	175,505	762,602	50.1	宮崎県 101,405	62.7	青森県 24,848	4,453	17.9	山口県 11,829	24.4	千葉県 2,217	161	7.3	香川県 652	広島県 50,330	9.94	石川県 107,972	栃木県 9.9	33
34	石川県 1,138,000	和歌山県 298,712	32.3	三重県 203,813	55,613	259,426	49.8	鹿児島県 144,168	61.1	広島県 57,300	10,218	17.8	高知県 5,914	24.1	栃木県 1,361	97	7.1	山形県 650	山梨県 50,279	10.26	福井県 107,553	石川県 9.9	34
35	大分県 1,135,000	長野県 660,644	32.2	広島県 429,802	116,078	545,880	49.8	福岡県 434,520	60.6	熊本県 10,279	1,728	16.8	広島県 27,808	24.0	兵庫県 2,974	186	6.3	岩手県 647	大阪府 50,149	9.05	岐阜県 107,376	神奈川県 9.9	35
36	山形県 1,078,000	全国 40,443,671	32.1	愛媛県 205,187	58,885	264,072	49.7	兵庫県 354,507	60.4	鹿児島県 28,558	4,788	16.8	熊本県 14,947	23.4	福島県 2,033	124	6.1	宮崎県 642	滋賀県 50,107	9.19	東京都 107,302	滋賀県 9.9	36
37	宮崎県 1,073,000	山口県 428,466	31.6	京都府 340,482	100,832	441,314	49.5	広島県 259,133	60.3	静岡県 50,671	8,179	16.1	兵庫県 40,876	23.3	熊本県 1,356	78	5.8	富山県 613	千葉県 49,078	9.49	三重県 107,181	岐阜県 9.8	37
38	富山県 1,044,000	山梨県 255,202	31.5	佐賀県 114,284	32,250	146,534	49.5	全国 9,580,351	60.0	兵庫県 69,401	11,161	16.1	佐賀県 7,405	23.0	高知県 719	40	5.6	秋田県 564	神奈川県 48,944	9.31	鳥取県 107,112	東京都 9.8	38
39	秋田県 966,000	三重県 520,633	29.2	宮崎県 161,700	39,610	201,310	49.3	千葉県 244,612	59.9	岩手県 25,804	4,094	15.9	福井県 6,358	22.7	岐阜県 1,631	87	5.3	滋賀県 540	栃木県 48,147	9.94	京都府 106,930	茨城県 9.8	39
40	香川県 956,000	静岡県 1,038,094	28.5	東京都 2,195,531	517,616	2,713,147	49.3	香川県 92,132	58.9	京都府 43,075	6,822	15.8	岐阜県 19,486	22.6	鹿児島県 1,128	60	5.3	佐賀県 533	三重県 47,775	9.56	宮崎県 106,773	千葉県 9.8	40
41	和歌山県 925,000	栃木県 541,060	28.0	栃木県 251,950	63,819	315,769	49.0	和歌山県 69,021	58.7	群馬県 34,149	4,933	14.4	鳥取県 4,483	22.6	佐賀県 679	36	5.3	奈良県 513	茨城県 47,357	9.44	群馬県 106,656	群馬県 9.8	41
42	佐賀県 815,000	兵庫県 1,521,374	27.8	滋賀県 135,789	39,203	174,992	48.9	奈良県 71,508	58.6	愛知県 111,892	14,762	13.2	福岡県 46,868	22.4	島根県 734	32	4.4	和歌山県 475	群馬県 47,351	9.78	埼玉県 106,319	群馬県 9.7	42
43	山梨県 811,000	滋賀県 358,167	25.3	岡山県 280,890	73,765	354,655	48.7	北海道 432,991	58.5	大阪府 137,946	17,894	13.0	和歌山県 8,061	22.4	石川県 1,107	46	4.2	福井県 471	埼玉県 46,755	9.73	愛知県 105,848	埼玉県 9.7	43
44	福井県 768,000	茨城県 720,166	25.2	福岡県 717,045	209,368	926,413	48.5	神奈川県 397,715	57.6	千葉県 51,405	6,114	11.9	千葉県 23,590	22.0	群馬県 1,656	66	4.0	徳島県 455	新潟県 46,711	10.10	新潟県 105,320	長野県 9.7	44
45	徳島県 728,000	奈良県 325,570	24.5	大阪府 1,293,758	402,729	1,696,487	48.3	愛知県 520,115	55.0	北海道 90,049	8,888	9.9	埼玉県 32,819	21.2	東京都 9,770	386	4.0	島根県 418	鳥取県 46,394	9.24	滋賀県 103,804	山梨県 9.7	45
46	高知県 698,000	埼玉県 1,421,545	19.3	鹿児島県 236,088	64,200	300,288	48.2	埼玉県 311,402	53.5	東京都 185,267	17,217	9.3	鹿児島県 13,094	20.4	宮崎県 671	17	2.5	高知県 417	静岡県 46,074	9.49	長野県 102,589	福島県 9.7	46
47	島根県 674,000	神奈川県 1,660,969	18.1	愛知県 946,038	272,949	1,218,987	48.2	大阪府 598,962	46.3	神奈川県 84,742	7,104	8.4	北海道 44,873	19.4	佐賀県 1,139	25	2.2	山梨県 396	鹿児島県 44,384	8.86	富山県 102,481	富山県 9.6	47
48	鳥取県 559,000	千葉県 996,730	15.9	沖縄県 204,025	57,619	262,244	44.0	東京都 921,312	42.0	埼玉県 68,112	5,544	8.1	宮崎県 7,644	19.3	鳥取県 453	5	1.1	鳥取県 329	愛知県 43,580	8.87	沖縄県 97,202	新潟県 9.5	48

※人口：総務省統計局　人口推計（2019年（令和1年）10月1日現在）

協会けんぽの状況を見るためホームページからデータを整理した。健康増進法は全年齢が対象であるから、これからは

市町村でも協会けんぽの問題を一緒に考えなければいけない状況が起こりうるかもしれない。医療費適正化で考えたとき加入者の状況を見てみると、加入者総数は 1 位香川県 41.1%、沖縄県は 2 位 41%。最下位の千葉県は 15.9%ですごい差である。健診対象者数、被保険者の状況、被扶養者の状況がある。被扶養者の受診率が低いことは前々から言ってきたが、都道府県比較をすると沖縄県は全国平均より高い。そして保険給付費の中の入院費用と入院外を見たとき、沖縄県市町村国保と似ている。入院医療費、重症化して医療にかかっている。入院外医療費は全国最下位。そして保険料率も全国平均より高い状況。協会けんぽの保険料は事業主との折半だが、国保は自分で払う。退職し国保になった後、保険料が高い事にびっくりする。事業主が払っていたことを知らない人が意外と多い。保険料のことを理解することも重要である。

P7 保健衛生ニュース 厚労省、都道府県別の 4 年度獲得点数などの集計（国保）

国保

令和4(2022)年3月28日 第2153号 週刊 保健衛生ニュース 第三種郵便物認可

厚労省、都道府県別の4年度獲得点数など集計

一人あたり交付見込み額3790円

国保の保険者努力支援制度

厚生労働省は、都道府県と市町村を対象とした国保の保険者努力支援制度による保険者インセンティブについて、取組み評価分1000億円の令和4年度獲得点と交付見込み額（4年度確定係数ベースの速報値）の状況を都道府県別にまとめた。4年度には、都道府県分に500億円程度、市町村分に500億円程度を配分する。一人あたり交付見込み額は都道府県分と市町村分の合計の全国平均が3790円で、被保険者数の減少により前年度に比べ60円増加している。都道府県ごとの一人あたり交付見込み額で、最も多い山形は5563円、最も少ない東京は2226円で、両都県の差は3337円。全体的には満点に占める獲得点が増加しており、厚労省は各自治体で取組みを強化している傾向がうかがえるとしている。

保険者努力支援制度の本格実施5年目に当たる4年度には、取組み評価分の1000億円に加え、事業費補助などに500億円を確保し、国保保険者による予防・健康づくりを強力に後押しすることになっている。取組み評価分の1000億円は、評価指標ごとの獲得点と被保険者数に応じて配分される。

厚労省は取組み評価分について、都道府県・市町村が予算編成に反映できるよう、先行して交付見込み額を示している。今回は昨年末に通知した確定係数をベースに、4年度の獲得点と一人あたり交付見込み額を都道府県ごとに集計した。

国保被保険者数の減で一人あたりは年々増加

厚労省の4年度分の集計によると、都道府県分（305点満点）の平均獲得点は173点で、満点に占める割合は56・7%となり、前年度に比べ4ポイント上昇した。一人あたり交付見込み額は1895円。市町村分（960点満点）の平均獲得点は564・9点で、満点に占める割合は58・8%となり、同3・2ポイント上昇した。いずれも平均的には取組みが進展している。

都道府県分＋市町村分の一人あたり交付見込み額は平均3790円で、前年度に比べ60円増加している。国保への国庫補助・負担金は給付費等に連動する形が多い中、保険者努力支援制度は1000億円の定額補助が維持されている貴重な財政支援となっている。少子高齢化などの影響で国保被保険者数は減少傾向にあるため、一人あたり交付額は平成30年度3287円、令和元年度3470円、2年度3618円、3年度3730円、4年度3790円と年々上昇している。

都道府県別に4年度の一人あたり交付見込み額（都道府県＋市町村）をみると、最も多いのは山形の5563円、最も少ないのは東京の2226円で、両都県の間には3337円の格差がある。都道府県間の最大格差は前年度の3033円から304円拡大した。

保険者努力支援制度の4年度評価指標については、基本的には3年度指標を踏襲する一方、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた評価対象年度・配点等の見直しや、法定外繰入等の解消や保険料水準の統一、特定健診の未受診者対策など、最近の課題に対応した指標・配点の見直し

令和4(2022)年3月28日 第2153号 週刊 保健衛生ニュース 第三種郵便物認可

（新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業の工夫）ポピュレーションアプローチの工夫

通いの場等における基本的な感染症対策の徹底

- 体調不良者の参加は控えてもらう呼び、消毒の徹底、マスクの着用等感染症対策を実施。（青森県板柳町）
- 講座等に伴う相談の待合時間を1時間以内とした。（秋田県由利本荘市）
- 定期的に通いの場を訪問し、基本的な感染症対策を徹底して実施しているか等、確認した。地域勉強している。（埼玉県鴻巣市）
- 感染症対策について参加者に説明し、参加者自身にも感染症対策の協力を呼びかけた。（神奈川県藤沢市）
- 会食に関係できるように部屋の広さや空調、換気など検討し、昼食の提供対策について地域団体役員と事前打ち合わせを行っている。（京都府八幡市）

専門職等の工夫

- 先進地内の図書館やコミュニティ施設等の生涯学習に専門職を派遣し、相談会を実施する体制を検討した。（埼玉県ふじみ野市）
- コンビニエイトインスペース（ミニ薬局）や薬局の待合など住民が日常的に集まる場に出向き疾病予防やフレイル調査などを協力実施を行っている。（千葉県松戸市）
- ワクチン接種会場の待ち時間や待ち順診実施時に、短時間の説明を行い、フレイル予防の重要性を伝えた。（東京都青梅市）
- ワクチン接種会場で健診受診勧奨の個別を行った。（大分県竹田市）
- ワクチン接種会場で後期高齢者の個別勧奨を利用した聞き取りや健診受診勧奨を実施した。（神奈川県金沢市）

実施方法の工夫

- 健康講座をインターネット配信でも1つの選択肢にも発信できるようにし、1講好で2会場の同時後に配信できるよう工夫を行った。（北海道枝幸町）
- 介護予防の筋トレを理学療法士が解説した動画を作成し、町ホームページにアップ。動画のQRコードの入ったチラシを配布した。（埼玉県長瀞町）
- モデル地区に通信機能付きのタブレットを貸与し、自宅でオンラインによるヨガを開催。（石川県小松市）
- 遠いので地区は点在している期間中には認知症アセスメントとする各と医師による訪問を通して、健康状態の把握を実施。（宮崎県日之影町）
- マスク着用で声が聞き取りづらい高齢者のために視覚障害者の工夫を図るとして実施した（特に口腔指導）。（鹿児島県鹿児島市）
- 緊急事態宣言の期間中、後期高齢者の質問票を送付し返送してもらい、健康状態の把握と電話による状況確認を行った。（鹿児島県日置市）
- オンライン会議システム等を活用し、遠いの市の会場と講好いる会場をつないで遠隔指導を実施。（沖縄県宜蓋数村）

（新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業の工夫）ハイリスクアプローチの工夫

個別相談等における基本的な感染症対策の徹底

- 訪問指導は訪問時間を15分以内を目標とし、玄関先で距離を確保した状態で行った。（岩手県盛岡市）
- 通知や電話等を活用した非接触による支援のほか、対面の場合にはパーテーションを使用する等基本的感染対策を徹底し実施している。（埼玉県鴻巣市）
- 訪問する スタッフには感染予防を徹底していただき、対象者宅で通知にはその旨を記載した。（神奈川県川崎市）
- 訪問前には事前電話で約束し、体調の事前確認等を実施した。対象者が訪問を望まない場合や緊急事態宣言期間は訪問を中止し、電話相談に切り替えて対応した。（神奈川県大和市）
- 口頭ケアについては、飲食指導を中止し実施している。（広島県大竹市）
- 訪問にはフェイスシールド、マスクをつけて、手指消毒を行い、対象者に不快感を与えないよう対応している。（愛媛県小松市）

実施場所の工夫

- 希望者に対しオンライン会議システム等を活用したオンライン指導の準備を進めている。（北海道江別市）
- 原則、訪問としていたが、参加者の希望に応じて、保健センターや地域包括支援センターでの面接や電話対応も行った。（千葉県八千代市）
- 自宅訪問以外に公共団体等での保健指導を実施している。（東京都練馬区）

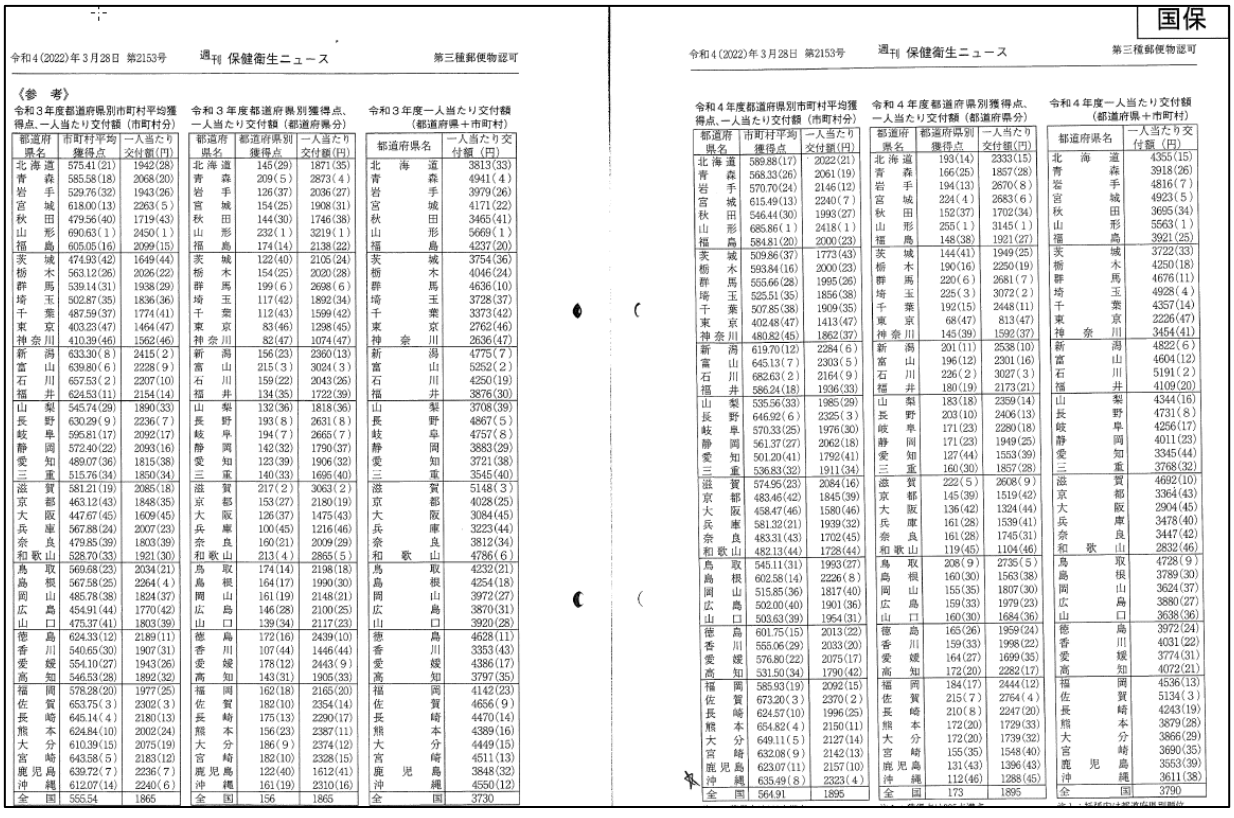
実施方法の工夫

- 健康状態不明者への全庁において、個別訪問は最先順位をつけて対応し、他は郵送での対応とした。（栃木県那須烏山市）
- 事前訪問の様子、母便による実態把握を行うことができるよう、次年度手帳に郵送料を要求した。（群馬県大泉町）
- 事前庁の実態を受け付ける自身・医療受診自身をしやすい後期高齢者の特徴を踏まえ、感染症対策に配慮し訪問を計画通り実施。訪問時には、筋力低下等のフレイル状況の確認や保健指導、介護予防教室の案内等をした。（千葉県習志野市）
- 電話による栄養相談を実施した。（神奈川県伊勢原市）
- 難聴者には、筆談や、口が見えるようにフェイスシールドを使用した。（岩手県田野畑村）

努力者支援制度予防のため、一人当たりの交付見込み額 3,790 円であった。3 段目、「国保被保険者数の減で一人当たりは年々増加」とある。内容はそれぞれで読むこと。そして右側は新型コロナウイルス感染症を踏まえたポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチの工夫を示している。ここでも点数が獲れるので、文章での表現の仕方に工夫が必要になる。例えば個別相談のところ、「訪問指導は訪問時間を、15 分以内を目標とし、玄関先で距離を確保した状態で行った。」 皆さんもきっと行っている。きちんと文章を読んで、どのようにしたら点数が獲得できるのか、というチェック機能の役割はリーダーに欠かせないところである。

獲得できた点数は最終的に医療費の評価になってくる。国保は被保険者が減り一人当たりも上がってる。

P8　保健衛生ニュース〈参考〉令和３年度･４年度１人当たり交付額（国保）



令和4(2022)年3月28日　第2153号　週刊 保健衛生ニュース　第三種郵便物認可

《参　考》

令和3年度都道府県別市町村平均獲得点、一人当たり交付額（市町村分）

都道府県名	市町村平均獲得点	一人当たり交付額(円)
北海道	575.41(21)	1942(28)
青森	585.58(18)	2068(20)
岩手	529.76(32)	1943(26)
宮城	618.00(13)	2263(5)
秋田	479.56(40)	1719(43)
山形	690.63(1)	2450(1)
福島	605.05(16)	2099(15)
茨城	474.93(42)	1649(44)
栃木	563.12(26)	2026(22)
群馬	539.14(31)	1938(29)
埼玉	502.87(35)	1836(36)
千葉	487.59(37)	1774(41)
東京	403.23(47)	1464(47)
神奈川	410.39(46)	1562(46)
新潟	633.30(8)	2415(2)
富山	639.80(6)	2228(9)
石川	657.53(2)	2207(10)
福井	624.53(11)	2154(14)
山梨	545.74(29)	1890(33)
長野	630.29(9)	2236(7)
岐阜	595.81(17)	2092(17)
静岡	572.40(22)	2093(16)
愛知	489.07(36)	1815(38)
三重	515.76(34)	1850(34)
滋賀	581.21(19)	2085(18)
京都	463.12(43)	1848(35)
大阪	447.67(45)	1609(45)
兵庫	567.88(24)	2007(23)
奈良	479.85(39)	1803(39)
和歌山	528.70(33)	1921(30)
鳥取	569.68(23)	2034(21)
島根	567.58(25)	2264(4)
岡山	485.78(38)	1824(37)
広島	454.91(44)	1770(42)
山口	475.37(41)	1803(39)
徳島	624.33(12)	2189(11)
香川	540.65(30)	1907(31)
愛媛	554.10(27)	1943(26)
高知	546.53(28)	1892(32)
福岡	578.28(20)	1977(25)
佐賀	653.75(3)	2302(3)
長崎	645.14(4)	2180(13)
熊本	624.84(10)	2002(24)
大分	610.39(15)	2075(19)
宮崎	643.58(5)	2183(12)
鹿児島	639.72(7)	2236(7)
沖縄	612.07(14)	2240(6)
全国	555.54	1865

令和3年度都道府県別獲得点、一人当たり交付額（都道府県分）

都道府県名	都道府県別獲得点	一人当たり交付額(円)
北海道	145(29)	1871(35)
青森	209(5)	2873(4)
岩手	126(37)	2036(27)
宮城	154(25)	1908(31)
秋田	144(30)	1746(38)
山形	232(1)	3219(1)
福島	174(14)	2138(22)
茨城	122(40)	2105(24)
栃木	154(25)	2020(28)
群馬	199(6)	2698(6)
埼玉	117(42)	1892(34)
千葉	112(43)	1599(42)
東京	83(46)	1298(45)
神奈川	82(47)	1074(47)
新潟	156(23)	2360(13)
富山	215(3)	3024(3)
石川	159(22)	2043(26)
福井	134(35)	1722(39)
山梨	132(36)	1818(36)
長野	193(8)	2631(8)
岐阜	194(7)	2665(7)
静岡	142(32)	1790(37)
愛知	123(39)	1906(32)
三重	140(33)	1695(40)
滋賀	217(2)	3063(2)
京都	153(27)	2180(19)
大阪	126(37)	1475(43)
兵庫	100(45)	1216(46)
奈良	160(21)	2009(29)
和歌山	213(4)	2865(5)
鳥取	174(14)	2198(18)
島根	164(17)	1990(30)
岡山	161(19)	2148(21)
広島	146(28)	2100(25)
山口	139(34)	2117(23)
徳島	172(16)	2439(10)
香川	107(44)	1446(44)
愛媛	178(12)	2443(9)
高知	143(31)	1905(33)
福岡	162(18)	2165(20)
佐賀	182(10)	2354(14)
長崎	175(13)	2290(17)
熊本	156(23)	2387(11)
大分	186(9)	2374(12)
宮崎	182(10)	2328(15)
鹿児島	122(40)	1612(41)
沖縄	161(19)	2310(16)
全国	156	1865

令和3年度一人当たり交付額（都道府県＋市町村）

都道府県名	一人当たり交付額(円)
北海道	3813(33)
青森	4941(4)
岩手	3979(26)
宮城	4171(22)
秋田	3465(41)
山形	5669(1)
福島	4237(20)
茨城	3754(36)
栃木	4046(24)
群馬	4636(10)
埼玉	3728(37)
千葉	3373(42)
東京	2762(46)
神奈川	2636(47)
新潟	4775(7)
富山	5252(2)
石川	4250(19)
福井	3876(30)
山梨	3708(39)
長野	4867(5)
岐阜	4757(8)
静岡	3883(29)
愛知	3721(38)
三重	3545(40)
滋賀	5148(3)
京都	4028(25)
大阪	3084(45)
兵庫	3223(44)
奈良	3812(34)
和歌山	4786(6)
鳥取	4232(21)
島根	4254(18)
岡山	3972(27)
広島	3870(31)
山口	3920(28)
徳島	4628(11)
香川	3353(43)
愛媛	4386(17)
高知	3797(35)
福岡	4142(23)
佐賀	4656(9)
長崎	4470(14)
熊本	4389(16)
大分	4449(15)
宮崎	4511(13)
鹿児島	3848(32)
沖縄	4550(12)
全国	3730

国保

令和4(2022)年3月28日　第2153号　週刊 保健衛生ニュース　第三種郵便物認可

令和4年度都道府県別市町村平均獲得点、一人当たり交付額（市町村分）

都道府県名	市町村平均獲得点	一人当たり交付額(円)
北海道	589.88(17)	2022(21)
青森	568.33(26)	2061(19)
岩手	570.70(24)	2146(12)
宮城	615.49(13)	2240(7)
秋田	546.44(30)	1993(27)
山形	685.86(1)	2418(1)
福島	584.81(20)	2000(23)
茨城	509.86(37)	1773(43)
栃木	593.84(16)	2000(23)
群馬	555.66(28)	1995(26)
埼玉	525.51(35)	1856(38)
千葉	507.85(38)	1909(35)
東京	402.48(47)	1413(47)
神奈川	480.82(45)	1862(37)
新潟	619.70(12)	2284(6)
富山	645.13(7)	2303(5)
石川	682.63(2)	2164(9)
福井	586.24(18)	1936(33)
山梨	535.56(33)	1985(29)
長野	646.92(6)	2325(3)
岐阜	570.33(25)	1976(30)
静岡	561.37(27)	2062(18)
愛知	501.20(41)	1792(41)
三重	536.83(32)	1911(34)
滋賀	574.95(23)	2084(16)
京都	483.46(42)	1845(39)
大阪	458.47(46)	1580(46)
兵庫	581.32(21)	1939(32)
奈良	483.31(43)	1702(45)
和歌山	482.13(44)	1728(44)
鳥取	545.11(31)	1993(27)
島根	602.58(14)	2226(8)
岡山	515.85(36)	1817(40)
広島	502.00(40)	1901(36)
山口	503.63(39)	1954(31)
徳島	601.75(15)	2013(22)
香川	555.06(29)	2033(20)
愛媛	576.80(22)	2075(17)
高知	531.50(34)	1790(42)
福岡	585.93(19)	2092(15)
佐賀	673.20(3)	2370(2)
長崎	624.57(10)	1996(25)
熊本	654.82(4)	2150(11)
大分	649.11(5)	2127(14)
宮崎	632.08(9)	2142(13)
鹿児島	623.07(11)	2157(10)
沖縄	635.49(8)	2323(4)
全国	564.91	1895

令和4年度都道府県別獲得点、一人当たり交付額（都道府県分）

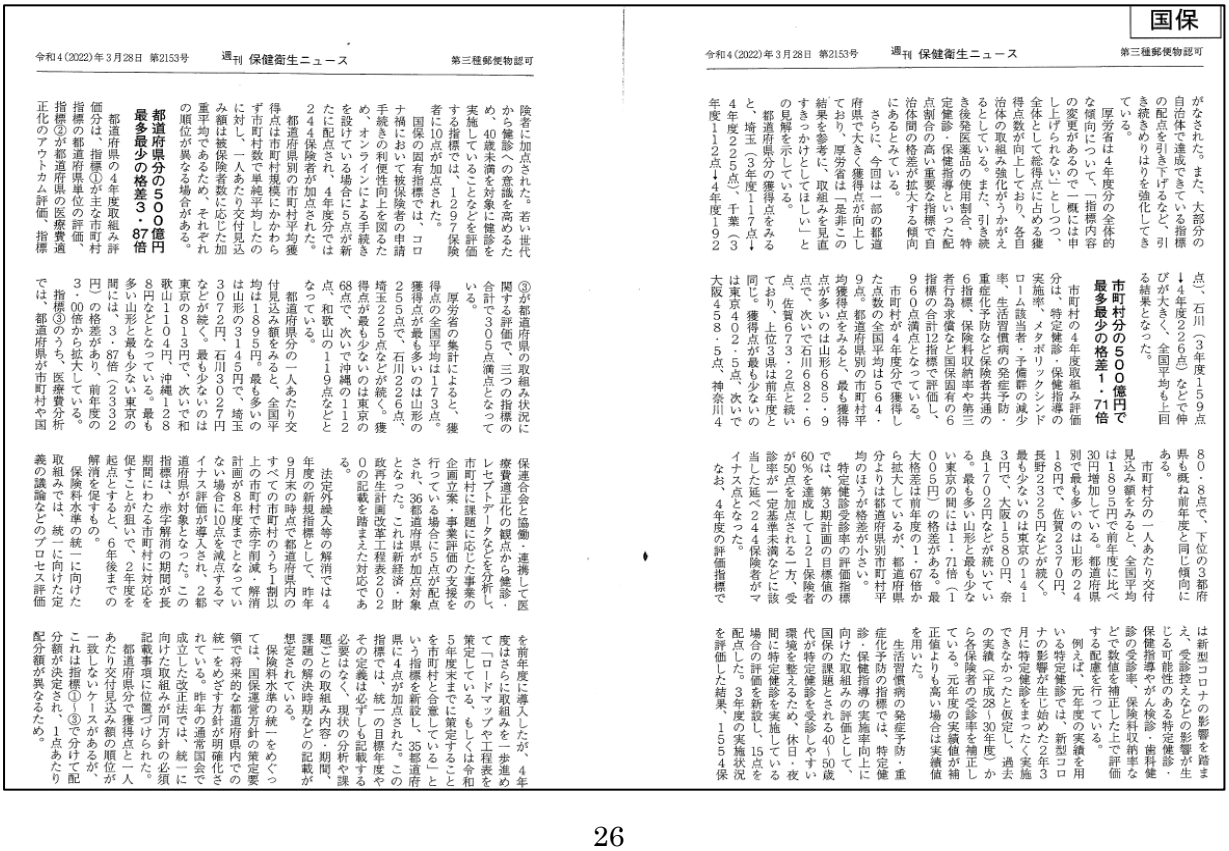
都道府県名	都道府県別獲得点	一人当たり交付額(円)
北海道	193(14)	2333(15)
青森	166(25)	1857(28)
岩手	194(13)	2670(8)
宮城	224(4)	2683(6)
秋田	152(37)	1702(34)
山形	255(1)	3145(1)
福島	148(38)	1921(27)
茨城	144(41)	1949(25)
栃木	190(16)	2250(19)
群馬	220(6)	2681(7)
埼玉	225(3)	3072(2)
千葉	192(15)	2448(11)
東京	68(47)	813(47)
神奈川	145(39)	1592(37)
新潟	201(11)	2538(10)
富山	196(12)	2301(16)
石川	226(2)	3027(3)
福井	180(19)	2173(21)
山梨	183(18)	2359(14)
長野	203(10)	2406(13)
岐阜	171(23)	2280(18)
静岡	171(23)	1949(25)
愛知	127(44)	1553(39)
三重	160(30)	1857(28)
滋賀	222(5)	2608(9)
京都	145(39)	1519(42)
大阪	136(42)	1324(44)
兵庫	161(28)	1539(41)
奈良	161(28)	1745(31)
和歌山	119(45)	1104(46)
鳥取	208(9)	2735(5)
島根	160(30)	1563(38)
岡山	155(35)	1807(30)
広島	159(33)	1979(23)
山口	160(30)	1684(36)
徳島	165(26)	1959(24)
香川	159(33)	1998(22)
愛媛	164(27)	1699(35)
高知	172(20)	2282(17)
福岡	184(17)	2444(12)
佐賀	215(7)	2764(4)
長崎	210(8)	2247(20)
熊本	172(20)	1729(33)
大分	172(20)	1739(32)
宮崎	155(35)	1548(40)
鹿児島	131(43)	1396(43)
沖縄	112(46)	1288(45)
全国	173	1895

令和4年度一人当たり交付額（都道府県＋市町村）

都道府県名	一人当たり交付額(円)
北海道	4355(15)
青森	3918(26)
岩手	4816(7)
宮城	4923(5)
秋田	3695(34)
山形	5563(1)
福島	3921(25)
茨城	3722(33)
栃木	4250(18)
群馬	4676(11)
埼玉	4928(4)
千葉	4357(14)
東京	2226(47)
神奈川	3454(41)
新潟	4822(6)
富山	4604(12)
石川	5191(2)
福井	4109(20)
山梨	4344(16)
長野	4731(8)
岐阜	4256(17)
静岡	4011(23)
愛知	3345(44)
三重	3768(32)
滋賀	4692(10)
京都	3364(43)
大阪	2904(45)
兵庫	3478(40)
奈良	3447(42)
和歌山	2832(46)
鳥取	4728(9)
島根	3789(30)
岡山	3624(37)
広島	3880(27)
山口	3638(36)
徳島	3972(24)
香川	4031(22)
愛媛	3774(31)
高知	4072(21)
福岡	4536(13)
佐賀	5134(3)
長崎	4243(19)
熊本	3879(28)
大分	3866(29)
宮崎	3690(35)
鹿児島	3553(39)
沖縄	3611(38)
全国	3790

県分が市町村分を合算したものになる。R3 年度合算分沖縄県は 12 位。R4 年度では、市町村分は全国 4 位の上位だが、県分 45 位とガクッと落ちる。しかしこれは県だけでできるものではない。市町村がきちんとしなければ獲得できないという仕組みであるので、だから今後考えていかなければならないというデータである。

P9　保健衛生ニュース（国保）



国保

令和4(2022)年3月28日　第2153号　週刊 保健衛生ニュース　第三種郵便物認可

市町村分の500億円で最多最少の格差1・71倍

市町村の4年度取組み評価分は、特定健診・保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率、生活習慣病の発症予防・重症化予防など保険者共通の6指標、保険料収納率の第三者行為求償など国保固有の6指標の合計12指標で評価し、点数の全国平均は564・9点。都道府県別の市町村平均獲得点をみると、最も獲得点が多いのは山川685・9点で、次いで石川682・6点、佐賀673・2点と続いており、上位3県は前年度と同じ。獲得点が最も少ないのは東京402・5点、次いで大阪458・5点、神奈川480・8点で、下位の3都府県も概ね前年度と同じ傾向にある。

市町村分の一人あたり交付見込み額をみると、全国平均は1895円で前年度に比べ30円増加している。都道府県別で最も多いのは山形の2418円で、佐賀2370円、長野2325円などが続く。最も少ないのは東京の1411円で、大阪1580円、奈良1702円などが続いている。最も多い山形と最も少ない東京の間には1・71倍（1005円）の格差がある。最大格差は前年度の1・67倍から拡大しているが、都道府県分よりは都道府県別の市町村平均のほうが格差が小さい。

特定健診受診率の評価指標では、第3期計画の目標値の60％を達成して121保険者が50点を加点される。一方、受診率が一定基準未満などに該当した延べ244保険者がマイナス点となった。

なお、4年度の評価指標では新型コロナの影響を踏まえ、受診控えなどの影響が生じる可能性のある特定健診・保健指導やがん検診・歯科健診の受診率、保険料収納率などで数値を補正した上で評価する配慮を行っている。

例えば、元年度の実績を用いる特定健診では、新型コロナの影響が生じ始めた2年3月に特定健診をまったく実施できなかったと仮定し、過去の実績（平成28～30年度）から各保険者の受診率を補正している。元年度の実績値が補正値よりも高い場合は実績値を用いた。

生活習慣病の発症予防・重症化予防の指標では、特定健診・保健指導の実施率向上に向けた取組みの評価として、国保の課題とされる40～50歳代が特定健診を受診しやすい環境を整えるため、休日・夜間に特定健診を実施している場合の評価を新設し、15点を配点した。3年度の実施状況を評価した結果、1554保険者に加点された。若い世代から健診への意識を高めるため、40歳未満を対象に健診を実施していることなどを評価する指標では、1297保険者に10点が加点された。

国保の固有指標では、コロナ禍において被保険者の申請手続きの利便性向上を図るため、オンラインによる手続きを設けている場合に5点が新たに配点され、4年度分では244保険者が加点された。

都道府県別の市町村平均獲得点は市町村規模にかかわらず市町村数で単純平均したのに対し、一人あたり交付見込み額は被保険者数に応じた加重平均であるため、それぞれの順位が異なる場合がある。

都道府県分の500億円最多最少の格差3・87倍

都道府県の4年度取組み評価分は、指標①が主な市町村指標の都道府県単位の評価、指標②が都道府県の医療費適正化のアウトカム評価、指標③が都道府県の取組み状況に関する評価で、三つの指標の合計で305点満点となっている。

厚労省の集計によると、獲得点の全国平均は173点。獲得点が最も多いのは山形の255点で、石川226点、埼玉225点などが続く。獲得点が最も少ないのは東京の68点で、次いで沖縄の112点、和歌山の119点などとなっている。

都道府県分の一人あたり交付見込み額をみると、全国平均は1895円。最も多いのは山形の3145円で、埼玉3072円、石川3027円などが続く。最も少ないのは東京の813円で、次いで和歌山1104円、沖縄1288円などとなっている。最も多い山形と最も少ない東京の間には、3・87倍（2332円）の格差があり、前年度の3・00倍から拡大している。

指標③のうち、医療費分析では、都道府県が市町村や国保連合会と協働・連携して医療費適正化の観点から健診・市町村に課題に応じた事業の企画立案・事業評価の支援を行っている場合に5点が配点され、36都道府県が加点対象となった。これは新経済・財政再生計画改革工程表2020の記載を踏まえた対応である。

法定外繰入等の解消では4年度の新規指標として、昨年9月末の時点で都道府県内のすべての市町村のうち1割以上の市町村で赤字削減・解消計画が8年度までとなっていない場合に10点を減点するマイナス評価が導入され、2都道府県が対象となった。この指標は、赤字解消の期間が長期間にわたる市町村に対応を促すことがないで、2年度を起点とすると、6年後までの解消を促すもの。

保険料水準の統一に向けた取組みでは、統一に向けた定義の議論などのプロセス評価を年度に導入したが、4年度はさらに取組みを一歩進めて「ロードマップや工程表を策定している。もしくは令和5年度末までに策定すること」という指標を新設し、35都道府県に4点が加点された。この指標では、統一の目標年度やその定義は必ずしも記載する必要はなく、現状の分析や課題ごとの取組み内容・期間、課題の解決時期などの記載が想定されている。

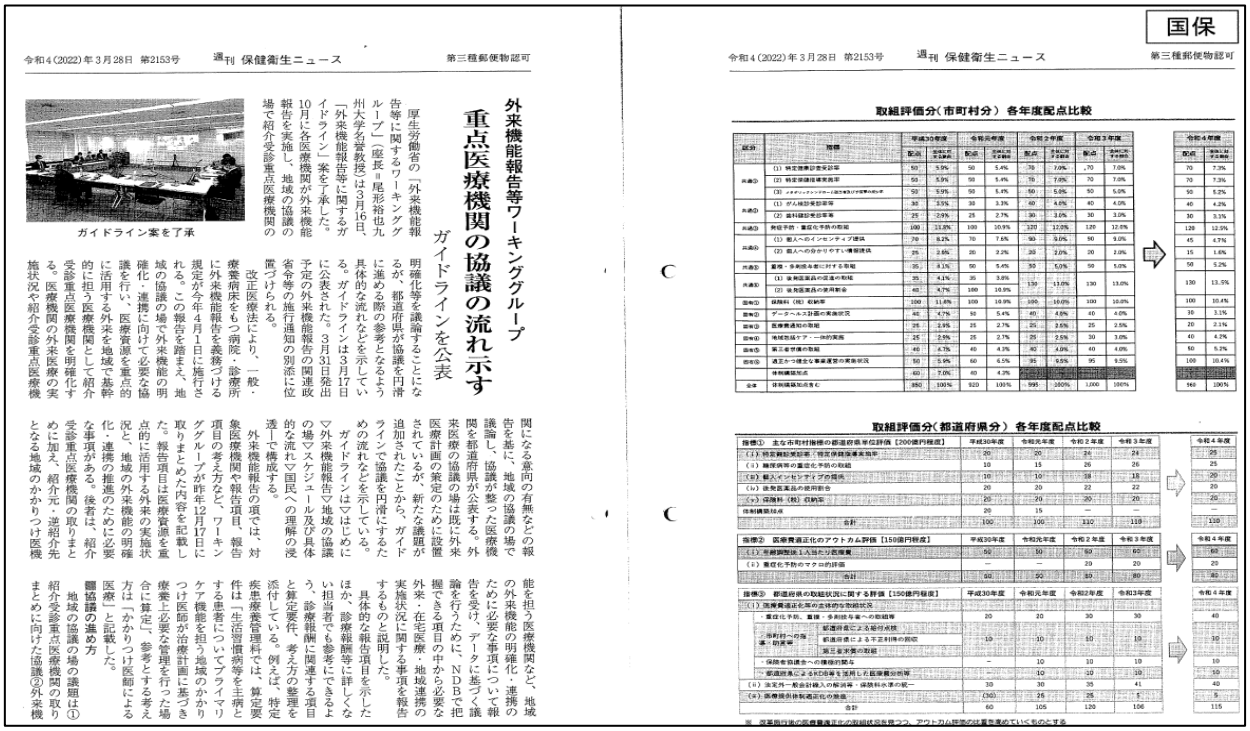
保険料水準の統一をめぐっては、国保運営方針の策定要領で将来的な都道府県内での統一をめざす方針が明確化されている。昨年の通常国会で成立した改正法では、統一に向けた取組みが同方針の必須記載事項に位置づけられた。

都道府県分で獲得点と一人あたり交付見込み額の順位が一致しないケースがあるが、これは指標①～③で分けて配分額が決定され、1点あたり配分額が異なるため。

点数の考え方として、「大部分の自治体で達成できている指標の配点を引き下げるなど引き続きめりはりを強化してきている」と書かれているが、市町村が達成できれば点数を落とし、できていないところにまた考えていくという配分であるという理解をした。そして今後考えなければと思うところは、「生活習慣病の発症予防・重症化予防の指標では、特定健診・保健指導の実施率向上に向けた取り組みの評価として、国保の課題とされる 40 歳 50 歳代が特定健診を受信しやすい環境を整えるため、休日・夜間に特定健診を実施している場合の評価を新設し、15 点を配点した。3 年度の実施状況を配点した結果、1554 保険者に加点された。若い世代から健診への意識を高めるため、40 歳未満を対象に健診を実施していることなどを評価する指標では、1297 保険者に 10 点が加点された」という内容である。皆さんはここの点数を獲れただろうか？国は若い人にシフトしてきた。受診率の考えを今まで通りでいいのかと思わせる記事である。

関連して新しい保健衛生ニュース 5 月 2 日・9 日合併号。皆さんも見たと思うが、沖縄県のことが書かれている。ここに厚生労働省国保課の技術推進専門官の説明で、「沖縄県与那原町は 40 歳代ではすでに血管内障害を起こしている場合があるため、20 から 30 代の若い方に早期介入の保健指導を実施している事例である」という内容であるが、沖縄県は早期介入保健指導事業をかなり実施してきたと思うが、次はここも評価していくところである。沖縄の市町村は 40 歳未満の健診も結構少し入れていると思うが、その中身の詳細は分からないが、そこも強化する項目であり、若い人が健診を受けやすい体制づくりをすることに国は予算を投入し始めている。皆さんの健診受診率の計画は、40 代 50 代を増やすという計画をしなければいけない。ただ増やすだけではない。今でも休日や時間外健診を行っている。あとはどうやって増やしていくか？という問いである。例えば熊本県では 40 歳健診を Web で申し込むなど、若い人たちの趣向に合わせて計画を立てている。Web 申し込みをした 40 歳だけが来る。そして若い人は体脂肪計に乗ることが好きで体脂肪率のことを気にしているという。だから体脂肪計を使って保健指導を行い、実施人数が増えたそうだ。なるほどと感心しながら聞き、結構受診率も良い。そういう工夫が必要になってくる。若い人たちの趣向に合わせる。意外と BMI と言われても、若い人たちは筋トレやプロテインを利用しているので体脂肪を気にしている。しかしデータが悪いと困る。熊本県の事例を話したが受診率の考え方を若い人世代にシフトするという国の方針である。

P10　保健衛生ニュース（国保）



令和4(2022)年3月28日　第2153号　週刊 保健衛生ニュース　第三種郵便物認可

外来機能報告等ワーキンググループ

重点医療機関の協議の流れ示す

ガイドラインを公表

厚生労働省の「外来機能報告等に関するワーキンググループ」（座長＝尾形裕也九州大学名誉教授）は3月16日、「外来機能報告等に関するガイドライン」案を了承した。10月に各医療機関が外来機能報告を実施し、地域の協議の場で紹介受診重点医療機関の明確化等を議論することになるが、都道府県が協議を円滑に進める際の参考となるよう具体的な流れなどを示している。ガイドラインは3月31日に公表された。3月31日発出予定の外来機能報告の関連政省令等の施行通知の別添に位置づけられる。

改正医療法により、一般・療養病床をもつ病院・診療所に外来機能報告を義務づける規定が今年4月1日に施行される。この報告を踏まえ、地域の協議の場で外来機能の明確化、連携に向けて必要な協議を行い、医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関として紹介受診重点医療機関を明確化する。医療機関の外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関になる意向の有無などの報告を基に、地域の協議の場で議論し、協議が整った医療機関を都道府県が公表する。外来医療の協議の場は既に外来医療計画の策定のために設置されているが、新たな議題が追加されたことから、ガイドラインで協議を円滑にするための流れなどを示している。

ガイドラインはマ外来機能報告マ地域の協議の場マスケジュールマ及び具体的な流れマ国民への理解の浸透ーで構成する。

外来機能報告の項では、対象医療機関や報告項目、報告項目の考え方など、ワーキンググループが昨年12月17日に取りまとめた内容を記載した。報告項目は医療資源を重点的に活用する外来の実施状況と、地域の外来機能の明確化・連携の推進のために必要な事項がある。後者は、紹介受診重点医療機関の取りまとめに加え、紹介元・逆紹介先となる地域のかかりつけ医機能を担う医療機関など、地域の外来機能の明確化・連携のために必要な事項を報告する項目である。

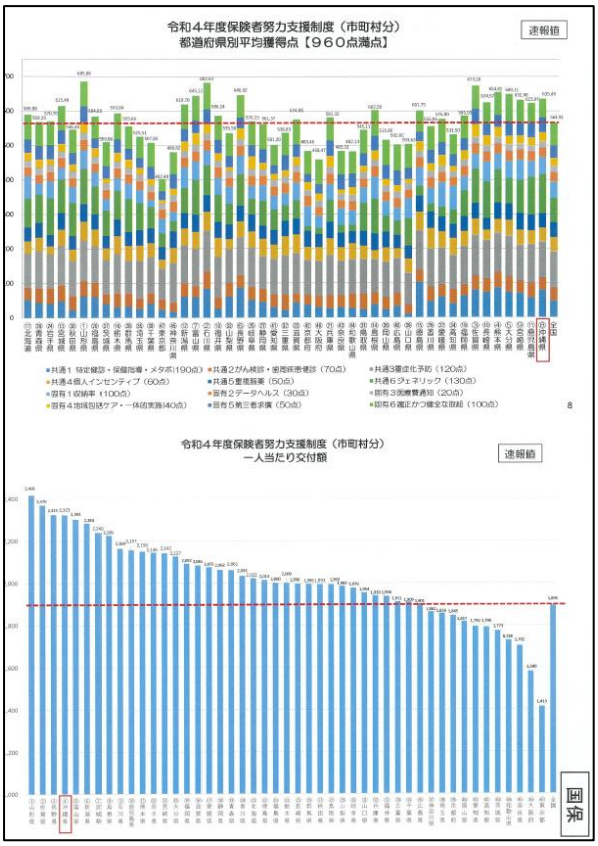
具体的な報告項目を示したほか、診療報酬等に詳しくない担当者でも参考にできるよう、診療報酬に関連する項目と算定要件、考え方の整理を添付している。例えば、特定疾患療養管理料では、算定要件は「生活習慣病等を主病とする患者についてプライマリケア機能を担う地域のかかりつけ医師が治療計画に基づき療養上必要な管理を行った場合に算定」、参考とする考え方は「かかりつけ医師による医療」と記載した。

■協議の進め方

地域の協議の場の議題は①紹介受診重点医療機関の取りまとめに向けた協議②外来機

取り組み評価分の市町村分と都道府県分。このように変わるということで、若い人たちの部分が区分共通③に 120 点とある。詳細はそれぞれで読むこと。ここでは大枠で載せている。

P11 令和 4 年度保険者努力支援制度（市町村分）



上段）都道府県平均獲得点【960 点満点】

下段）一人当たり交付額

速報値。平均獲得点で沖縄県 8 位。一人当たり交付額は 4 位。このように数値で評価される。

P12 令和 4 年度保険者努力支援制度　国保市町村分～自分の市町村の点数、交付額はいくら？～

令和4年度　保険者努力支援制度　・国保・市町村分　（令和４年度分加点－令和２～３年度分減点）　～自分の市町村の点数、交付額はいくらだったでしょうか？

NO	保険者名	被保険者数（人）	順位（得点）	交付額 ※2（千円）	1人あたり交付額※2（円）	順位（2021年度減点順）（点）	予防（保健師等） 560点 (1)特定健診受診率（70点 7.3%）	(2)特定保健指導実施率（70点 7.3%）	(3)メタボ減少率（50点 5.2%）	(1)がん検診受診率（40点 4.2%）	(2)歯科検診（30点 3.1%）	重症化予防（120点 12.5%）	データヘルス計画（30点 3.1%）	(3)個人インセンティブ（45点 4.7%）	(2)個人への情報提供（15点 1.6%）	重複・多剤（50点 5.2%）	地域包括ケア（40点 4.2%）	事務職 400点 (1)保険料収納率（100点 10.4%）	(1)後発医薬品使用促進（10点 1.0%）	(2)後発医薬品使用割合（120点 12.5%）	医療費通知（20点 2.1%）	第三者求償（50点 5.2%）	適正かつ健全な賦課徴収（100点 10.4%）	参考 減点前（点）	減点分（点）	保険者名	NO
	全国 ※1			500億円	1,895	-	14.5	20.5	12.7		37.4	107.1	27.7		43.1	43.5	22.4	46.3		69.5	19.6	36.5	67.9	564.9	-		
	沖縄県 ※1	395,846	(8)	9億円	2,323	617	16.9	52.7	9.1		35.2	106.5	26.5		39.9	41.1	25.6	49.6		114.4	20	42.9	55.1	635.5	▲18		
1	那覇市	77,781	(23)	175,412	2,255	633	10	70	0	5	15	120	30	10	15	46	40	40	10	120	20	38	44	637	▲4	那覇市	1
2	うるま市	37,914	(6)	96,850	2,554	717	-15	70	15	25	25	101	30	25	15	45	40	65	5	120	20	50	81	736	▲19	うるま市	2
3	沖縄市	40,126	(16)	93,637	2,334	655	0	55	15	30	0	120	30	45	15	35	20	30	10	120	20	33	77	655	0	沖縄市	3
4	宜野湾市	25,623	(12)	61,071	2,383	669	0	70	0	5	0	120	30	45	15	50	35	40	10	120	20	50	59	669	0	宜野湾市	4
5	宮古島市	16,679	(7)	41,833	2,508	704	10	50	20	5	15	120	25	35	15	50	35	100	0	100	20	38	66	704	0	宮古島市	5
6	石垣市	15,461	(29)	32,499	2,102	590	-15	50	15	25	0	61	20	45	15	1	27	65	10	120	20	50	81	633	▲43	石垣市	6
7	浦添市	26,507	(17)	61,573	2,323	652	-15	70	0	5	15	120	30	45	15	40	35	30	10	120	20	38	74	652	0	浦添市	7
8	名護市	16,871	(14)	39,610	2,348	659	0	70	0	25	18	101	30	45	15	50	40	30	10	120	20	38	47	678	▲19	名護市	8
9	糸満市	15,893	(25)	35,219	2,216	622	0	50	0	5	18	101	25	35	15	50	28	25	10	120	20	45	75	641	▲19	糸満市	9
10	国頭村	1,444	(10)	3,544	2,454	689	45	50	0	40	30	101	30	45	15	50	20	25	10	90	20	50	68	708	▲19	国頭村	10
11	大宜味村	1,055	(11)	2,522	2,391	671	70	70	0	30	15	120	20	25	15	40	0	35	5	90	20	45	71	671	0	大宜味村	11
12	東村	684	(24)	1,518	2,219	623	50	50	20	20	1	120	19	35	15	40	-9	35	5	120	20	38	44	657	▲34	東村	12
13	今帰仁村	3,411	(37)	6,258	1,835	515	0	70	0	25	0	86	30	0	15	50	7	25	5	90	20	45	47	539	▲24	今帰仁村	13
14	本部町	4,130	(31)	8,607	2,084	585	55	-15	0	25	0	101	27	35	15	50	20	5	10	120	20	45	72	607	▲22	本部町	14
15	恩納村	3,806	(4)	9,749	2,561	719	55	70	0	40	0	120	30	35	15	50	40	65	5	70	20	45	59	719	0	恩納村	15
16	宜野座村	1,812	(27)	3,860	2,130	598	-15	50	0	20	0	120	30	45	15	50	40	25	5	100	20	45	48	598	0	宜野座村	16
17	金武町	3,546	(30)	7,415	2,091	587	0	70	0	5	15	120	30	45	5	45	40	10	10	100	20	45	27	587	0	金武町	17
18	伊江村	1,927	(35)	3,604	1,870	525	0	70	20	25	0	90	-12	0	15	10	7	70	10	120	20	38	42	554	▲29	伊江村	18
19	読谷村	12,340	(13)	29,016	2,351	660	-15	70	20	10	0	101	30	45	15	45	35	50	5	120	20	31	78	679	▲19	読谷村	19
20	嘉手納町	4,131	(33)	7,991	1,934	543	25	0	15	25	15	90	20	0	15	40	-9	100	10	120	20	40	17	557	▲14	嘉手納町	20
21	北谷町	9,107	(20)	20,830	2,287	642	0	70	40	30	30	71	30	25	15	50	10	5	10	120	20	50	66	666	▲24	北谷町	21
22	北中城村	5,170	(21)	11,788	2,280	640	0	50	40	5	0	120	30	35	15	50	40	50	5	90	20	45	45	640	0	北中城村	22
23	中城村	5,280	(1)	14,033	2,658	746	25	70	20	30	30	101	30	25	15	50	8	100	10	120	20	45	47	765	▲19	中城村	23
24	西原町	8,727	(32)	18,095	2,073	582	0	70	0	10	25	120	30	35	15	40	15	10	10	120	20	36	26	582	0	西原町	24
25	豊見城市	14,367	(5)	36,802	2,562	719	0	70	0	25	28	120	30	25	5	50	40	60	5	120	20	50	71	719	0	豊見城市	25
26	八重瀬町	8,137	(28)	17,249	2,120	595	10	50	15	30	28	91	30	35	15	40	20	10	10	90	20	45	56	614	▲19	八重瀬町	26
27	与那原町	4,720	(26)	10,341	2,191	615	0	50	0	30	0	120	30	0	15	40	40	60	5	90	20	45	70	615	0	与那原町	27
28	南風原町	8,932	(8)	22,148	2,480	696	-15	70	20	10	15	120	30	25	15	50	40	65	5	120	20	45	61	696	0	南風原町	28
29	久米島町	2,601	(38)	4,725	1,817	510	0	-15	0	5	25	101	30	0	15	40	20	50	0	120	20	40	59	534	▲24	久米島町	29
30	渡嘉敷村	252	(3)	654	2,595	729	45	70	0	40	30	105	25	0	10	40	40	100	0	120	20	33	51	731	▲2	渡嘉敷村	30
31	座間味村	486	(22)	1,102	2,267	637	50	70	20	5	15	90	30	25	15	40	20	40	5	120	20	45	27	639	▲2	座間味村	31
32	粟国村	170	(36)	314	1,847	519	20	70	0	40	25	35	-14	0	15	0	20	100	0	90	20	40	58	548	▲29	粟国村	32
33	渡名喜村	112	(41)	139	1,241	350	-15	0	20	40	-27	50	3	-89	15	50	20	25	10	120	20	45	63	493	▲143	渡名喜村	33
34	南大東村	415	(18)	956	2,304	647	70	50	0	5	30	17	3	45	15	50	36	60	5	120	20	45	76	736	▲89	南大東村	34
35	北大東村	139	(34)	260	1,871	527	70	-15	0	30	6	75	-23	-14	15	40	10	100	5	120	20	40	48	581	▲54	北大東村	35
36	伊平屋村	435	(2)	1,146	2,634	740	70	70	0	40	30	105	30	25	15	45	20	75	5	120	20	45	25	744	▲4	伊平屋村	36
37	伊是名村	444	(19)	1,023	2,304	647	0	70	20	10	18	105	30	45	15	50	20	50	5	90	20	45	54	657	▲10	伊是名村	37
38	多良間村	369	(40)	485	1,314	369	55	-30	0	5	0	36	10	0	15	-28	20	50	0	120	20	40	56	426	▲57	多良間村	38
39	竹富町	2,017	(15)	4,728	2,344	658	45	70	0	20	0	105	30	25	15	35	40	50	5	90	20	45	63	658	0	竹富町	39
40	与那国町	513	(39)	795	1,550	435	20	70	15	40	15	120	12	0	15	0	8	35	5	0	20	37	23	440	▲5	与那国町	40
41	南城市	12,312	(9)	30,266	2,458	690	0	70	20	30	0	120	30	35	15	50	40	70	10	120	20	43	17	690	0	南城市	41

※1：　全国・沖縄県　2022.3.2　厚生労働省「全国国保課長会議」参考資料1

次はじっくり見てほしい資料。

令和 4 年度の努力支援制度の市町村ごとだが、初めて追加されたことは、右側に減点前と減点分が出されている。まず自市町村をじっくり見てほしい。この減点分の▲印が減点された市町村。先ず横軸は、市町村名、被保険者数、得点順位、交付額、一人あたり交付額、そして 2021 年度原点後得点がある。そして実施できなかった分が減点という見方になる。▲印の 1 番数字が大きい石垣市▲43 は、減点前は 633 点だった。逆に減点されていない市町村もある。減点前だけ見ていては駄目だということか。沖縄県と全国を比較した点数もある。横軸の項目の中で共通項目があるが、予防の項目は保健師等がやるところで地域包括ケアまであり 560 点。事務職は保険料徴収から 6 項目あり 400 点。沖縄県の重症化予防は 120 点のところ 106 点。全国平均より低い。そしてデータヘルス計画 30 点だが 26.5 点。沖縄にとってメタボ減少率は厳しいが点数を獲れている市町村もある。数字で見るということはすごい事である。

P13　令和 4 年度保険者インセンティブ（後期）

都道府県別採点結果

令和 5 年度分の配点比較

次は後期分。採点結果で沖縄県後期は 37 位 86 点。そして 5 年度インセンティブの配点比較も出ている。事業の実施にかかる配点の最大配点がある。そして 1 ページで後期のアウトカムの話をしたが、アウトカム指標 14 点がプラスされる。

アウトカムとは、どういうことなのか？

保険者インセンティブ（令和５年度分）における評価指標※

事業実施等のアウトカム指標①

1 重症化予防のアウトカム評価

Ⅰ．重症化予防のマクロ的評価（当年度の実績）（令和３年度実績を評価）	点数
① 広域連合の年齢調整後新規透析導入患者（対被保険者１万人）が少ない順に、全広域連合の上位１位から５位である場合	3
② 広域連合の年齢調整後新規透析導入患者（対被保険者１万人）が少ない順に、全広域連合の上位６位から10位である場合	2
③ ①及び②の基準は満たさないが、広域連合の年齢調整後新規透析導入患者数（対被保険者１万人）が少ない順に、全広域連合の上位５割である場合	1

Ⅱ．重症化予防のマクロ的評価（前年度との比較）（令和３年度実績を評価）	点数
① 広域連合の年齢調整後新規透析導入患者（対被保険者１万人）の前年度からの減少幅が大きい順に、全広域連合の上位１位から５位である場合	3
② 広域連合の年齢調整後新規透析導入患者（対被保険者１万人）の前年度からの減少幅が大きい順に、全広域連合の上位６位から10位である場合	2
③ ①及び②の基準は満たさないが、広域連合の年齢調整後新規透析導入患者数（対被保険者１万人）の前年度からの減少幅が大きい順に、全広域連合の上位５割である場合	1

（※１）厚生労働省においてNDBから抽出される都道府県別の年齢調整後新規透析導入患者数（対被保険者１万人）を用いて評価するものとする。
（※２）年齢調整後新規透析導入患者数（対被保険者１万人）は75歳以上を対象とする。

70

保険者インセンティブ（令和５年度分）における評価指標※

事業実施等のアウトカム指標②

2 年齢調整後一人当たり医療費のアウトカム評価

Ⅰ．年齢調整後一人当たり医療費（令和２年度の実績値を評価）	点数
① 年齢調整後一人当たり医療費が、全広域連合の上位１位から５位である場合	3
② 年齢調整後一人当たり医療費が、全広域連合の上位６位から10位である場合	2
③ ①及び②の基準は満たさないが、年齢調整後一人当たり医療費が、全国平均よりも低い水準である場合	1

※ 年齢調整後一人当たり医療費については、「医療費の地域差分析（厚生労働省）」において把握される「都道府県別の地域差指数」に「全国一人当たり実績医療費（入院、入院外＋調剤、歯科）」を乗じた値を用いて、全国平均よりも低い都道府県について、低いものから順に評価するものとする。

Ⅱ．年齢調整後一人当たり医療費の改善状況（令和２年度の実績値を評価）	点数
① 年齢調整後一人当たり医療費の前年度からの改善状況が全広域連合の上位１位から５位である場合	5
② 年齢調整後一人当たり医療費の前年度からの改善状況が全広域連合の上位６位から10位である場合	4
③ ①及び②の基準は満たさないが、平成30年度の年齢調整後一人当たり医療費から令和２年度の年齢調整後一人当たり医療費が連続して改善している場合	3
④ ①から③までの基準は満たさないが、年齢調整後一人当たり医療費が前年度より改善している場合	2
⑤ ①から④までの基準は満たさないが、年齢調整後一人当たり医療費が過去３年平均値より改善している場合	1

※ 年齢調整後一人当たり医療費の改善状況は、「医療費の地域差分析（厚生労働省）」において把握される「都道府県別の地域差指数」の比較により評価する

71

後期

14

P14 事業実施等のアウトカム指標①②

具体的に出されている。

事業実施等のアウトカム指標①で、重症化予防のマクロ的評価、当該年度の実績で、「広域連合の年齢調整後の新規透析導入患者が少ない順に全広域連合の上位から５位である場合３点」沖縄の新規透析導入患者数は多い。こういう考え方が透析に出てきた。もう１つは前年度との比較で、「広域連合の年齢調整後新規透析導入患者の前年度からの減少幅が大きい順に全広域連合の上位１位から５位である場合３点」と、ここは減少幅である。ここは全市町村が頑張らないとできないところ。こういう厳しいアウトカム指標になってきた。

そこをイメージ化したのが次のページ。

P15【都道府県】令和５年度分から始まるアウトカム指標を令和元年度の実績値でイメージしてみました

令和5年度分から始まる アウトカム指標 を令和元年度の実績値でイメージしてみました

後期

【都道府県】 一人当たり年齢調整後医療費・地域差指数の年次推移

※昇順：全国平均よりも低い都道府県について、低いものから順に評価

順位	2015年（H27） 都道府県名	年齢調整後医療費	地域差指数	2016年（H28） 都道府県名	年齢調整後医療費	地域差指数	2017年（H29） 都道府県名	年齢調整後医療費	地域差指数	2018年（H30） 都道府県名	年齢調整後医療費	地域差指数	2019年（R1） 都道府県名	年齢調整後医療費	地域差指数	順位
1	新潟	751,887	0.805	岩手	737,736	0.803	岩手	748,017	0.806	岩手	746,618	0.806	岩手	752,908	0.803	1
2	岩手	754,024	0.808	新潟	741,566	0.807	新潟	748,990	0.807	新潟	749,682	0.809	新潟	757,024	0.808	2
3	青森	798,153	0.855	秋田	785,494	0.855	秋田	787,938	0.849	秋田	785,766	0.848	青森	791,695	0.845	3
4	秋田	800,533	0.858	山形	788,063	0.858	青森	792,402	0.853	青森	788,394	0.851	秋田	796,111	0.849	4
5	山形	805,113	0.862	青森	788,353	0.858	山形	798,157	0.860	福島	803,046	0.866	福島	811,038	0.865	5
6	静岡	807,932	0.865	静岡	801,362	0.872	福島	810,567	0.873	山形	806,252	0.870	静岡	816,694	0.871	6
7	長野	810,793	0.869	栃木	803,824	0.875	長野	811,944	0.874	栃木	807,713	0.872	山形	819,668	0.874	7
8	栃木	814,998	0.873	福島	804,053	0.875	栃木	812,959	0.875	静岡	809,399	0.873	栃木	821,429	0.876	8
9	福島	822,378	0.881	長野	805,206	0.876	静岡	813,840	0.876	茨城	814,769	0.879	茨城	823,549	0.879	9
10	茨城	822,614	0.881	茨城	808,500	0.880	茨城	825,481	0.889	長野	815,382	0.880	長野	824,195	0.879	10
11	三重	831,291	0.890	宮城	823,300	0.896	宮城	833,758	0.898	宮城	830,290	0.896	宮城	839,994	0.896	11
12	千葉	832,319	0.892	三重	825,604	0.899	千葉	837,459	0.902	千葉	834,233	0.900	千葉	844,711	0.901	12
13	宮城	834,801	0.894	千葉	825,715	0.899	三重	841,104	0.906	群馬	839,890	0.906	群馬	846,998	0.904	13
14	山梨	849,730	0.910	山梨	835,019	0.909	群馬	844,809	0.910	三重	840,667	0.907	山梨	848,870	0.906	14
15	群馬	854,233	0.915	群馬	839,817	0.914	山梨	849,130	0.914	山梨	843,631	0.910	三重	855,541	0.913	15
16	富山	861,959	0.923	富山	850,242	0.925	岐阜	861,281	0.927	岐阜	857,048	0.925	岐阜	861,419	0.919	16
17	岐阜	867,789	0.930	岐阜	852,945	0.928	富山	862,029	0.928	埼玉	859,987	0.928	埼玉	872,488	0.931	17
18	埼玉	870,690	0.933	埼玉	859,361	0.935	埼玉	867,816	0.935	富山	872,251	0.941	富山	886,200	0.945	18
19	神奈川	884,241	0.947	神奈川	867,819	0.944	神奈川	876,984	0.944	神奈川	875,207	0.944	神奈川	886,662	0.946	19
20	鳥取	894,182	0.958	鳥取	882,708	0.961	鳥取	890,815	0.959	鳥取	893,088	0.964	愛知	902,276	0.963	20
21	島根	897,127	0.961	宮崎	887,540	0.966	宮崎	894,700	0.963	宮崎	893,383	0.964	宮崎	902,647	0.963	21
22	愛知	903,369	0.968	愛知	888,324	0.967	愛知	895,776	0.965	愛知	894,622	0.965	鳥取	906,786	0.967	22
23	福井	904,237	0.969	福井	889,490	0.968	福井	902,488	0.972	福井	899,222	0.970	福井	907,741	0.968	23
24	宮崎	911,490	0.976	島根	890,342	0.969	島根	903,179	0.973	島根	900,556	0.972	滋賀	926,537	0.988	24
25	和歌山	913,603	0.979	和歌山	901,368	0.981	和歌山	917,808	0.988	和歌山	914,400	0.987	島根	929,678	0.992	25
26	滋賀	923,061	0.989	奈良	910,066	0.990	滋賀	925,652	0.997	滋賀	921,184	0.994	和歌山	936,607	0.999	26
27	奈良	929,269	0.995	滋賀	915,825	0.997	**全国**	**928,612**	**1.000**	**全国**	**926,793**	**1.000**	**全国**	**937,331**	**1.000**	27
28	**全国**	**933,527**	**1.000**	**全国**	**918,825**	**1.000**	奈良	929,601	1.001	愛媛	931,429	1.005	東京	946,352	1.010	28
29	愛媛	934,467	1.001	愛媛	924,224	1.006	愛媛	931,553	1.003	東京	932,714	1.006	奈良	947,030	1.010	29
30	東京	938,640	1.005	東京	925,419	1.007	東京	934,120	1.006	奈良	933,275	1.007	愛媛	949,841	1.013	30
31	石川	967,541	1.036	香川	944,910	1.028	石川	956,253	1.030	石川	952,039	1.027	石川	964,168	1.029	31
32	香川	971,596	1.041	石川	952,402	1.037	香川	962,887	1.037	香川	964,105	1.040	香川	978,965	1.044	32
33	徳島	977,823	1.047	岡山	961,425	1.046	岡山	970,296	1.045	岡山	970,654	1.047	岡山	982,924	1.049	33
34	岡山	986,142	1.056	徳島	974,004	1.060	徳島	992,992	1.069	徳島	995,838	1.074	徳島	1,009,993	1.078	34
35	兵庫	994,817	1.066	兵庫	989,294	1.077	京都	1,004,045	1.081	兵庫	1,005,916	1.085	兵庫	1,016,453	1.084	35
36	京都	1,007,077	1.079	京都	992,020	1.080	兵庫	1,004,467	1.082	京都	1,008,331	1.088	京都	1,021,551	1.090	36
37	**沖縄**	**1,029,522**	**1.103**	山口	1,009,457	1.099	**沖縄**	**1,019,025**	**1.097**	山口	1,019,376	1.100	山口	1,025,476	1.094	37
38	熊本	1,032,291	1.106	大分	1,016,357	1.106	山口	1,021,945	1.101	広島	1,023,317	1.104	広島	1,027,839	1.097	38
39	山口	1,033,734	1.107	**沖縄**	**1,017,505**	**1.107**	広島	1,025,905	1.105	**沖縄**	**1,027,670**	**1.109**	**沖縄**	**1,033,746**	**1.103**	39
40	大分	1,035,629	1.109	広島	1,019,748	1.110	熊本	1,028,064	1.107	熊本	1,030,710	1.112	大分	1,046,185	1.116	40
41	鹿児島	1,043,570	1.118	熊本	1,021,550	1.112	大分	1,031,419	1.111	大分	1,035,119	1.117	熊本	1,049,238	1.119	41
42	広島	1,049,145	1.124	鹿児島	1,029,548	1.121	佐賀	1,047,070	1.128	佐賀	1,045,467	1.128	北海道	1,055,653	1.126	42
43	北海道	1,062,608	1.138	北海道	1,042,088	1.134	鹿児島	1,048,328	1.129	北海道	1,047,012	1.130	佐賀	1,055,874	1.126	43
44	佐賀	1,067,728	1.144	佐賀	1,050,327	1.143	北海道	1,052,644	1.134	鹿児島	1,060,838	1.145	大阪	1,076,776	1.149	44
45	大阪	1,077,265	1.154	大阪	1,059,882	1.154	大阪	1,070,298	1.153	大阪	1,064,582	1.149	鹿児島	1,080,845	1.153	45
46	長崎	1,090,466	1.168	長崎	1,074,323	1.169	長崎	1,082,833	1.166	長崎	1,083,690	1.169	長崎	1,087,297	1.160	46
47	福岡	1,142,791	1.224	高知	1,117,565	1.216	福岡	1,123,244	1.210	福岡	1,123,820	1.213	福岡	1,130,932	1.207	47
48	高知	1,150,521	1.232	福岡	1,117,809	1.217	高知	1,131,337	1.218	高知	1,137,471	1.227	高知	1,143,662	1.220	48

実績値	点数
上位 1位～5位	3
上位 6位～10位	2
全国平均よりも低い水準	1
全国平均よりも高い水準	0

厚労省：医療費の地域差分析

一人あたりの年齢調整を医療費・地域差指数の推移があり、上位５位は３点入るが沖縄県の位置は？

沖縄県は医療費の地域差指数が全国平均よりも高い。高い水準だから実績値上位に入れない。市町村はどうか？

P16【県内市町村】令和 5 年度分から始まるアウトカム指標を令和元年度の実績値でイメージしてみました

令和5年度分から始まる アウトカム指標 を令和元年度の実績値でイメージしてみました 後期

【県内市町村】 実績医療費と地域差指数（一人当たり年齢調整後医療費）の年次推移

※昇順：全国平均よりも低い順

	2015年（H27）			2016年（H28）			2017年（H29）			2018年（H30）			2019年（R01）			
	都道府県名	実績医療費	地域差指数	都道府県名	実績医療費	地域差指数	都道府県名	実績医療費	地域差指数	都道府県名	実績医療費	地域差指数	都道府県名	実績医療費	地域差指数	
1	渡嘉敷村	652,722	0.679	北大東村	648,195	0.753	北大東村	637,935	0.732	宮古島市	801,145	0.857	北大東村	439,746	0.483	1
2	久米島町	760,843	0.784	多良間村	683,208	0.756	渡嘉敷村	706,412	0.735	南大東村	846,942	0.918	宮古島市	793,802	0.837	2
3	北大東村	701,598	0.797	久米島町	793,558	0.821	多良間村	771,915	0.843	多良間村	844,707	0.923	伊平屋村	848,656	0.877	3
4	多良間村	774,928	0.843	渡嘉敷村	781,754	0.830	伊平屋村	830,771	0.873	竹富町	878,067	0.925	久米島町	905,705	0.917	4
5	宮古島市	829,182	0.887	宮古島市	792,957	0.859	宮古島市	829,583	0.888	久米島町	904,878	0.930	多良間村	848,731	0.919	5
6	国頭村	896,542	0.941	伊是名村	835,575	0.880	渡名喜村	842,459	0.907	伊平屋村	901,946	0.958	渡名喜村	907,501	0.926	6
7	東村	877,953	0.946	南大東村	784,448	0.881	久米島町	902,094	0.929	北大東村	868,732	0.969	恩納村	935,945	0.990	7
8	伊平屋村	933,902	0.978	伊平屋村	845,392	0.902	竹富町	889,322	0.934	大宜味村	963,843	0.971	国頭村	965,397	0.996	8
9	竹富町	931,754	0.980	与那国町	883,688	0.956	恩納村	882,569	0.941	恩納村	922,339	0.983	北中城村	927,970	1.000	9
10	粟国村	965,899	0.988	竹富町	907,755	0.961	北中城村	901,727	0.986	読谷村	902,559	0.989	**全国**	**937,331**	**1.000**	10
11	渡名喜村	925,956	0.996	国頭村	904,162	0.963	南大東村	906,112	0.989	石垣市	918,399	0.992	北谷町	916,779	1.001	11
12	**全国**	**933,527**	**1.000**	恩納村	889,098	0.964	国頭村	953,170	0.995	**全国**	**926,793**	**1.000**	読谷村	938,530	1.010	12
13	うるま市	926,893	1.000	粟国村	932,302	0.966	読谷村	910,436	0.999	北中城村	939,006	1.023	座間味村	996,042	1.012	13
14	読谷村	911,735	1.001	渡名喜村	886,021	0.967	**全国**	**928,612**	**1.000**	北谷町	926,259	1.029	嘉手納町	958,772	1.022	14
15	石垣市	934,033	1.007	読谷村	877,646	0.977	与那国町	931,834	1.006	座間味村	994,512	1.031	南大東村	964,345	1.025	15
16	恩納村	940,939	1.011	**全国**	**918,825**	**1.000**	石垣市	942,151	1.017	伊是名村	982,987	1.033	伊江村	984,575	1.040	16
17	嘉手納町	927,781	1.016	嘉手納町	926,335	1.027	嘉手納町	938,210	1.024	嘉手納町	951,732	1.034	竹富町	1,005,335	1.041	17
18	伊是名村	965,821	1.016	石垣市	950,358	1.040	金武町	942,053	1.027	金武町	954,165	1.040	伊是名村	1,012,541	1.044	18
19	宜野座村	960,611	1.030	うるま市	950,240	1.041	うるま市	955,693	1.037	宜野座村	978,808	1.062	石垣市	991,761	1.054	19
20	北中城村	948,867	1.041	中城村	958,206	1.047	北谷町	939,170	1.041	渡名喜村	1,016,904	1.071	与那国町	980,770	1.057	20
21	西原町	957,201	1.053	金武町	951,648	1.055	宜野座村	964,494	1.050	うるま市	987,164	1.072	八重瀬町	1,007,065	1.065	21
22	金武町	980,575	1.067	宜野座村	984,185	1.070	今帰仁村	1,020,738	1.069	国頭村	1,029,836	1.074	中城村	1,008,055	1.074	22
23	沖縄市	1,006,336	1.090	北中城村	983,577	1.090	伊江村	1,004,071	1.085	東村	1,020,364	1.078	うるま市	1,006,152	1.075	23
24	座間味村	1,049,858	1.092	大宜味村	1,064,799	1.100	西原町	988,472	1.096	渡嘉敷村	1,038,280	1.083	渡嘉敷村	1,053,884	1.077	24
25	**沖縄**	**1,016,324**	**1.103**	伊江村	1,009,092	1.104	中城村	1,014,268	1.096	伊江村	1,010,342	1.089	宜野座村	1,012,836	1.087	25
26	中城村	1,020,751	1.103	沖縄市	1,008,515	1.106	**沖縄**	**1,009,134**	**1.097**	今帰仁村	1,049,654	1.096	南風原町	1,024,135	1.091	26
27	伊江村	1,018,596	1.103	**沖縄**	**1,006,694**	**1.107**	浦添市	998,209	1.105	南風原町	1,019,388	1.101	沖縄市	1,044,461	1.097	27
28	浦添市	1,004,884	1.104	北谷町	1,001,239	1.122	粟国村	1,094,468	1.106	沖縄市	1,033,571	1.109	今帰仁村	1,069,522	1.099	28
29	八重瀬町	1,028,556	1.109	東村	1,046,973	1.122	大宜味村	1,104,976	1.117	**沖縄**	**1,020,222**	**1.109**	**沖縄**	**1,031,949**	**1.103**	29
30	今帰仁村	1,076,168	1.120	西原町	1,009,340	1.127	沖縄市	1,035,477	1.117	南城市	1,030,568	1.119	西原町	1,017,553	1.110	30
31	南風原町	1,026,183	1.120	浦添市	1,008,372	1.129	豊見城市	1,007,534	1.121	八重瀬町	1,040,918	1.122	豊見城市	1,012,366	1.111	31
32	名護市	1,045,248	1.125	豊見城市	1,008,212	1.131	宜野湾市	1,014,440	1.125	宜野湾市	1,025,810	1.131	金武町	1,038,561	1.111	32
33	宜野湾市	1,014,226	1.128	今帰仁村	1,075,524	1.134	南城市	1,036,639	1.127	与那国町	1,035,958	1.139	浦添市	1,035,984	1.124	33
34	大宜味村	1,082,957	1.129	南城市	1,039,700	1.146	座間味村	1,090,055	1.128	浦添市	1,035,712	1.145	南城市	1,067,858	1.144	34
35	北谷町	1,030,044	1.130	座間味村	1,103,157	1.146	名護市	1,053,351	1.138	豊見城市	1,028,427	1.146	大宜味村	1,143,952	1.148	35
36	南城市	1,059,605	1.149	南風原町	1,059,972	1.165	八重瀬町	1,056,296	1.141	西原町	1,034,850	1.146	名護市	1,087,835	1.159	36
37	与那国町	1,095,013	1.177	名護市	1,070,211	1.171	南風原町	1,060,273	1.151	粟国村	1,138,948	1.157	宜野湾市	1,073,836	1.162	37
38	豊見城市	1,070,699	1.182	宜野湾市	1,042,776	1.176	那覇市	1,063,830	1.169	与那原町	1,050,266	1.159	那覇市	1,084,422	1.169	38
39	糸満市	1,091,086	1.187	八重瀬町	1,078,930	1.180	糸満市	1,081,708	1.177	中城村	1,080,456	1.170	糸満市	1,120,770	1.191	39
40	那覇市	1,103,765	1.208	那覇市	1,062,916	1.182	伊是名村	1,161,281	1.203	糸満市	1,081,331	1.172	粟国村	1,211,071	1.198	40
41	与那原町	1,118,505	1.226	糸満市	1,079,380	1.192	本部町	1,198,848	1.211	那覇市	1,080,604	1.185	本部町	1,190,645	1.200	41
42	南大東村	1,146,873	1.263	与那原町	1,100,087	1.226	与那原町	1,107,753	1.220	本部町	1,174,917	1.191	東村	1,151,224	1.202	42
43	本部町	1,256,694	1.284	本部町	1,195,827	1.228	東村	1,183,280	1.254	名護市	1,109,569	1.199	与那原町	1,108,762	1.205	43

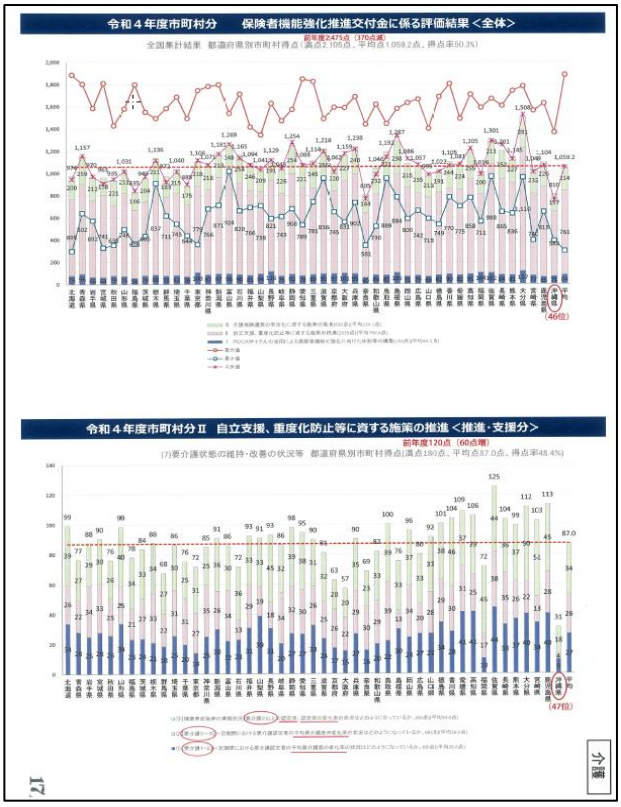
全国平均よりも低い水準

全国平均よりも高い水準

厚労省：医療費の地域差分析

2019 年、地域差指数は全国を 1 とし、全国平均より低い水準の小さい市町村の中に宮古島市が入っている。他の市は全国平均並み。後期高齢は結果であるから難しいという風に見ていたが、14 ページの指標②の「ⅱ 年齢調整後一人あたり医療費の改善状況」 改善状況と書いてあり、年齢調整後一人あたりの医療費の前年度からの改善状況が全広域連合の 1 位から 5 位である場合、そして医療費の前年度からの改善状況が 6 位から 10 位である場合という風に点数が出てきた。そして 5 点から始まるので、意外と毎年毎年頑張って前年度に比べて良くなれば、これが積み重ねになる。少し希望と思った。④は「①から③までの基準は満たさないが、年齢調整後一人あたり医療費が前年度より改善している場合」2 点ある。皆さんの市町村は毎年見ていると思うので、改善しているかどうかをきちんと分析していくことで希望はある。実際に後期の医療費が減少している市町村もある。要するに 40 から 65 歳未満を重点的にやる、そして 65 歳以上は重症化予防をやるという視点で、74 歳までを頑張れば後期の医療費が下がってくる。後期になってから始めるでは遅い。

P17 令和４年度市町村分（介護）



社会保障費の最後は介護。介護保険は、保険者機能強化推進交付金に係る評価結果ということで、沖縄県は46 位 810 点。最大値・最小値・中央値とあるが、何やら 47 都道府県の中 46 位。介護、後期も沖縄は高い。そして次、4 年度市町村分に自立支援・重度化防止等に対する施策の推進で、47 位 31 点。1 位の県は 125 点。31 点とはどういうことか？指標を見ると「要介護 2 以上の認定率、認定率の変化率」「要介護 3～5 の平均要介護の変化率」「要介護 1～2 の平均要介護の変化率」とある。31 点しか取れないということは、介護保険を利用している人は、重症化した人であるということ。健診・医療・介護とみたとき、予防の結果は医療と介護に出る。そして課題が高血圧、脳出血。高血圧と脳出血はどこに繋がるか？

P18 令和４年度介護インセンティブ（市町村分・推進・支援分）の点数と交付金

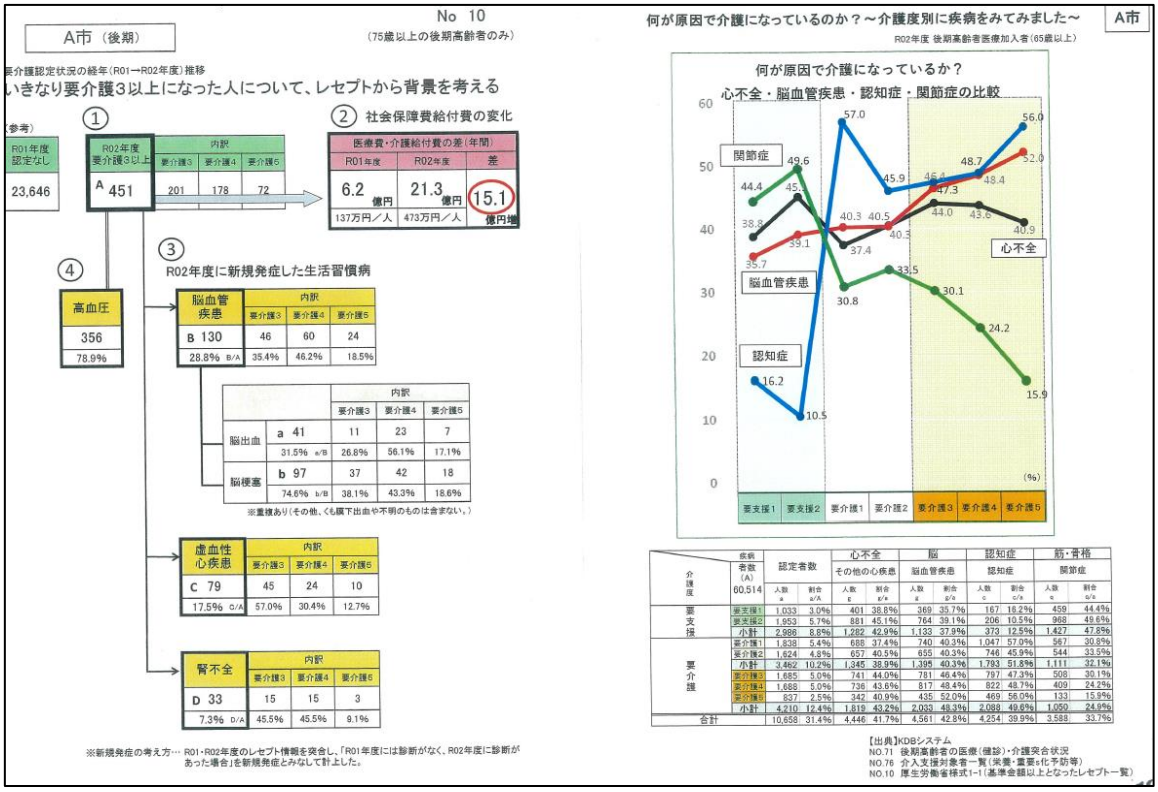
令和４年度介護インセンティブ（市町村分・推進・支援分）の点数と交付金　～自分の市町村の点数、交付額はどれぐらいだったでしょうか～

NO	市町村名	第１号被保険者数	順位（点数）県内	順位（点数）全国	交付額（推進・支援分）	1人当たり交付額（推進・支援分）	点数合計（推進・支援分）	点数 内訳 Ⅰ 保険者機能強化体制等の構築	Ⅱ 自立支援、重度化防止施策推進	（7）要介護状態の維持・改善状況等	① 【要介護1～2】介護度変化	② 【要介護3～5】介護度変化	③ 【健康寿命】要介護2以上	Ⅲ 保険運営の安定化推進	【調整】点数	【調整後】点数合計	市町村名	NO
		人	位	位	千円	円	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	位	
	満点		(41)	(1741)	380億円		2,105	150	1,535	180	60	60	60	420				満点
	全国						1,059	84	761	87	27	26	34	214	3	1,062		全国
	沖縄県	332,780		(46)	344,667	1,036	810	71	583	31	9	4	18	157				沖縄県
1	那覇市	75,903	(3)	(327)	89,951	1,185	1,302	115	925	45	15	15	15	262	0	1,302	(333)	那覇市 1
2	うるま市	28,176	(2)	(313)	34,072	1,209	1,313	95	945	30	15	0	15	273	▲ 25	1,288	(364)	うるま市 2
3	沖縄市	29,548	(4)	(446)	35,753	1,210	1,245	65	895	15	0	0	15	285	30	1,275	(388)	沖縄市 3
4	宜野湾市	19,837	(8)	(738)	22,934	1,156	1,115	90	870	75	60	0	15	155	103	1,218	(513)	宜野湾市 4
5	宮古島市	14,640	(10)	(885)	16,860	1,152	1,046	35	875	150	60	45	45	136	129	1,175	(615)	宮古島市 5
6	石垣市	11,113	(5)	(468)	12,959	1,166	1,235	100	855	90	45	15	30	280	0	1,235	(475)	石垣市 6
7	浦添市	23,283	(7)	(716)	23,816	1,023	1,124	75	820	30	0	15	15	229	0	1,124	(727)	浦添市 7
8	名護市	14,303	(13)	(1105)	12,731	890	958	80	705	30	15	15	15	173	0	958	(1112)	名護市 8
9	糸満市	13,485	(1)	(235)	17,193	1,275	1,366	90	1,015	105	45	15	45	261	0	1,366	(250)	糸満市 9
10	国頭村	1,635	(20)	(1490)	1,390	850	765	70	480	15	0	0	15	215	0	765	(1486)	国頭村 10
11	大宜味村	1,161	(39)	(1711)	590	508	485	70	285	15	0	0	15	130	0	485	(1712)	大宜味村 11
12	東村	650	(27)	(1632)	462	711	645	70	445	15	0	0	15	130	0	645	(1634)	東村 12
13	今帰仁村	3,069	(22)	(1586)	2,081	678	685	70	485	15	0	0	15	130	0	685	(1587)	今帰仁村 13
14	本部町	4,226	(32)	(1665)	2,490	589	600	70	400	15	0	0	15	130	0	600	(1665)	本部町 14
15	恩納村	2,672	(23)	(1586)	2,037	762	685	70	485	15	0	0	15	130	0	685	(1587)	恩納村 15
16	宜野座村	1,463	(37)	(1701)	798	545	525	70	325	15	0	0	15	130	0	525	(1701)	宜野座村 16
17	金武町	3,038	(14)	(1265)	2,868	944	890	70	690	15	0	0	15	130	36	926	(1179)	金武町 17
18	伊江村	1,561	(34)	(1687)	939	602	560	70	360	15	0	0	15	130	0	560	(1686)	伊江村 18
19	読谷村	9,157	(33)	(1678)	5,184	566	575	70	375	15	0	0	15	130	0	575	(1677)	読谷村 19
20	嘉手納町	3,266	(36)	(1699)	1,711	524	530	70	330	15	0	0	15	130	0	530	(1699)	嘉手納町 20
21	北谷町	5,920	(11)	(912)	5,869	991	1,035	70	835	15	0	0	15	130	▲ 73	962	(1100)	北谷町 21
22	北中城村	4,022	(17)	(1345)	3,249	808	845	70	645	15	0	0	15	130	▲ 37	808	(1409)	北中城村 22
23	中城村	4,253	(25)	(1594)	2,814	662	680	70	480	15	0	0	15	130	0	680	(1594)	中城村 23
24	西原町	7,876	(9)	(865)	8,768	1,113	1,055	70	855	15	0	0	15	130	0	1,055	(871)	西原町 24
25	豊見城市	12,527	(19)	(1490)	8,710	695	765	70	565	15	0	0	15	130	0	765	(1486)	豊見城市 25
26	八重瀬町	6,858	(29)	(1650)	4,147	605	615	70	415	15	0	0	15	130	0	615	(1652)	八重瀬町 26
27	与那原町	4,137	(16)	(1337)	3,696	893	850	70	630	15	0	0	15	150	30	880	(1283)	与那原町 27
28	南風原町	7,505	(6)	(690)	8,932	1,190	1,135	70	935	15	0	0	15	130	0	1,135	(700)	南風原町 28
29	久米島町	2,332	(40)	(1713)	1,187	509	475	70	275	15	0	0	15	130	0	475	(1713)	久米島町 29
30	渡嘉敷村	173	(15)	(1284)	175	1,012	880	70	670	15	0	0	15	140	0	880	(1283)	渡嘉敷村 30
31	座間味村	228	(18)	(1405)	206	904	815	70	615	15	0	0	15	130	▲ 15	800	(1424)	座間味村 31
32	粟国村	261	(38)	(1704)	145	556	520	70	320	15	0	0	15	130	0	520	(1704)	粟国村 32
33	渡名喜村	156	(31)	(1653)	108	692	610	70	410	15	0	0	15	130	0	610	(1654)	渡名喜村 33
34	南大東村	322	(26)	(1599)	244	758	675	70	475	15	0	0	15	130	0	675	(1599)	南大東村 34
35	北大東村	123	(41)	(1732)	50	407	390	70	190	15	0	0	15	130	0	390	(1732)	北大東村 35
36	伊平屋村	361	(35)	(1697)	201	557	535	70	325	15	0	0	15	140	0	535	(1696)	伊平屋村 36
37	伊是名村	440	(24)	(1586)	327	743	685	70	485	15	0	0	15	130	0	685	(1587)	伊是名村 37
38	多良間村	356	(12)	(945)	407	1,143	1,026	90	705	120	60	0	75	231	0	1,026	(946)	多良間村 38
39	竹富町	1,006	(30)	(1653)	669	665	610	30	505	30	0	0	45	75	0	610	(1654)	竹富町 39
40	与那国町	360	(28)	(1648)	247	686	618	0	430	120	60	45	30	188	0	618	(1650)	与那国町 40
41	南城市	11,378	(21)	(1503)	7,697	676	755	70	555	15	0	0	15	130	0	755	(1498)	南城市 41

出典：包括ケアシステム「見える化システム」

4 年度のインセンティブの点数と交付金である。要介護状態の維持・改善状況等の点数内訳を見ると、17 ページで見た 31 点の内訳が分かる。「要介護 1～2 の介護度変化」は、60 点満点で沖縄県は 9 点。「要介護 3～5 介護度変化」は、60 点満点で 4 点。「健康寿命要介護 2 以上」は、60 点満点で 18 点。驚きの点数。
40 歳以上からでは遅い。40 歳でもう重症化している。ある市町村の 40 歳未満からという発言を思い出す。

P19 いきなり要介護 3 以上になったレセプトから背景を考える。何が原因で介護になっているのか？



これはＡ市のデータ。75 歳以上の後期高齢者のみで見ているが、要介護認定状況は、R 元年と R2 年度の推移を見ている。参考に R 元年度の認定なしは 23,646 人。そして①R2 年度に要介護 3 以上の人が 451 人。一気に要介護 3 以上になった。そして社会保障費給付費の変化を見ると、6.2 億円が 21.3 億円。15.1 億円増加した。1 人当たり 137 万円から 473 万円。後期高齢者だから多い。そして③R2 年度新規発生した生活習慣病の脳血管疾患が 130 人 28.8%、新虚血性心疾患 79 人 77.5%、腎不全は 33 人の 7.3%、この内訳を見たとき圧倒的に脳血管疾患が多い。ご存じのように脳卒中になるとどういう状態か直ぐに予測できる。④は脳卒中の背景。要介護 3 以上 451 人のうち高血圧の人 356 人 78.9%である。高血圧の人が多い。詳細に分析すると、倒れると同時に血圧が高かったと知る人もいる。治療中だが倒れたのか、倒れてから血圧が高いと知ったのか、中断したのか。沖縄県の血圧の悪さは今までのデータで分かっている。そして向かって右の何が原因で介護になっているのか。介護度別に疾患を見たグラフ図である。下横軸に要支援 1～2、要介護 1～5 まであるが、要支援 1 と 2 では関節症が上位である。しかし介護度が上がるに連れ、関節症は増えない。そして要介護 1～2 では認知症が増える。認知症も想像できるが、最初は軽い症状から始まりだんだん悪くなっていく。しかし今では認知症も予防できる疾患だと位置づけられているので考えるべきところである。では先ほどの脳血管はどうだろうか？脳血管疾患は要支援 1～2 のときから 35～39%で、そして重度の要介護 5 では 52%である。やはり脳がやられると人の手を借りないと生きていけないという状況になる。これが予防できる疾患であるということになると大変良くない。沖縄県は高血圧の予防を頑張らないといけないというデータである。

P20 メタボ該当者のいきなり要介護　事例　（58 歳　男性）

（メタボ該当者のいきなり要介護）

虚血性心疾患発症後に、新型コロナウイルスに感染し、要介護4となった事例(５８歳・男性)

年		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
年齢		53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳
健診結果	体重	86.7	健診未受診					
	腹囲	98.2						
	BMI	28.1						
	LDL-C	131						
	HDL-C	34						
	AST	41						
	ALT	51						
	γ-GTP	45						
	TG	178						
	血圧	119治						
		82治						
	HbA1c	5.2						
	血糖値	108						
	e-GFR	55.4						
	尿酸	8.1治						
	心電図	検査なし						
	眼底	検査なし						
	判定	メタボ該当						
（5年間履歴KDBより）	診断名	H27.2 高血圧 H27.5 高尿酸血症				R1.6 糖尿病	R2.11 急性大動脈解離ＳｔａｎｆｏｒｄＡ R2.11 心房細動 R2.11 急性心不全 R2.11 多発性脳梗塞	R3.8 ＣＯＶＩＤ-19(気管切開術施行) R3.9 廃用症候群
介護認定								要介護4(１２月～)
医療費		３０万	３４万	３８万	９５万	１４６万	1,500万	1,867万（R4.1月分まで）
介護費								１５万
医療費＋介護費								1,882万（R4.1月分まで）

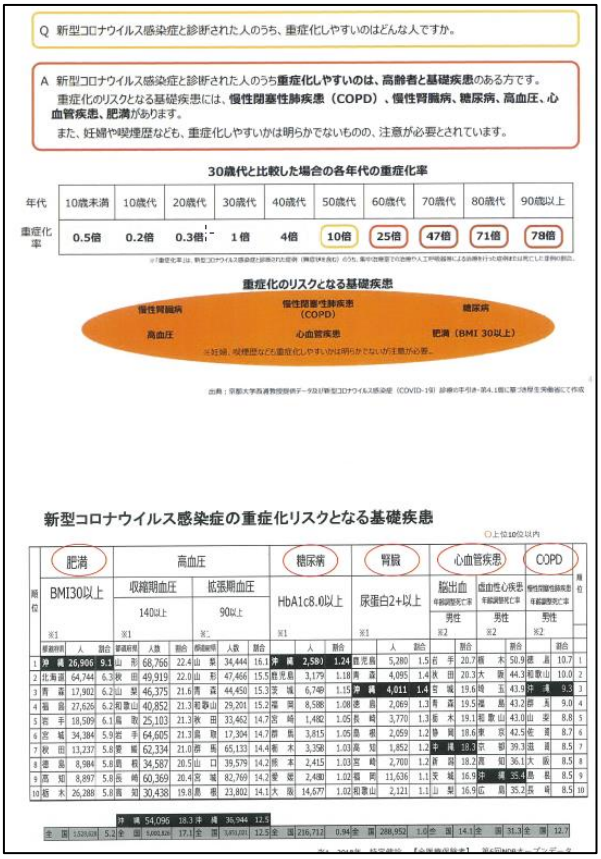
健診受診はＨ27年のみ。医療機関受診は毎月あり(内服処方あり)。

２年間で　約3,400万円

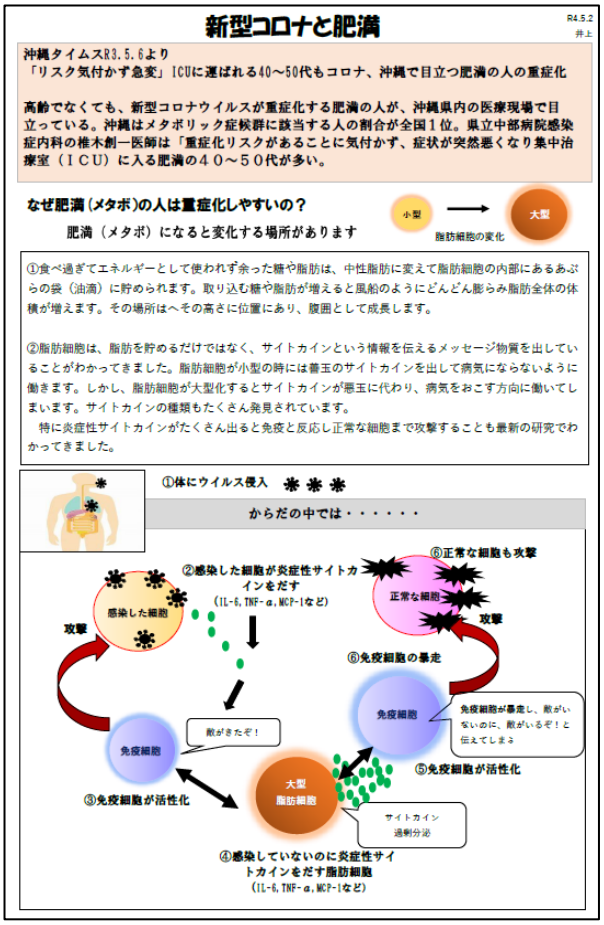
58 歳、男性「虚血性心疾患発症後に新型コロナウイルスに感染し、要介護となった事例」である。まず健診を見ると H27 年 53 歳、腹囲 98.2、BMI28.1、内臓脂肪型肥満である。そして次に血圧を見ると治療中であった。しかしその後健診が無いのでデータが分からない。保健師は介入できないのでレセプトで見ている。KDB で確認すると毎月医療機関に受診し、内服はしていた。でも内服しているのになぜ倒れたのか？そして R 元年 57 歳のとき、糖尿病の診断がついた。データがないので予測ではあるが、メタボはなかなか改善しづらい。肥満がどう進んでいったのか。内臓脂肪型であれば糖尿病になるリスクがメカニズムでわかっている。もしかしたら肥満がどんどん進んでしまったのか。R2 年 58 歳のとき急性大動脈解離になる。大きな血管が裂かれる。1000 万を超える医療費になる疾患である。これもリスクは高血圧。心房細動、急性心不全、多発性脳梗塞と元気だった人が急に倒れる事例である。

薬が効かないのは何故か？いうこと。肥満があると薬を飲んでも効かない難治性高血圧。やはり健診を受ける事の重要性なのかと思う。次にお金、医療費である。健診を受けた H27 年は 30 万。H30 年のとき 95 万と一気に上がった。何があったのか。これが R2 年突然心臓の大動脈が裂かれて、1500 万。ということは、多発性脳梗塞もあるし入院となった。結局 R2 年 R3 年コロナの時期。R3 年 8 月コロナに罹り、気管切開をして廃用症候群なったということは寝たきり。人生の設計の中で寝たきりになる、という事を想像しなかっただろう。結局要介護 4 になった。もう医療ではやることがない、介護である。悲しくなる事例である。国は保健指導にたくさんのお金を投入していることは分かったが、やはり介入しなければ厳しい。だから健診未受診者は怖い。まだ 50 代。一度健診を受けた人を逃してはいけない。65 歳以上にアプローチするより、こういう若い人たちへのアプローチが効率的。そこで皆さんは新型コロナになった自市町村の事例を見たことあるか。そのメカニズムを今回は新しく作成した。

P21 新型コロナウイルス感染症と診断された人たちのうち重症化しやすいのはどんな人ですか。



重症化しやすいのは高齢者と基礎疾患がある人で、重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患・腎臓病・糖尿病・高血圧・心血管疾患・肥満があり、30 代と比較した場合の各年代の重症化率がある。若い人よりお年寄りが罹りやすいとあり、沖縄は重症化しやすい肥満・糖尿病・腎臓病・心血管・COPD と、いずれも全国比較より高く、重症化しやすい人たちがたくさんいる。ではその人たちへの保健指導は？ということになる。それがメカニズム。新型コロナと肥満を読めばわかるように作成した。

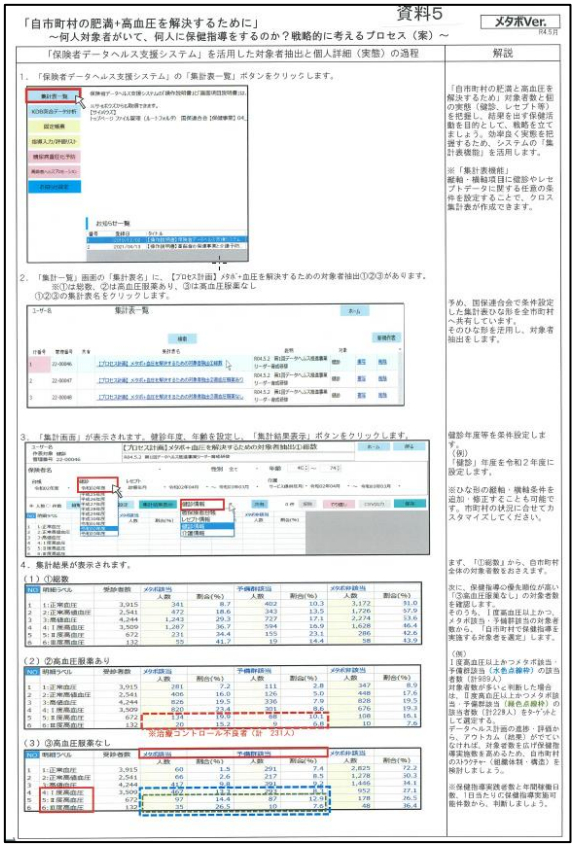


【資料 4 追加】新型コロナと肥満

令和 3 年の 5 月 6 日沖縄タイムス記事より、「リスク気づかず急変」ICU に運ばれる 40 代 50 代もコロナ、沖縄で目立つ肥満の人の重症化。高齢でなくても新型コロナウイルスが重症化する肥満の人が沖縄県内の医療現場で目立っている。沖縄はメタボリック症候群に該当する人の割合が全国 1 位。県立中部病院感染症内科の医師は「重症化リスクがあることに気づかず症状が突然悪くなり、集中治療室に入る肥満の 40～50 代が多い」と。自分にリスクがあるかどうか、健診を受けていなければ分からない。ICU に入って初めて分かる。ではなぜ肥満・メタボの人は重症化しやすいのか。肥満になると変化する場所がある。脂肪細胞の変化・・小型から大型になる。食べ過ぎるとエネルギーとして使われず余った糖や脂肪は中性脂肪に変えて脂肪細胞の内側にあるあぶらの袋に貯められる。取り込む糖や脂肪が増えると風船のようにどんどん膨らみ脂肪全体の体積が増える。その場所はへその高さにあり、腹囲として成長する。これが大型になるということ。そして脂肪細胞は、脂肪を貯めるだけではなく、サイトカインという情報を伝えるメッセージ物質を出していることが分かってきた。脂肪細胞が小型の時には善玉の

サイトカインを出して病気にならないように働く。しかし、脂肪細胞が大型化するとサイトカインが悪玉に代わり、病気をおこす方向に働いてしまう。サイトカインの種類もたくさん発見されている。特に炎症性カイトサインがたくさん出ると免疫と反応し正常な細胞まで攻撃することも最新の研究で分かってきた。図の①体にウイルスが侵入すると体の中でどうなるか。②感染した細胞が炎症性サイトカインを出す。そうすると敵が来たぞ！と免疫細胞に伝える。伝わったら③免疫細胞が活性化して、感染した細胞を攻撃して重症化しないようにする仕組みが人間は持っている。それが大型脂肪細胞を持っているメタボの人たちは、④感染していないのに炎症性サイトカインを出す脂肪細胞・・普通は感染したら出るものだが感染していないのに⑤免疫細胞が活性化し、そしてサイトカインは過剰分泌する。すると免疫細胞は暴走し敵がいないのに敵がいるぞ！と伝えてしまう。そして⑥免疫細胞は暴走しているので、⑥正常な細胞も攻撃してしまう。このことが肥満の体の中では起こっている。正常な細胞ということは、つまり免疫というものは血液の中で起こっていること。血液の中で起こっていることが、正常な細胞を攻撃していくので、どこの細胞がやられるか分からない。肺になれば肺炎から始まり重症化する。GFR が下がり腎臓がやられる事例もあると聞いた。やられたら治らない。肥満のこういうメカニズムでリスクがあるということを住民に伝える事。だから健診を受ける重要性である事。コロナだから受けないではなく、健診を受けることで自分のリスクがきちんと修正されていくことが大事だと伝えていく。糖尿病を持っていてもコントロールが良ければいい。そこらへんはコロナの時期には重要になる。でも感染症はコロナだけではない。今後考えた場合、何であれ感染症に重症化しやすい人はメタボとこと。要するに内臓脂肪から出るサイトカインが出てくるからである。実は沖縄県はここでまた大変なことが起こっているかもしれない。新型コロナに罹った人たちが健診を受けていたか？KDB で見たら良いと思う。

【資料５】自市町村の肥満+高血圧を解決するために　メタボ ver.



1 ページ

これからやるべきことを話したいと思う。

1.自分の市町村の「肥満と高血圧」に介し解決するために、課題が設定された。肥満の高血圧が、何人対象者がいて、何人に保健指導をするのか。戦略的に考えるプロセス案として出している。沖縄県の連合会は保険者データヘルス支援システムという対象者を明確にできるシステムがある。右側の解説に、「自分の市町村の肥満と高血圧を解決するため」に対象者と個の実態を把握し、結果を出す保健活動を目的として、戦略を立てましょう。効率よく実態を把握するため、システムの「集計機能」を活用しますと書いてある。まずは使ってみること。

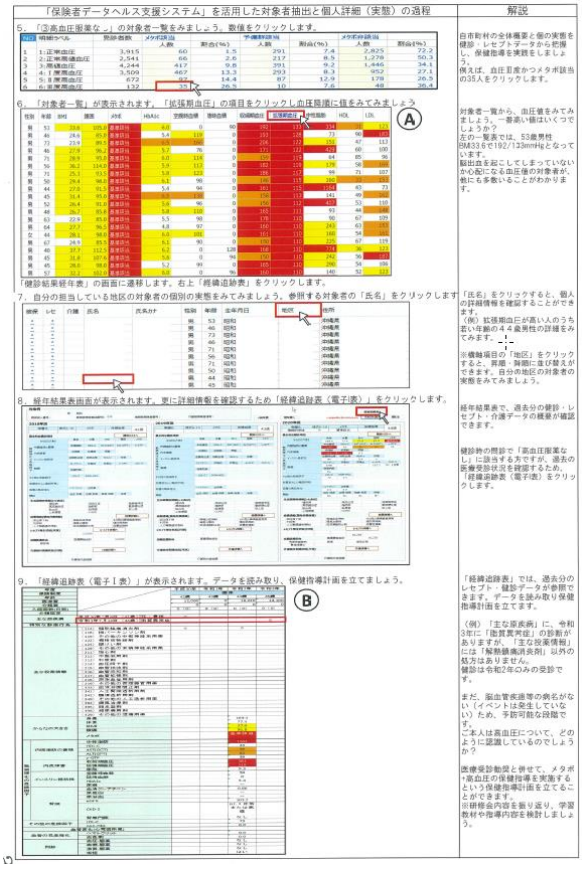
2.集計一覧　3.集計画面。皆さんは保健事業のプランであるプロセス計画を作らなければいけない。大きい計画だけ作るのではない。実践計画が大事になる。今データ分析をすると肥満と高血圧が問題だった。では、次はどんな対象者をやるのか。年齢は何歳に設定するか。いろいろ考えなければいけない。

4.（例）水色点線枠。Ⅰ度高血圧以上かつメタボ該当・予備群の該当者　989　人。対象者が多いと判断した場合は（緑色枠線）Ⅱ度高血圧以上かつメタボ該当・予備群該当　229　人をターゲットにする。つまり自分の市町村で出来る対象者はどれぐらいか？と計画を立てる。計画をしても全然出来なければ減点という意味。要するに計画したこと

はきちんと実践をし、評価をするという PDCA である。

全ての事に言えることだが、特定健診保健指導のプログラムの中では、実践したことが改善したのか？改善できなかったのか？何故改善できなかったのか？ということを繰り返しやることが大事になる。

2 ページ　自市町村の全体概要と個の実態を健診レセプトデータから把握し保健指導を実践しましょう



5.高血圧服薬なしの対象者一覧。数字をクリックすると

6.対象者一覧が出る。これは沖縄のデータ。メタボで年齢が若い順に出している。自分の市町村を出してみないと分からない。53 歳男性の血圧 192/133。この方が治療しているか？

7.どの地区の方か？全部出せる。

8.レセプトはどうなのか？中断しているのか？未治療なのか？という事も全部クリックして出る。

９.「経緯追跡表」これが個人のデータである。この方に私はどんな保健指導をするのか？と担当者は考える。治療を中断していればどうして中断したのか？本人に逢いに行き、具体的に本人がどう理解しているか。と丁寧に保健指導をして頂きたいと思う。今回参加のリーダーの皆さんは、自分の市町村は肥満と高血圧の計画書を作り、担当者は、誰に今年 30 人をやるという風に決め、この 30 人を 1 年間かけて見ていく。チェックをするのもリーダーの役割で、○○地区の担当者は、いつまでに 1 度は保健指導に行って下さいと言う。それを聞いて担当者は、この人は病院を受診した報告する。でも受診した後何を伝える保健指導が必要なのか？という風に次の保健指導の計画も必要。最終的に 1 年経った時、どこまで医療につながっていたのか？自分で考えていけたのか？もう少し支援が必要だったのか？をやっていく事が保健指導の計画である。このプロセス計画をやって頂くという事が今回のリーダー研修の目的である。連合会の宿題ではなく、皆さんのための計画書である。

【資料 6】令和４年度保健事業に関する研修会スケジュールと保健事業支援・評価委員会の支援

令和４年度保健事業に関する研修会スケジュールと保健事業支援評価委員会の支援

研修会年間計画

①研修会（全保険者対象）～リーダーは研修会出席者の調整と研修会の宿題内容・感想提出の把握をお願いします～

2022.5.9

		事業名	参加対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	保健指導栄養指導の力量形成	特定保健指導等研修会 主催：保険者協議会	保健指導栄養指導実践者 リーダー			第1回 6/1						第2回 12/20			
2		【新規】 肥満解決へ向けた保健指導栄養指導研修会 主催：県国保ヘルスアップ支援事業						第1回 8/9			第2回 調整中			第3回 調整中	
3	ストラクチャー（体制・取組）を戦略的に考える	データヘルス推進事業リーダー育成研修 主催：保険者協議会	リーダー		第1回 5/9					第2回 10/20					
4		事務担当者及び保健師合同研修 主催：保険者協議会	事務担当者 リーダー 保健指導実践者												3/10
5		六課長及び保健師合同会議 主催：国保連合会	課長・事務担当者 リーダー	日程調整中											

保険者に対する助言・支援・評価等

実態・課題の共有・報告
（研修会の宿題と感想を提出）

実態に基づく助言
（研修会を通じ全保険者へ支援・評価・助言を実施）

★国保ヘルスアップ事業実施市町村
支援・評価委員会からの助言は必須

①R04.12月頃：助言書の送付（連合会→市町村）
②R05.3月頃：助言書を基に実績報告様式記入

②保健事業支援評価委員会～提出された宿題を基に各保険者の課題・実態を把握しているため提出をお願いします～＊宿題・感想は全て目を通しています。

第三者評価機関（保健事業支援・評価委員会）

	事業名	対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	沖縄県国保連合会 保健事業支援評価委員会	委員		第1回 5/19				第2回 9/15				第3回 1/19		
7	保健師等代表者会議	代表市町村 保健師栄養士	随時											

今日は５月９日第１回のリーダー研修。２回目は 10 月にある。６月に第１回特定保健指導等研修会。ここの中で力量形成を行う。実践研修を受けても実践をしないと役に立たないので、皆さんは計画書を作って、実践をする担当者と共有しやっていって頂きたい。10 月までどこができたか？と実践できる中身になればと思う。10 月の時点で見た時に、いろいろな課題が出てくると思う。今回は是非、同じ対象者がきちんとできる仕組みの研修会にしたい。
以上。